

12月27日(水)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月27日(水)07時18分19秒

今年も

お世話になりました。
今年、最後の日記です。

振り返れば、2月に大台に乗せ、いよいよ「JJJ」
になりました。
ただし、登山は49回。昨年より多かったです。

夏は、27振りに北海道に渡り、4峰上った。
熊野古道は、小辺路・中辺路を踏破した。

伊豆巡礼は11年目。秋は秩父三十四観音を巡った。
富士山一周ウォーキングは、4周目。
今年もよく歩きました。

来年もよろしく願いいたします。





12月26日(火)晴・11度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月26日(火)06時51分3秒

来年の

年賀状もようやく終了した。

年々、しんどくなる。

仲間には、「今年でおしまいいたします」が、
ぼちぼち出てくる。

そんなことで、今年は大幅に減らした。

最近、ネットが多く、発行数も減ったようだ。

再来年、また頭が痛いね。



12月25日(月)曇・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月25日(月)06時30分32秒

一昨日は

御坂・王岳南尾根でした。コースは、根場～御殿庭・南尾根

取付～南尾根～王岳～鍵掛峠～根場。

御坂山塊のバリエーション・シリーズ。根場に駐車しR139を御殿庭手前まで歩き、南尾根に取りつく。下部はやや藪っぽかったが、次第に美しい櫛の自然林になった。

右手には先日上った、鬼ヶ岳南尾根の急登が見えた。王岳南尾根は鬼南より長い分、穏やかな尾根が続く。標高1428mには顕著な吉沢岩と呼ばれる岩峰がある。直登も出来るらしいが、今回は左を巻いた。

吉沢岩上はカラマツの植林帯になった。標高1503mで西入川からの一般道に合流。冬至のカボチャが話題になる。中国語では南瓜（なんきん）。ひと上りで王岳頂上。

富士山は逆光でやや精彩がない。西湖の位置も鬼ヶ岳からのがイイ。鍵掛峠に向かう。雪は北側に少し。前回のが多かった。途中で朝根場を出たオジサンに会った。他、何人か上って来た。

下って根場・いやしの里に寄る。冬で観光客が少なく静かが良い。蕎麦屋に入った。ビアを持ち込みでもイイと太っ腹。そばがきを食べた。ここのは美味しかった。王岳南尾根は、イイ尾根でした。





12月22日(金)晴・11度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月22日(金)06時14分31秒

今日は

三年ぶりの胃・腸のカメラ検査。
先日の成人病定期健診で悪いところがあった訳ではないが、大台になったので敢行。

昨日、朝からロクなものを食べていないので、「腹が減って腹が減って」昨日の午後～夕方が一番キツかった。勿論、飲めないし、TVは、夕方でやたら食べ物番組が多い。あれは罪です。

BSで「世界入りにくい居酒屋」をやっていたが、アア、
ワインが、美味しそうだったこと。

食べないとは、こんなに辛いものか、改めて認識。逆を言えば
普段、健康で食べれる・飲める、有難さも再確認。健康は
宝ですね。（写真は、Sさん撮影）





12月21日(木)晴・11度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月21日(木)07時17分16秒

昨日は

12月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、チサンゴルフ場下～浅間神社～星山放水路
～明星山～岩本山。天気は無風快晴。参加は17名。

前回最終のチサンゴルフ場下から出発。潤井川を渡り
浅間神社着。湧水が豊富。神社近くに出来た、逆三角形
の「静岡県富士山世界遺産センター」を見た。

逆さ富士をモチーフした、逆三角のちょっと変わった建物。
何方の設計だろうか。開館は明後日の23日から。ネット
を見たら、70歳以上は、無料だった。(笑い)ま、一度
見学も良いかな。

潤井川を下り、星山放水路。途中から西陵高校を經由して
明星山に上る。山腹に梅みたいな木があった。丁度、オジサン
達が下刈り中で聞けば、アンズと言った。

アンズは、長野・伊那から朝霧高原開墾で定住した方々が植えた
とのこと。ネットを見ると、入植は戦後始まったようだが、溶岩
台地の開墾は、水不足・天候不順(霧が多い)で、労苦の連続だった
ようだ。昨日下刈りの方は、二代目と言っていた。

http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/shizu_area/shizu_serial/list/2015/CK2015010602000267.html

明星山で記念撮影後、大きく下って、岩本山に上る。今回はここでお終い。午後は、天母の湯で、忘年会でした。



12月19日(火)晴・12度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月19日(火)09時13分59秒

大野山

ハイクの時、郁子（むべ）の果実をいただいた。
完全に熟していて、甘さが際立っていた。

食後の甘さが、口に残らず、サイコーの味でした。
普通、ツル状で伸びると思うが、これは樹木の感じ
でした。



12月18日(月)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月18日(月)07時20分58秒

一昨日は

丹沢・大野山で忘年山行でした。コースは、御殿場線・山北駅～河村城址～洒水の滝～古宿～大野山～谷峨駅。天気は快晴・強風。参加は6名。

久しぶりの御殿場線利用。山北駅で下車。駅南の河村城址に寄る。トイレが整っていた。下って洒水の滝。滝つぼに至る橋が壊れ行けない。直さないのかな。滝は標高差=114m。凄い落差である。

大野山に向かう。標高350mの古宿に大きな集落。畑仕事のご婦人に聞けば、車があるので生活は問題ないそうだ。ただ、イノシシ・シカ害が酷いと、こぼしていた。

長いトラバースと段差がある階段をこなし大野山着。展望は素晴らしい。多くの方が昼食。ただ、富士山は暗雲で強い風が吹いていた。

昼食は温かいラーメンとビアが美味かった。今年は、あと二回登山で回数は49回。日数はそれより多い。今年もよく歩き上りました。

下山道は登山道より道路が少なく歩き易かった。谷峨駅で、犬越路トンネルを越えて来た、若いサイクラー・駅を乗り過ごしてしまった中学生と歓談。楽しい一日でした。





12月15日(金)晴・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月15日(金)05時41分35秒

昨日

修善寺に着くと、境内で男性住職・職員が全員で掃除を行っていた。

中に吉野老師がいた。老師自ら掃除とは、流石である。

師は右膝にサポータを巻いていた。聞けば、先日、捻ったそうだ。しばらく大変だったが、現在は、まあまあとの事でした。

吉野老師は温かい方で、いつも、優しくもてなしを受ける。
あだ名（失礼！！）は、「キューピーちゃん」と呼ぶと
修善寺町のある住職教えてくれた。あだ名の如く、住職に
ありがちな、お高く留まったところは、全く感じない。

これからもお世話になります。お体に気を付け、お過ごし
下さい。



12月14日(木)晴・13度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月14日(木)06時30分25秒

昨日は

12月度・伊豆巡礼でした。コースは、修善寺～一番。嶺松院～二番・弘道寺～国土峠～ワサビ店・たか惣。天気は無風快晴低温。参加は29名。

2018期・発心巡礼。先期終了が10月。11月が雨だったため、今回が新しい巡礼の始まり。新しい参加者が9名参加。修善寺でお勤め。丁度、吉野導師が庭掃除中。

挨拶をすると本堂でお勤めをと勧められる。早朝の凜とした中での勤め。気持ち良かった。一番札所に向かう。狩野川の流れが清らか。一番札所は、住職が病気で無住職になった。

二番に向かう。例年発心巡礼は、4月だが今回は12月。冬は初めてで見える風景が違い新鮮だった。弘道寺の裏山が桜公園になっているのを初めて知った。

ここで昼食をいただき、標高差300mの国土峠を越える。新しい方も頑張って越えた。下って筏場のワサビ田。もう開花しているものがあった。更に下って、ワサビ店・たか惣。今日はここでお終い。

初めての方は、ちょっと大変な巡礼でしたが、面白かった、楽しかった、来年も頑張るのコメントでした。





12月12日(火)晴・強風・12度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月12日(火)05時56分32秒

鬼ヶ岳

下山後、山仲間のS氏が管理する、別荘に行った。別荘は、氏の所有でないが、持ち主が年に数回しか訪れず、荒れ放題。これでは傷む一方なので、管理を任されている。

別荘は標高約950mの富士山麓。冬は気温が低い。朝、前日入った温泉の濡れたタオルが車の中で凍っていた。

部屋に薪ストーブがあった。それほど大きなモノでないがこのストーブは温かい。煙突などからも発熱するので、部屋全体が温まる。やっぱり電気・ガス・石油などとは比べようがない。

ただ問題が無い訳でもない。燃料薪の確保がポイント。スギなど軟らかい木材は燃焼が早い。いわゆる、もたない。堅い木材が良いが、堅いと割ったりの加工が大変。自然のモノもそれほど、豊富にある訳でもない。

しかし、やっぱり冬は、薪ストーブがサイコーですね。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月11日(月)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月11日(月)05時51分39秒

一昨日は

御坂・鬼ヶ岳（1738m）南尾根でした。
コースは、根場～南尾根～鍵掛峠～根場。天気は
無風快晴。参加は3名。標高差＝838m。

根場駐車場で準備をしていると、松本NOの車が来た。
年配の男女。聞けば伊那の方。長野はこの時期、天気が
悪いのでこちらの山を楽しむとのこと。上で会いましょ
うと分かれた。二人は王岳に向かった。

根場発7:05。魚眼荘裏から南尾根に取り付く。
最初からモーレツな急登。藪はほとんどない。

標高点1138mを通過し、三角点1334.9mに達する。
25mほど下りコルに出る。ここから「鬼の壁」が始まる。

尾根には昨日の雪が薄っすら乗っていたが問題はない。
ただ、余りの急登なので6本アイゼンを履いた。

兎に角、急な壁が続いたが、ようやく空が切れて、夏
のお花畑が現れた。背後は西湖を眼下に富士山が大きい。
展望台に飛び出し、一般道に合流し、鬼ヶ岳着10:13。

丁度3時間だった。

大展望の南ALPSを眺め、鍵掛峠に向かう。途中で今朝会った二人にバッタリ。ヤアヤアでエール交換。なかなか早いペースだった。

鍵掛峠着。ベンチの様に横たわった丁度良いブナがあった。ここで昼食。多摩のパーティーが20名程、王岳に向かった。ラーメンを食べて根場に戻る。根場道は何回来てもイイ道。自然林が美しい。

根場着。左手に上った南尾根がハッキリ確認出来た。今回も良いバリエーションでした。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月8日(金)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月8日(金)07時16分26秒

先日

町の特健診を受け、結果が届いた。
毎年、「体の定期試験」みたいなもので、数値が
気になる。

毎日飲酒をするので、特に肝臓・腎臓は関心がある。
結果は、わずかだが、昨年より向上。
「良かった」、これでまた安心して飲める！！

ノンベ～の卑しい所ですね。
ただ、数値が良かったとはいえ、慢心はいけない。
ま、私の場合、飲むと言っても、深酒・増酒・重酒は
やらない。

遅くても19時終了。適度な運動・そこその栄養・
十分な睡眠が身上。
飲めなくなったら、人生終わり??!!だから、
ゆっくり・のんびり・しっぽり楽しみたいですね。



12月6日(水)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月6日(水)06時47分45秒

家事で

何が一番イヤと言え、やっぱり「換気扇掃除」だろう。昨日、年に何回かの行事を行った。

最近の良い洗剤があるとはいえ、基本的に掃除は変わらない。ファンは、プロペラから、シロッコファンになった。ただ、掃除はプルペラのが簡単。シロッコは、羽根小さく数が多いので、使い古した歯ブラシで除脂は厄介。

本当は、シンナーとかトリクレン（脱脂液）に漬けて置けば綺麗になるが、バケツ一杯のシンナーが必要になる。それでも羽根・ファンは何とかなるが、装置そのものの内回りは、取り外しが利かないだけに、ますます厄介。

内壁各所にこびり付いている油脂を拭き取るのは、根気と忍耐がいる作業。最近掃除がいらぬ換気扇を売りにしているものもあるが、全く不必要はありえない。

絶対イヤなら換気扇を使わなければ良いのだが、焼き魚大好き人間にはそうはいかない。何方か名案があったら、ご教授をお願いしたいものですが・・・。（笑い）



12月5日(火)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月5日(火)06時50分13秒

登山は

山々の景観が楽しみでもあるが、最大の喜びは
「食」である。

この寒い時期は、やはり「温かいモノ」が最上級。
飲みすぎなければ、「熱燗」は、サイコー。勿論、
ビアも温める。

ホット・ビアは温まり美味しい。
ビアを温めて飲み始めたのは、20年くらい前、
塩見岳・三伏峠でテン泊時、ビア・日本酒がガジガジに
凍ってしまい、やむなく温めていただいた。

それが美味しかった。体が温まった。
その後、冬は家でも温めて飲んでいる。
やれば、クセになること受け合いですね。（笑い）





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月4日(月)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月4日(月)07時18分48秒

一昨日は

大月・滝子山(1590m)でした。コースは、桜公園上～寂梢尾根～滝子山～すみ沢～桜公園上。天気は、無風・快晴。参加は3名。標高差=940m

桜公園上から出発。良く冷えた朝。天気はサイコー。久しぶりの滝子山。寂梢尾根は大好きな尾根。冬枯れの山・岩稜・富士山がイイ。

歩荷訓練でザックが重い。加えてやや問題があり、ピッチは上がらない。大汗で頂上着。富士山はチョッピリ。頂上に5～6名。

本来なら大谷ヶ丸に行くが、時間がなく今回はパス。防火帯を下る。気温が上がらず、土がガジガジに凍っていて滑る。陽だまりで昼食。

下からゾロゾロ上って来る。すみ沢経由は長く時間が掛かる。電車登山で笹子駅からは、更に大変。30名は上って来た。人気のある山なのだ。

午後すみ沢を下る。砂礫の登山道が歩き易く、自然林

で明るい山。陽光が溢れ、沢音がこだまする。下から男性が2名来た。道を間違え時間が遅くなったという。

今からでは、下山が遅くなるので注意。ヘッドンはあるようだ。15時を目途に下山を勧めた。時間があつたので、都留で温泉。ゆっくり温まった。この時期の温泉は有難いですね。イイ山でした。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月1日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年12月1日(金)06時24分16秒

12月ですね～！！
一年がはやい。

今年も庭のアプローチの落ち葉が
賑やかです。

掃除はキリがないですが、
落葉樹は癒し系ですね。





11月30日(木)曇・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月30日(木)06時52分50秒

昨日は

11月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、白糸の滝～下馬サクラ～大石寺～下之坊～
西山本門寺～浅間神社手前。天気は無風・快晴・高温。
参加は17名。

冬時間で1時間遅くして出発。白糸の滝を見学する。紅葉が
見事。

下馬サクラに寄る。近くに冬桜が咲いていた。この辺りから

富士山が美しい。

大石寺に入る。三門（さんもん）は、まだ工事中で覆いがあり見れなかった。本殿の大きさに改めてビックリ。

「幸せの種まき・この花ファミリー」に寄った。収穫した落花生を炒っていた。香ばしい香りが漂う。玉ねぎの苗が見事。ソバのハチミツがあった。

下之防で昼食。好天で気温が高く快適。ビアが進む。傘雲だった富士山が再び顔を出した。集合写真を再撮影。真っ赤なモミジが青空に映えていた。

午後はグングン下って西山本門寺着。正しく黒門から入場。階段の段差が大きく大変。期待だった大イチョウは、既に落葉だった。

新ルートでチサンゴルフ場の峠に上がる。峠を下って本日は終了。好天に恵まれ快適なウォーキングでした。





11月29日(水)晴・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月29日(水)06時21分28秒

昨日のつづき

昼食を終え、午後の巡礼。
明智寺から更に下り、十番・大慈寺。
大きな寺ではなかった。

次の十一番・常楽寺へは、山道と下道があった。
二名下道で他は山道。山道は自然道で良かった。
途中、山中に大きな神社があった。

常楽寺も大きくはなかった。
裏通り通過し、十二番・野坂寺着。
今巡礼で一番立派な寺だった。
ただ、裏道から来たので、長い参道を上れず残念。

山門に木造の観音様が片膝でほほ笑んでいた。
一般的に仏さまは性別がないという。
しかし、この観音様は、どうみても女性に見える。
ただ、正面の顔は微笑む優しい顔だが、後部は
恐ろしい鬼の邪面だった。

後ろにも、もう一体の木造の観音様。こちらも乳房もあり、
優しい笑みを浮かべていた。皆さんが撫でるようだ、全体的に
テラテラ光っている。家に欲しい仏さまだ。

綺麗で大きな境内。この寺は本堂でお勤めをさせてくれる。
木魚が十数個並んでいた。
ご本尊も黒い木造の観音様。これも素晴らしかった。

つづく





11月28日(火)晴・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月28日(火)06時36分49秒

秩父巡礼つづき

七番・法長寺から八番・西善寺に向かう。
寺は武甲山の一角みたいな感じで、坂上にあった。
寺入場は1000円の有料だった。ただし、ご朱印(3000円)をやる方は無料。

四国・伊豆とか巡礼を各地で行っているが、入場有料(拝観料)は初めて。理由は不明。
ただ、この寺には、樹齢600年の「コミネカエデ」という、

見事なカエデがある。

その維持費として入場料を取っているのかも。確かに、巡礼でなくカエデ見学のみで来る人も多い感じだった。それにしても、今まで見たことがない、見事なカエデだった。

坂を下り西武鉄道沿いに進む。下からカエデ見学風な巡礼着をつけていない方が、何人か上ってきた。丁度、電車が通過して行った。下り切って、九番・明智寺。小さい寺だった。昼食時間になったので、バス移動。街のファミレスで頂いた。

バスドライバーが、例の「ワラジかつ丼」を食べたと言った。大きくて食べるに大変だったそうだ。

つづく





11月27日(月)晴・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月27日(月)06時41分52秒

昨日は

富士山・宝永山2352mでした。コースは、幕岩下沢（仮称）周遊道橋～須山ルート～幕岩～御殿庭下～2352m峰～同コース下山。天気は快晴、モーレツな風。単独。標高差＝1000m。

6:33発。気温は低く快適。須山登山口に車が一台。幕岩から更に上る。風がカラマツの梢に、ゴォーと煩い。ひと尾根越えて御殿庭に向かう。

雪が多くなり凍っているのでアイゼンを履く。今季初アイゼン。アイゼンがよく決まって快適。グングン上る。御殿庭の風は半端でなかった。

ここは風の通り道のような。いつもの象徴的なカラマツが寒そう。（写真＝下）ヤッケを羽織り、風防キャップを被り、オーバー手袋で完全防備。ただ、ゴーグルを忘れた。

第三火口内は案外静か。御殿庭はやっぱり風道。。第二火口に上がる。蒼穹に富士山が見事。上部は雪煙がプンプン。最後の上り。ここもアイゼンが快適。2352m峰の出口はモーレツな風。ここから西は何も遮るものが無いからだ。

9:55、サッと上って標識にタッチし、すぐ踵を返した。標高差

1000mを約3時間半。まあまあのタイム。少し下れば風は穏やかになる。下山は風に押されグングン下る。

御殿庭下で男性が一人上って来た。沼津のMさん。静岡にはない珍しい苗字だった。20分も話してしまった。幕岩下沢を下って12時駐車場着。

トレーニングとしていい山でした。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月25日(土)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月25日(土)06時42分4秒

昨日のつづき

21日=快晴

民宿「すぎの子」の庭には、犬が一匹いた。見ればその犬小屋も立派な「茅葺」だった。恐らく日本一の犬小屋だろう。何と幸せな、ワンちゃんだろうか。

朝はモーレツに冷えた。泊まった一階の部屋は、廊下があり、雨戸は半分しかない。従って部屋の障子は外の外気がモロに当たる。カーテンはあったが、隙間風がスースーだった。

庭の宿の車のフロントガラスはガジガジだった。この地は標高約300m。緯度も三島・長泉より高い。降雪は少ないが内陸の冷え込みは、相当なモノ。しかも、東が山の為、朝日は遅かった。

バスで昨日最終の四番・金昌寺に戻る。綺麗で立派なトイレを使い出発。五番・語歌堂（ごかのどう）は小さく無住職。六番・ト雲寺は、少し山の上。周辺は紅葉が凄い。ここも大きくはない。サポーターが、お経本を貰った。

七番・法長寺に向かう。バス巡礼の方が来た。白衣を着けて

いなかった。四国はバス巡礼でも、身なりはシッカリしている。先達のお経は、物凄く速かった。目の前、横瀬川の向こうに、大きな武甲山（1304m）が迫る。

武甲山は、いわずと知れた、石灰岩採掘の山。山の中央に大きな砕石道が出来て、山が分断されていた。早朝からガラガラ音が聞こえる。しかも、温泉の湯気みたいな、土埃が各所で上がっていた。

確かに石灰岩が無ければセメントは作れず、ビル・橋梁などは出来ない。しかし、自然破壊は著しい。秩父市に落ちる税金も大きいだろう。人間は絶対的に自然を利用して生きている。どの程度に塩梅をつけるか、要はバランスの問題である。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月24日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月24日(金)06時36分39秒

昨日のつづき

四番・金昌寺の石仏は、他に大きな観音様があった。観音様は3mくらいのもので、建屋の丸い窓越しに丁度、お顔が見れる設計だった。お酒の好きの石仏は、片手に徳利、頭に盃を被っていた。

今日はここで終了。秩父中心街は安い宿がなかった。バスで15分程移動して宿に到着。元庄屋を改築した民宿「すぎの子」。

建屋は茅葺で雰囲気はなかなか良い。ただ、建屋が古いだけに、音・寒気（障子の外は廊下で半分、雨戸がない）ここも夏は学生さんが中心の宿とのこと。犬小屋も茅葺だった。囲炉裏もあった。

宿は、オババと息子、その嫁の三人で賄っていた。売りは何といってもオババ。年齢は75歳くらいだが、能弁で野菜の調理・加工の知識は最上級だった。従って、喋り出したら止まらなく、延々とお教授いただいた。

女性軍は大いに喜んだ。ただ、余りにレシピが多く、

覚えきれない。後日、書き物を送って下さいと、名刺を置いて来た。

梅干を350g・500円で売っていた。購入したが、サイコーの味でした。今時、このような方は、貴重な方ですね。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月23日(木)雨・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月23日(木)08時58分29秒

11月20日～22日は、
秩父三十四ヶ所観音巡礼でした。全日快晴。参加は12名。

11月20日＝晴れ
6時長泉発。関越道経由で秩父鉄道・和銅黒谷駅着。
駅ホームには、日本通貨発祥の地としての「和同開珎」の大きな
モニュメントがあった。

ここで、丁度、貨物が入って来た。貨物は「無蓋車」と呼ばれる
もので、屋根がない貨物。秩父産出のセメント原料の石灰岩を
運んでいた。

聖神社を経由して、和銅神社着。銅の露天掘り跡があった。
裏道から、一番札所（秩父の場合は、札所一番）の四萬部寺着。
向かいに「旅籠・一番」という、築100年のイイ雰囲気宿があった。
寺でグッズを購入。記念写真撮影。

昼食はバスで摂った。二番・真福寺は山の上。昼食後でキツイ
上りだった。境内に冬桜。自転車巡礼の女子がいた。坂を下って三番・
常泉寺。四番は金昌寺。石仏が素晴らしい。山門に大きなワラジ。

そういえば、この地のB級グルメは、「ワラジカツどん」だった。
翌日、ドライバーが食べたが、食べきれなかったようだ。

本堂に乳飲み子を抱えた慈母観音があった。なかなか見ごたえのある観音様だった。

つづく



11月19日(日)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月19日(日)06時31分1秒

このところ

多忙で山に行けなかった。

昨日は、雨だったが、汗を流したいので、金冠山で歩荷でした。

途中でランナーが一人降りて来た。

レストハウスから三本目といった。

レストハウスから金冠山は、芝生道が続くので脚に優しい。

雨でも好きな方は、やってくるものですね。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月18日(土)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月18日(土)07時04分2秒

昨日は

三島公会堂で「グレン・ミラー・オーケストラ公演会」
でした。

グレンミラーは、ベニー・グッドマン、ビリー・ボーンなど
と共に、中学から聞いていた。

ムーンライト・セレナーデ、アメリカン・パトロール、茶色
の小瓶、ペンシルベニア6-5000、インザ・ムード・・・。

懐かしい曲と、独特のサウンドが心地よかった。
お客は概ね年配者。中に高校生もチラホラ。学生さんは、
ブラス・バンドをやっている人だろう。

でも、学生さんが、S席6500円、A席5500円は痛い。
学割があるとイイけどね。

ただ、バンドマスターの英語が早く分からない。歌も意味不明。
今後は、同時通訳とか、テロップが欲しいですね。



11月17日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月17日(金)06時49分3秒

先日

松本「ブンリン」でスキー調達したが。「ブンリン」の隣は、「丸岡」という、蕎麦屋。

調達終了時が丁度12時だから、昼食は、ここで摂った。店はテーブルが5～6机。全体は黒で統一されている。中庭があり、「ザクロ」の老木がある。

更に、オヤジの趣味だろうか、静かにJAZZが流れている。この場合、やっぱり、ピアノでしょう。

(先日、谷川の帰りに寄った、水上IC近くの蕎麦屋も、オヤジがJAZZ好き=当日は既に品切れだったが)

熱燗は地酒。お通しは、何故かポテトサラダ。ツマミは、ワサビの中に、蕎麦の実を入れ、軽く焼いたもの。これは、逸品だった。

蕎麦は100%そば粉と言った。が、ボソボソしていなく、細くしなやかだった。特別な加工方法があるのか。価格は1000-でした。

熱燗と蕎麦。サイコーですね。





11月16日(木)晴・16度

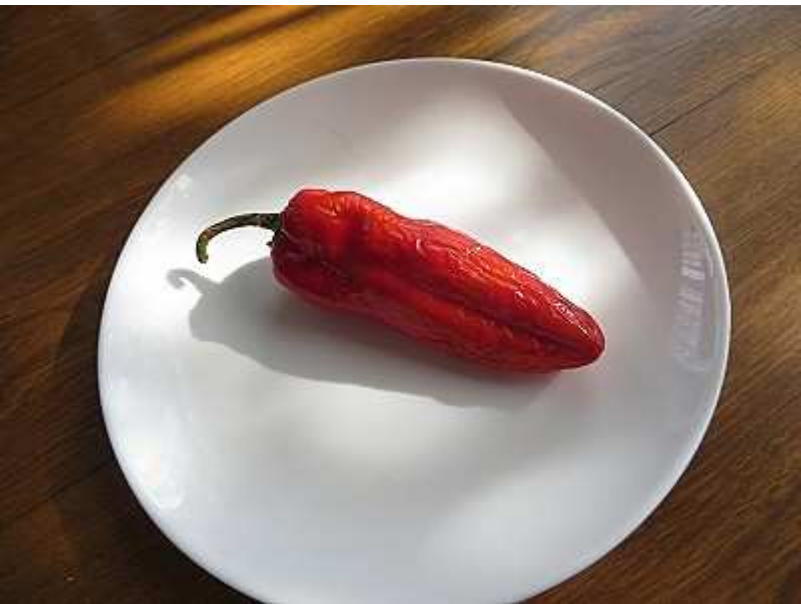
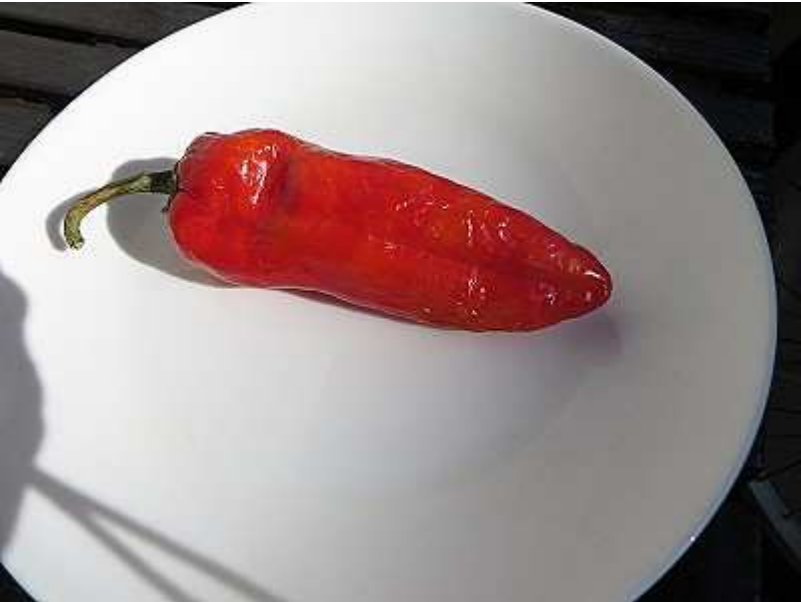
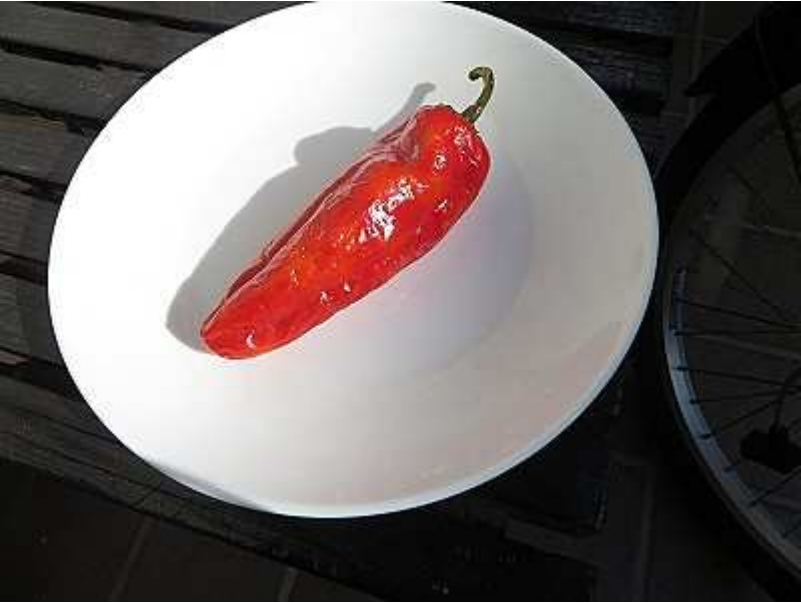
[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月16日(木)07時57分9秒

これは

シシトウですが、色が半端でない。
極めてシンプルに柿右衛門に絵づけしてもらいたい。

しかし、イイ色ですね。



11月15日(水)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月15日(水)06時15分41秒

甲斐駒

駒ヶ岳神社手前の駐車場に土産物屋「おじろ」がある。
甲斐駒登山の際は、開いていれば、必ず寄る。
やっているのは、ババさま一人。白州に住んでいる。

山から下りてきて、ここでイッパイが楽しみ。
ツマミもいろいろ出してくれる。
寒い時期なら、熱燗がイイ。

時々、顔を出すから、よく覚えていてくれる。
今回も、ツーカーで軽トラックを出してくれた。
運転してくれたのは、息子さんか。

謝礼を差し出したら、「そんなもの絶対いらないよ」だった。
燃料も使っているのに、それは申し訳ない。
せめてと思い、皆様、お土産とか沢山購入した。

参加者が一言。

「こういうところで、普段、顔を繋いでおくことは大事ですね」でした。
一見、無駄なようなことが、実は、大事な事でしょうね。
有難い事でした。





11月14日(火)晴・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月14日(火)09時17分40秒

昨日

「サトイモ」を掘った。
サトイモは、子イモより、「孫イモ」が美味しいといわれる。

孫イモは小さくて、扱いが厄介だが、蒸かして、丁寧に皮を剥き、味付けをする。

確かに、小イモより美味しいような気がした。
今後、寒さが増すにつれ、ダイコン・ハクサイなど、美味しい

季節になりますね。



11月13日(月)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月13日(月)06時41分36秒

昨日は

東部ブロック会議・交流バスハイキングで日向山でした。
コースは、駒神社から往復。天気は無風快晴。参加は45名。

人数が多く、各地に寄って拾うので、大幅に予定時間を喰ってしまった。神社発11:10。人数は多かったが、余りバラけなかった。

この時間だと、ボチボチ上から降りて来るので、道を譲るのが大変。先頭の私が無線でその都度、「何人、降ります」を連絡。天気は、無風快晴。蒼穹に残り紅葉がイイ。また、自然林が多いので、落ち葉がガサゴソで楽しい。

NO板を辿って上る。既に昼食時間で腹が減って減って。12:56、1660mの頂上着。こんな遅い頂は珍しい。

ここで、男性に声を掛けられた。ザックに付けていた、NP（会ネームプレート）を見たのだ。年配の彼は、栃木「つむぎ山悠会」の方だった。

<http://www.tumugi-sanyukai.com/>

「富士山が近いんですか??」とか交流。NPの効果が早くも出た結果だった。最終組を向かえて、トイレテントを張って、ようやく昼食。腹が減りすぎ感覚がオカシイ。

約1時間休み、山岳同定し、記念写真を撮って下山。15:07矢立石に着いて最終組を迎えるが、ここでトラブル。T氏がフラフラで歩行困難。林道から神社の下降は急で危険なので、S理事長ほか数名付いて林道を下る。

ただ、林道は長く時間が掛かるので、急遽、K嬢がすっ飛んで、茶屋「おじろ」に軽トラックを出してくれることを依頼。私は本部的に無線で全体を指揮・把握。無線が機能し、全てうまく回った。

約1時間後、軽トラックと林道組が合流し、無事下山。日ごろ特に遭難対策訓練をやっている訳ではないが、今回は東部ブロックのチームワークで円滑な行動がとれた。皆さんに感謝。

帰りのバスは、程よい疲れにアルコールが入り、山の歌で盛り上がりました。年に数回は交流ハイクも楽しく有意義。皆さま、お疲れ様でした。



11月11日(土)大雨・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月11日(土)06時25分6秒

昨日は

スキーの買い出しに、松本「ブンリン」に行った。
この店は、松本駅の近くにあるが、スキー専門店として、
その道の方には有名。

主人は、文林秀高氏。店名の「ブンリン」は、本名から
命名したもの。

さてさて、問題のスキーだが、買い替えるのは、5年ぶり
くらい。現在、主に使っている、ブラックダイヤモンドは
テールが剥がれ、接着剤で修理した。スキーは、結構、痛む
もの。

また、G3のビンディングは使い勝手が最悪で、ワンタッチの
ものに替えたい。などなどで、予算は両手・片手以上。自身の
歳も歳だから、おそらくこれが最後の投資かも。

問題は板だった。軽量をとるか、滑りを重視するか。2枚の候補は
決まったが、今朝現在、まだ決まっていない。さてさて、どうしょうか
です??!!





11月8日(水)雨・22度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年11月8日(水)07時57分23秒

昨日は、ブログの会社、ティーカップがメンテナンスで日記は、お休みでした。

今日は、2017年度最初の(発心の)巡礼でしたが、雨で中止でした。大した雨は降りませんが、巡礼は年配者がいらっしゃるので、無理は出来ませんね。

さてさて、熊野古道は3日目に入った。

4時起床、5時食事、バス発5:45で昨日最終の牛馬童子口バス停から6時08分出発。丁度、夜明けだった。

朝霧を俯瞰し、滑りやすく下り難い、石畳を行く。下り切れれば近露王子。脇に土産物屋があり電気が点いていたので、皆でゾロゾロ入った。コーヒーも飲めるようだ。入り口には、足湯があった。ここは温泉が出る。

朝霧の中を進む。今日も天気は良さそうだ。上空には蒼穹が見えた。イイ感じの様々な店が、軒を連ねていた。泊まってみたい所だ。この先は、上りが続いた。上り切れれば、朝日をタップリ浴びた、道中集落に出た。

ここは「南方曼荼羅の風景地・継桜王子」と呼ばれている所。

「南方曼荼羅」とは？

・・・南方熊楠は「科学と仏教は対立しあうものではなく、科学はマンダラ思想のような東洋の哲理と結合されることによって、かえって自分を完成させることが出来る筈なのだ」と言っている。

（説明の図があり）

「さて妙なことは、この世間宇宙は、天は理なりといえるごとく（理はすじみち）、図のごとく（図は平面にしか画きえず。実は長たけ、幅の外に、厚さもある立体のものと見よ）、（図は平面にしか描けない。じつは高さ、幅の外に、厚さもある立体のものと見よ）、前後左右上下、いずれの方からも事理が透徹して、この宇宙を成す。その数は無尽である。だから、どこひとつをとっても、それを敷衍追求するときは、いかなることをも

見だし、いかなることをもなしうるようになっている。・・・ネット

（この話は、かなり難しい）

無風・快晴の下、イイ感じの路が延々と続く。Sちゃんが（前回の）「果無みたいた」

と言った。確かに、静寂で清冽な高原集落だった。「いろり庵」という小さな民宿もあった。オヤジさんがいたので、朝の挨拶をした。

つづく



11月6日(月)晴・22度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年11月6日(月)05時28分43秒

昨日のつづき

「きけうや」は、中辺路町の山村にあった。近くには中辺路中学校もある。熊野古道と同名の中辺路中学校があるとは知らなかった。この山村は、今日歩いた高原熊野神社から俯瞰できた。

宿は古い民家と並立していた。右の古い民家の入り口には見事なウバメガシ(?)が枝を伸ばしていた。宿に入りオヤジさんと会った。

オヤジさんは70歳くらいの方。早くも(??!!)ビア片手に応対。話が分かる気さくな感じだった。電話の応対も良かった。部屋は清々と広く快適。窓外に田園風景が広がっていた。

食時の賄は、奥様と娘さんが奮闘。娘さんは、オヤジによく似ていた。夕食はまあまあだった。中に久しぶりで静岡では珍しい、イタドリのゴマ油炒め(??!!)があった。写真下＝エビの天ぷらの左のもの

これは以前、四国お遍路で初めて頂いたモノだが、シャキシヤキの食感で美味しい。ただ、静岡では食べる習慣はない。四国ではワラビより食べられている。不思議なものですね。

つづく





[11月5日\(日\)晴・23度](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2017年11月5日(日)06時19分35秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日のつづき

滝尻王子から山道に入る。しばし、かなりの急登。
ここから道しるべが、500m置きにあった。最終は、
熊野本宮で75番。つまり、37500mか・・・。

昼食時間になった。標高341mの飯盛山まで頑張る。
手前で日帰りのオジサン二名に会った。地元の方のようだ。
しばし歓談。

飯盛山で昼食。無風快晴高温。有難い。午後は上ったり、下ったりが続く。高原熊野神社を見学。高原（たかはら）集落は、旧旅籠で泊ってみたいような、イイ雰囲気だった。

その後も上ったら下ったらが続く。時間はドンドン過ぎる。今日は、最低でも、大坂本王子まで行かないと、明日が厳しい。仲間は大分、参っている。下りのそうだが、特に上りが遅い。待ち時間が多い。何人かの若い衆に抜かれた。我慢である。

最後のピークを過ぎると、前を女性が歩いていた。追いつくと外人さんだった。片言の日本語と拙い英語で交流。ロサンジェルスから来たこの方も遅かった。今夜は近露王子に泊まるというが、明るいうちに着くか心配だった。

この下でも、シンガポールのカップルに会った。今回も外人さんが多い。長い下りでようやく、大坂本王子着。下り切った、牛馬童子口バス停で終了。6時に出発し16時20分だった。歩数は40000歩。皆さん、よく頑張った。

宿はバスで20分の「きけうや」。オヤジはビア片手に応対。面白そうな方だった。

つづく





11月4日(土) 晴・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年11月4日(土)03時09分3秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日のつづき

10月31日(火) 快晴=約10時間20分、約40000歩

起床4:00、朝食5:00、バス発5:50、歩行開始6:08。宿から昨日最終地の稲葉根王子までバスで移動し出発。朝はよく冷え込んだ。歩いてすぐの富田川沿いのローソンで昼食を調達。

概ね富田川に沿って北上。鮎川王子の手前はガイドマップとは反対の富田川左岸(向かって右)を歩いた。大塔(おおとう)

中学と鮎川小学校があり、早い登校生と朝の挨拶。

鮎川新橋を渡り。右岸の鮎川王子に寄る。再び左岸に戻り、住吉神社に寄る。オガタマの木とムクロジの大木があった。道はこの先から、富田川に沿って細い自然道になった。一歩間違えると、富田川に墜落する危険な道。昔はこんな所を通ったのだろうか。

北郡（ほくそぎ）バス停車前で舗装道路に出る。一安心。辺りは静かな山村。オババが一人畑仕事。挨拶を交わす。吊橋の北郡橋を渡る。吊橋と言っても、車が通れる大きなもの。バンジージャンプが出来るくらいの高度があった。富田川の豊かな清流に目を奪われる。

右岸に渡り、「安珍・清姫」伝説の清姫の墓に寄る。説明看板には恐ろしい伝説が書いてあった。伝説にしても怖い話。何が言いたいのだろうか。R 3 1 1を進み、ようやく滝尻王子着。立派な熊野古道館があった。何人かは、黒竹製の杖、300-を買った。道はここから山道になる。

つづく





11月3日(金) 晴・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年11月3日(金)10時20分20秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

10月30日(月)～11月2日(木)まで、熊野古道・中辺路でした。

コースは、30日＝紀伊・田辺駅～稲葉根王子。31日＝稲葉王子～滝尻王子～大坂本王子。1日＝大坂本王子～近露王子～熊野本宮。2日＝帰静。参加は13名。

30日(月) 快晴・強風(木枯らし一番)

約4H、約24000歩

長泉4:00発。紀伊・田辺駅着12:00。予定より2時間早かった。駅南の「闘鶏神社」から出発。和歌山県

街道マップの「中辺路」は、ここが出発地になっている。

ただ、多くの方は、平地が多い田辺駅から滝尻王子まで省略するようだ。時間・予算の制約もあるだろうが、一度は、最初からキッチリ歩きたいものである。

鬮鶏神社はなかなか立派だった。会津川を渡り、高山寺に寄る。弘法大師が開創で、多宝塔があり南方熊楠の墓があった。寺から秋津王子と、王子を辿って行く。王子とは・・・

王子（おうじ）とは、熊野古道沿いに在する神社のうち、主に 12 世紀から 13 世紀にかけて、皇族・貴人の熊野詣に際して先達をつとめた熊野修験の手で急速に組織された一群の神社をいい、参詣者の守護が祈願された。したがって、その分布は紀伊路・中辺路の沿道に限られる。・・・ネット

行く前は、神社があると思っていたが、実際は石碑・銘板があるのみでちょっと拍子抜けだった。新岡坂トンネルを潜り、八上王子着。コースは柿がたわわに実っていた。オジサンがいたので、Kが突撃交渉し、何個か頂いた。この柿は甘くて美味しかった。ヒョウタンの産地でもあり、稲羽根トンネル入口に展示してあった。

近くに施設があり、牟婁（むろ）と命名されていたが、読み方が難しく分からなかった。稲葉根トンネルを抜けると、稲葉根神社。脇は大きな富田川が流れていた。コースを間違って反対方向を歩いてしまった。そうこうしている内に、16時を回って終了。今日、4時間稼げて、今後、大いに助かった。

宿は近くの民宿「しおじ」夕食・朝食・風呂・トイレは、まあまあだが、学生中心の宿で浴衣・タオル・歯ブラシがなく、日本酒を置いてなかった。ただ、持ち込みは自由で、煩いことは言わなかった。

つづく





[10月29日（日）台風・22度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月29日(日)05時45分8秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

赤岳鉦泉

に下り、一休みしていたら、下から親子が上って来た。
お父さんと息子。
聞けば、子供は5歳だった。

ヘルメットを被り、可愛い登山靴をしっかりと履いていた。
靴は東京の山の店のバーゲンで買ったそうだ。
北沢を上って来たが、大きな段差は、上り難かったと言った。

「明日は何処かに上りますか」と聞けば。

「天気が悪そうなので下ります」とのこと。

「今日、少しその辺りを歩きたい」と言った。

翌日は、予報通り雨だった。

私も上の娘が小学校六年の夏、家族で羅臼岳に上った。

家族登山は、それが最後だった。

子どもと上れる時間は短い。

上れるうちに、大いに上ることですね。





10月28日(土) 雨・22度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月28日(土)07時24分53秒

雨が多い。
今週末も雨。
これでは、いつまでも山に行けない。
昨日は晴天予報だったので、出掛けた。

当初、御坂だったが、余りの晴天でハッに変更。
昨夜は、東部ブロック会議で就寝は23時だったので、いささか眠かった。

赤岳山荘から出発。
素晴らしい蒼穹と冷気が快適。
行者小屋周辺は10cm程度の積雪。
日陰はバリバリに凍っている。

赤岳北面はベッタリの雪。
無理は出来ないので、目標を硫黄に変更。
新雪をサクサク蹴って上る。
山に冬が訪れた。

快晴の硫黄に立った。
北ALPSも快晴。浅間山は水蒸気。
下って行くと、先ほど会ったオジサンに再会。
今日は、本沢温泉でテン泊という。

荷物が重そうだった。

赤岩の頭で昼食。

風はなく、温かい日差しがイッパイ。

赤岳鉱泉に下る。

5歳児が上って来た。

しっかり、可愛い登山靴を履いていた。

明日どこに上るか聞けば、天気が崩れるので下山とのこと。

今日の悪天候は、気の毒だった。

美濃戸付近の紅葉は今が見ごろだった。

八ッ岳は、近くてイイ山ですね。





10月26日(木) 快晴・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月26日(木)07時42分16秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日は

10月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、あさぎり道の駅～陣馬の滝～田貫湖～
白糸の滝。天気は終日小雨。参加は17名。

小雨の中、前回最終のあさぎり道の駅から出発。
東海自然歩道を進む。
麓付近は、ぬかっていた。Sさんの靴底が剥がれた。

吊橋を渡り、井之頭養鱒所を見学。入場料は70歳
以上は無料。16名無料だったが、ホント??!!
係りのオバサマは、何も言わなかったが・・・。

陣馬の滝から、更に南下すと小田貫湿原だが、雨で木道が
滑るので回避。先は田貫湖。富士山が素晴らしい所だが
全く見えない。こんなことは今回初めて。

昼食は、田貫湖・ようらくの家で摂った。雨だったので
有難かった。午後は、白糸の滝に下る。結局、雨は止まなかった。
それでも皆さんは元気イッパイ。それなりに良かったの言葉に
安堵でした。



[10月25日\(水\) 雨・22度](#)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月25日(水)04時27分43秒

今日は

10月度・富士山ウオーキングで、あさぎり道の駅
～田貫湖～白糸の滝。午前中は雨模様です。



[10月24日\(火\) 晴・22度](#)

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月24日(火)07時43分7秒

昨日のつづき

オキの耳に上った。
ところが、頂上下に鳥居があった。

確かに昔はなかったと思ったが・・・。

ネットで調べたら、
谷川岳の麓の谷川温泉には、江戸時代初期に沼田城主だった
真田氏によって、造営された富士浅間神社がある。

この神社は谷川温泉からホワイトバレースキー場に向かうとすぐ
左手に鎮座しております。又は保登野沢沿いの天一美術館の北側
30m のあたりから社号標と石段があります。散歩がてらこちらから
参拝するのも良いかも知れません。100m 程で神社に着きます。

その昔、富士山の神、木花咲耶姫が衣の裾を洗ったらお湯に
変わったという伝承から、「御裳裾の湯(みもすそのゆ)」と
呼ばれていたという古湯。この神社の御祭神もきっと木花咲耶姫
かと思われます。

従って、オキの耳にも、昔から奥の院が置かれ、鏡が祀られていた
という。現在は、石造りの祠のみ置かれている。・・・ネット

そのような関係で、鳥居は平成12年6月に作られた。だから、
ちょっと以前はなかった訳です。
しかし、谷川岳に木花咲耶姫が祀られてとは、世の中知らないことが
多すぎますね。





10月23日(月)曇・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月23日(月)06時18分39秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

18日つづき（台風一過）

強風の武能岳コルから茂倉岳に上る。

上から一名、降りて来た。

コルの標高は約1600m。茂倉岳の標高は、1978m。

風に煽られながら登頂。GMの右ふくらはぎが攣ってしまった。

疲れ・早朝・低温が影響したかもしれない。痙攣と誰もが思ったが、帰静して通院したら、軽い肉離れだったとのこと。

私も今年スキーで左ふくらはぎを肉離れした。これは大いに痛い。ただ普通、肉離れは大きな衝撃でなる場合が多いが、歩きでなるケースは珍しい。少し鍛錬が足りないかも。

一の倉岳に向かう。途中、草刈り機が置いてあった。登山道は、笹が両側から茂っていると、早朝など露で足元が濡れる。刈ってあると助かる。これも小屋番の仕事だろう。

一ノ倉岳から下って一ノ倉沢を覗く。実際、「ノゾキ」の看板がある。一ノ倉沢は壮絶・絶望的で陰険な岩壁が広がる。これでは事故が絶えない訳だ。

谷川岳のピークは、「耳二つ」と呼ばれる。北のピークが「オキの耳」。南のピークが「トマの耳」。耳は沼田辺りからも良く分かる。オキの耳が、谷川岳の呼称になっている。

つつく





10月21日(土) 雨・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月21日(土)06時21分12秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

今週末も雨。
ホントにこんな秋は珍しい・・・。

昨日のつづき

11. 16日は、気象2；00、出発3：50。暗くて大変だった。
12. 越路にも避難小屋があるが、ここは大きかった。(7名用)
13. 万太郎岳の上りは、高山植物が良かった。ただ、頂上は平凡。
14. 大障子避難小屋も立派だった。中に5～6名いた。(7名用)
15. オジカ沢ノ頭は1Hで結構ある。
16. ただ、避難小屋は小さい。(3名用)
17. 谷川岳西面は、植物が豊富。
18. 谷川岳・肩の小屋主人は、評判が良くない。
19. 谷川岳でも雨が続いた。
20. 西黒尾根の下りは、岩場が多く難儀した。
21. 小学生の男女、20名くらいが上っていた。
22. 谷川岳BPに着くと丁度、水上行のバスが出る所だった。
23. (阿部定のお墓が、水上にあるというが、ホントだろうか?)

ほか

1. やはり、夜行は無理がある。
2. 仙ノ倉山荘の雨待機は・・・。
3. 雨の沢登りは・・・。
4. 第二スラブのノーザイルは・・・。

- 5. 食糧計画は、良かった。
- 6. 帰りの急行料金は・・・。

旅費

三島～土樽・・・・・・・・・・・・4900－（特急料金1400－）
現在は、約10000－
谷川岳BP～水上駅バス・・・・・・・・400－

食費

1400－＋上野駅でウイスキーポケット1本
水上駅にて、駅ベン＋日本ソバ＋缶ビール＋ツマミ
でした。当時の状況が目に浮かびます。

写真は、谷川岳から万太郎山方面を見ています。



10月20日(金) 雨・24度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月20日(金)08時12分6秒

昨日の

記録に1980年夏、仙ノ倉沢・西ゼンの沢登りの記録があった。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page006-8.html

西ゼンは、延々と続くナメ・スラブが特徴な沢。

8/15、土樽で仮眠後、5：10発。天気は雨だった。

群馬大学・仙ノ倉山荘で11：25まで雨宿り後、小雨になったので出発。

沢を終えて稜線に15：15着。仙ノ倉山（2026m）に上り、

1784mの避難小屋に16：30入り泊まった。

山日記は、以下が書いてあった。

1. 当時、M（現在、K）と、東京駅で合流。
2. 上越線は、座れた。
3. 土樽駅下車は、30名くらい。
4. 駅前には、上越新幹線の工事中だった・・・まだ、未開通??!!

大宮～新潟の開通は、1982年11月。

5. 群大・仙ノ倉ヒュッテは、二階建ての立派なもの。
6. 西ゼンの第一・第二スラブは凄い。第二スラブは、雨に濡れて悪かった。
7. Mがビビってしまった。
8. 稜線は風雨が酷く寒かった。
9. 避難小屋は大きなパイプを切ったもので、二人がやっとだった。
10. 夕食時、霧が晴れエビスの頭が見えて、素晴らしかった。

つづく（写真はネットから）





10月19日(木) 雨・22度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月19日(木)04時15分23秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

つづき

上越国境の山は、遠路もあって案外入っていない。

記録を調べたら、

1971年07月10日～11日・・・・・・・・土樽～茂倉岳～谷川岳（今回の後半コース・単独）

〃 11月20日～22日・・・・・・・・何故か、同じ年に二回（芦安・Sと）

1974年08月02日～05日・・・・・・・・巻機山～朝日岳～白毛門

1980年08月14日～16日・・・・・・・・平標山～万太郎～谷川岳（仙ノ倉沢・西ゼン＝沢登り）

1998年03月27日～29日・・・・・・・・仙ノ倉山・谷川岳西黒尾根～西黒沢（山岳スキー）

2004年07月24日・・・・・・・・谷川岳（天神尾根）

2007年06月17日・・・・・・・・谷川岳（天神尾根）

2010年03月08日・・・・・・・・天神尾根～谷川岳～西黒沢（山岳スキー・単独）

2017年10月04日～06日・・・・・・・・今回

と、落ちているものもあると思うが、このくらいだった。

やっぱり、案外と行っていなかった。

谷川岳は、東京からは近くてイイ山だが、静岡からは遠い山ですね。



[10月18日\(水\) 晴・24度](#)

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月18日(水)06時01分57秒

今日は

久しぶりの晴天みたい。長雨は野菜が心配。

16日つづき

蓬峠は風の通り道だから、夜半は風が強かった。簡単な朝食は混ぜご飯・インスタント味噌汁・ノリ。それに持参の納豆を掛けた。

ジャンパーに雨具を羽織り、手袋も二枚で出発。まだ、薄暗く霧霧霧なので、ヘッドランプも点けた。小屋番は、小屋の外に下がる鐘を三回鳴らして見送ってくれた。これは仏教的には、「現在・過去・未来」だが、小屋番の意図は不明。

まず、武能岳（1760m）に上る。標高が上がると霧はなくなった。小屋は標高約1500mだが、その標高は雲海だったのだ。相変わらず、モーレツな風が左手から吹きまくる。時々、よろけるくらいだった。武能岳から約200m下る。下り切ったコルが一番風が強かった。気温はさほど低くはないが、風は冬山並みだった。

過去、富士山・槍ヶ岳・乗鞍岳でモーレツな風を経験した。立って歩けず、「匍匐（ほふく）前進」をしたこともある。人間は風速45mで「飛んでしまう」と言われる。デナリ（マッキンリー）で遭難した、植村直巳は、「風で飛ばされ遭難した」と言われている。

つづく





10月17日(火) 雨・22度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月17日(火)06時25分43秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

しかし、

天気が悪い。悪すぎです。この時期、10月半ばでこの天気は珍しい。この先も良くない。アウト・ドア（山・畑）は、困りますね～。

カルパッチョは、好きで良く食べます。
この場合、野菜は全て自家製です。

赤タマネギ（春収穫したものだが、この時期でも甘くて美味しい）
水菜（シャキシャキ感がイイ）
サニーレタス（少し苦っぽくてイイ）
トマト（アイコは雨に強い）

もう一種あるが、名前を失念。

野菜も沢山出来て、食べきれないのですが、
配るのは、なかなか大変です。



[10月16日\(月\)雨・22度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月16日(月)05時54分51秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日のつづき

蓬峠から、土樽に下る道を15分行くと水場はあった。
水は半端な流れでなく、ガンガン流れていた。
水源は、縦走して来た1544m峰の沢だった。

傍らに大五郎の4Lボトルが数本置いてあった。
小屋番は何も言わなかったが、水を揚げてやれば喜ぶ
だろう。全員で水を揚げてやった。勿論、小屋番は
大いに喜んだ。

夕食は5時半。それまで時間があつたので、飲んでだべった。
氏は東京の労山に在籍していたという。氏は饒舌だった。小屋番は、
二つタブーがあるという。一つは、野球の話、もう一つは、政治の
話。でも、その夜の氏は、大いに語った。

勧められた酒は、土樽の地酒の「雪男」

<https://www.saketime.jp/brands/2477/>

さっぱりした飲み口で茶碗一杯450円。結局、6杯やってしまった。
氏はもっぱら、焼酎だった。

ヒュッテの照明はランプ。最近の小屋は、殆ど自家発電があるから、
ランプの宿は珍しく貴重な存在。完全燃焼で油煙は出ないそうだ。
ランプは現在、北海道でしか販売していないそうだ。

20時になった。氏に「ゴトーさん、ぼちぼち寝ましょうと」
促され就寝。外は、ゴーゴート風が唸っていた。





[10月15日\(日\)雨・22度](#)

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月15日(日)06時18分57秒

昨日のつづき

蓬ヒュッテに着いた。白毛門登山口から約10Hだった。
久しぶりに、二桁時間を歩いた。疲労は酷くない。

ヒュッテは、セツ小屋山と武能岳のコルに建っている。
ヒュッテから土樽まで約3H30で下れる。土樽は関越
トンネル北側の入・出口。ヒュッテから良く見える。

ヒュッテは、平屋建て。入って右がテーブル、奥が厨房、左が
二段のベッド。20名宿泊すればイッパイ。主人は、土樽の
高波菊男氏。69歳。有名で吾策新道を開削した、高波吾策氏
の孫にあたる。

ヒュッテは、苗場町所有。氏は有料で借りている。それ故、上がり
は自身のモノのようだ。氏は夏は小屋番、冬はスキーインストラクター。
山岳スキーもやるそうだ。N大出身で若い頃は東京にいたという。
従って奥様は東京の方。N大では、大学紛争時、旗を振ったそうだ。

ヒュッテは、労山割引が利いた。ただ、労山会員証を持参したのは、
私とMさんのみ。500-だが有難い。100-足してビアを飲んだ。
500-のバックマージンは、全国連盟からなし。全て善意で持ち出し
とのこと。これは知らなかった。

ビア等、荷揚げは全て人力。15kgを5Hで揚げるという。へりは
とても頼める状況はないという。ほか、登山道の笹の下刈りなどの

仕事もある。

薄暗い小屋に入った。余り体は大きくない、ヒゲズラの氏が、開口一番「明日の水はあるか」と聞いた。「ない」と答えると、なければ、往復25分の水場まで行き汲んで来いという。買うことも出来るが、時間があるので、全員で水場へ下った……。

つづく





[10月14日\(土\) 雨・22度](#)

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月14日(土)04時29分34秒

秋山合宿で小川山・甲武信岳だったが、
雨で中止。この時期の、長雨は珍しく記憶にない。
信州の紅葉はこの長雨で終わりか??!!

2016年は、10月10日からしばらく晴れ・・・両神山、東北の山
2015年も8日から、しばらく晴れ・・・・・・・・五竜～鹿島槍
2014年は、13日に台風だった。しかし、その後は晴れ・・・鳳凰三山

日記をつけていると、よく分かるね。
読み返すと、結構面白い。が、過去は戻らない。

10日のつづき

清水峠で休憩後、上り返して七ツ小屋山。この辺りは高原状の
山が続き、イイ雰囲気。まさに稜線散歩だった。しかし、落とし穴が
あった。

高原上の山故、あちこちに池塘(ちとう)が点在していた。池塘は、
山にできた池。昆虫はいるが魚はいない。上越方面など、豪雪山域
に多い。池に映った逆さ山岳は人気があり、何となくメルヘンチック
で人気がある。

池塘があつて、木道が通っていた。木道は最後が池塘に潜っていた。

私はラストを歩いていた。皆は、ピョンピョン飛んで、池塘を越えた。ただ、何故か私は、飛ばないで右足を右先に置いて渡ろうとした。

ところが、そこは木道外で、もろに池塘にハマった。池塘は、泥炭が溜まっている。足首まで泥炭が入って真っ黒になってしまった。もう少しで、小屋というのに……。

小屋に着いて、顛末を話したら、「ああ、いますよ」で、やっぱり同じような「事故」があるそうだ。50年以上の山でこんな経験は初めて。「池塘」は、チト気を付けようでした。

つづく





[10月13日\(金\)曇・22度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月13日(金)06時32分6秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

修禅寺

奥の院。護摩堂で初めてお勤めをした。

護摩堂とは、

真言宗などの寺院で、護摩をたき修法を行うための仏堂。

本尊は不動明王か愛染明王・・・ネット

奥の院では数年前から、護摩堂を建設していた。

以前、訪ねた時、建設資金募金をしていた。巡礼会の名前で募金をした。壁に貼る杉板（樺板？）1枚＝3000－くらいだったと記憶している。

今回、護摩堂を開けてくれ、そこでお勤めを行った。

堂内は真新しく、木材の香りが鼻をくすぐった。

六角の支柱は、太いもので、檜のむく感じだった。

寺番の方も温かい方で歓待してくれた。

修善寺に行った際は、是非、奥の院に足を伸ばすことをお勧めします。

ただ、出来れば歩いて行きたいですね。修禅寺からイイ感じの田舎道を1時間です。



[10月12日\(木\) 晴・23度](#)

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月12日(木)05時18分31秒

昨日は

10月度・伊豆八十八巡礼でした。コースは、達磨山下・北又林道入り口～北又集落～奥の院～修禅寺。天気は晴れ高温。参加は、25名。

北又林道入り口から出発。天気は良い。今回は2015期受講生の「結願（けちがん）日」。二年間頑張った方の卒業式だった。対象者は、7名だが、留年・落第で、卒業は4名。うち完歩＝2名、皆勤＝1名だった。

完歩は、伊豆札所約500kmを完全に歩いた方、皆勤は、すべて参加したが、時々、バスに乗った方。完歩・皆勤の方には、私から、結願証書が贈られる。これは、修禅寺で発行されている有料のものだが、なかなか立派な証書。

修禅寺本堂に上がり最後のお勤め。最後に本堂でお勤めが出来るのは、ここの住職、吉野老師の計らい。本堂に上がってのお勤めはなかなか出来ないことで有難い。

午後は、長岡「おおとり荘」で結願祝い。かくし芸・カラオケで大いに盛り上がった。また、来月から新しい巡礼が始まる。





10月10日(火) 晴・25度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月10日(火)05時56分11秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

朝日岳

を下る途中、ジャンクションピークに巻機山に至る道標があった。入り口は、道が見えたが、少し入ると熊笹に覆われとても歩ける状態ではなかった。

ただ、山日記を見ていたら、1974年8月2日～5日、巻機山～白毛門まで歩いてた。しかし、まったく記憶がない。調べてみた。同行者はO（オー）。

- 8/2 上野発 22:13 ~ 六日町 3:34 (泊)
/3 清水集落 7:00 ~ 米子沢 7:30 ~ 稜線 13:55 ~ 巻機山 14:05
巻機山と米子頭山のコル 15:25 (テン泊)
/4 起床 6:00 ~ 米子頭山 7:30 ~ 柄沢山 9:05 ~ 朝日岳 14:40 (泊)
/5 起床 4:00 ~ 笠ヶ岳 6:40 ~ 白毛門 7:25 ~ 土合 9:07 ~
上野 11:50

だった。

現在、このコースは夏は歩けない。藪が酷いからだ。記録もない。歩いた記録は残雪期(4~6月)のみ。1974年といえば、今から43年前。記録を見る限り、当時は夏でも歩けた記録でした。





[10月9日\(月\)晴・24度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月9日(月)06時41分49秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

朝日岳

で小休止し、少し食べて飲んだ。
頂の北側は池塘(ちとう)が幾つも点在していた。
素晴らしいところだった。

展望はよく、遥かに尖り大きな越後駒、右に会津駒、
その手前に、燧ヶ岳が見えた。
平原をしばし歩くと、急下降。しかも、トラバースで
足元が悪い。右手は大きな急斜面で落ちたらアウト。
緊張する下りだった。

やがて清水峠。JR東日本の三角屋根の大きな建物がある。
立派な建物だが、これは登山者は使えない。昔の送電線監視
小屋。脇に申し訳なきように、5～6名入れればいっぱいにな
りそうな白崩避難小屋があった。ちなみにこれも、JR東日本
が建てたもの。

近くに送電線がある。ネットによると、JR東日本は、首都圏の
90%の電力を自前で持っているという。また、ここには「国道
291号」がある。ただ、「国道(酷道)」とは、名ばかりで、

明治18年8月、4年の工事を経て開通したものの、翌月の大雨で崩壊し、そのまま廃道になったという・・・。

つづく



[10月8日\(日\)晴・23度](#)

[返信・引](#)

[用 編集](#)

[済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月8日(日)06時23分38秒

5日

起床4:00。朝食を済ませ、車で谷川岳BPから土合に下り、白毛門(しらがもん)登山口発5:11。昨夜は大雨だったが、星が見えた。

ヘッドランプで上り出す。松ノ木沢頭まで2H、とにかく凄い急登が続く。上部は岩場が多くなる。今山行の最初のピーク、白毛門(1720m)に立った。

対岸の谷川岳・一の倉沢の岩壁が圧倒的。朝日岳に向かう。付近は昨日の雨が雪・シュカブラだった。上部は白。中間部は紅葉。下部は緑の、いわゆる「三段染め」だった。

一同、感動・感激・感心だった。小ピークを幾つも越えて10:38、朝日岳(1945m)着。ここは以前、ナルミズ沢をやった時以来だった。

つづく





10月7日(土) 晴・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月7日(土)06時34分47秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

4日～6日

は、群馬・戸神山、谷川岳馬蹄型縦走でした。
天気は3日間晴れ、参加は5名。

4日＝戸神山登山。戸神山は、関越道・沼田IC北にある山。関越道通行の際、目立って気になる山。長年、上りたいと思っていたが、やっと実現した。標高は、765mと低い展望は抜群の山だ。

長泉発9時。Lのミスで出発時間が徹底されず、遅れた。それでも、戸神山登山口発12:07。戸神神社林道を少し上り、山道に入る。最初から岩の急登。12:49頂上着。風が強く寒かった。

軽く飲んで食べて下山。途中で上って来る何人かに会った。なかなか、人気の山の様だ。再び関越に乗り水上ICから谷川BPに入り泊まった。



10月4日(水) 晴・23度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月4日(水)05時18分30秒

乾徳山

扇平に千振（センブリ）が沢山咲いていた。

リンドウ科の越年草。日当たりのよい山野などに生え、

[返信・引用](#)

高さ約 25 センチ。茎は四角柱で暗紫色、葉は線形。秋、花びらの 5 裂した、紫色のすじのある白い花を開く。全体に苦味があり、胃腸薬に用いられる。名は、煎じて千回振り出してもまだ苦いことに由来。当薬(とうやく)。医者倒し。・・・ネット

昔は、箱根山などに沢山あった。
薬草と知られ、軒下に干してあった。
年配者は、干したものを煎じて飲んだものです。



[10月3日\(火\)曇・25度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月3日(火)05時17分59秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

乾徳山

の帰路、御坂でキノコ屋さんに寄った。
食べられるどんなキノコが売っているのか興味があった。
勿論、安く新鮮なら、購入するつもりだった。

店には高齢のジジ・ババさまがいた。
応対はババさま。ジジさまは、奥に座って動かなかった。

キノコを吟味した。10種類以上あった。ジゴボウは分かったが
他は全く分からない。

ひとつ特徴的なキノコがあったので聞いたら、「ヤナギ」と
教えてくれた。

<https://www.1101.com/kinokonohanashi/074/idontknow.html>

<http://www.sansaikinoko.com/numeri.htm>

これは、「ヌメリスギダケ」と呼ばれるキノコ。
笠のイボイボが特徴的だった。

売っているキノコは、全体的に古い感じで、ヨレヨレだった。
新鮮なら購入だったが、他の店もあるので、この店を後にしようとした。
この間、約15分。そうしたら、ババさまから、驚くべき一言。
「授業料を払え」だった。

一瞬、「何だ・何と・何じゃあ」だったが、無視して車に乗ったら。
今度は、今まで全く動かなかったジジさまが、やおら立ち上がり、
窓を閉めた助手席に迫り、ガアガアとわめいている。今にも、
喰いつきそうな形相だった。車も叩かれると思った。

いやはや、驚いた。甲斐では「冷やかし」は、御法度なのか。
それとも、何か余程、機嫌を損ねたか。その日は、「冷やかし客」
ばかりだったのか……。車内は、しばし、その話題で沸騰。

立ち去るタイミングで、外車が一台到着。この方は、どうなったか。
このところ、奥駈道、今回と印象的（衝撃的かな）ことが多い。
世の中を、象徴している現象かしら。

写真・上＝ヤナギ（ヌメリスギダケ）



[10月2日\(月\)雨・23・度](#)

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年10月2日(月)04時47分54秒

一昨日は

乾徳山でした。コースは、A班・3名＝徳和～国師ヶ原～扇平～山頂～大平、B班・2名＝大平から往復。天気は高曇り。

長泉出発時、山城は、富士山・丹沢・山梨方面だった。体調不良の方がいたりで思案。結局、2名が上っていない、乾徳山に決定。

栗がたわわに実る徳和で3名下車。2名は大平に向かった。女性軍は、栗拾いに精を出した。養鱒所脇から歩きだす。途中、林道が崖崩れだった。

前日、雨だったらしく、やや滑る登山道に行く。寒いと思ったが暑くて大汗を掻く。ただ、この登山道は上り易く快適。錦晶水で休憩。国師ヶ原は、まだ紅葉は早かった。50年前、初めて訪れたが、当時は牛乳が売っていた。

扇平から雲海上の富士山山頂部が少し見えた。ここから、F市の方が同行。岩場に掛かる。岩は乾いて快適。初めての皆さんも、それなりに楽しんで上っている。

山頂下で大平班と合流。頂上岩壁を上る。気持ち良かった。大げさに言えば久しぶりの岩だった。途中、クラックに靴が挟まってしまった。頂上は混んでいたの、記念写真を撮って下山。岩壁下で皆と昼食。このところ玉子焼きを研究??しているが、今回も美味しかった。

F市の方は、水のタルから下るので出発した。午後は、大平に下山。扇平に千振が沢山咲いていた。ジゴボウ(鼻猪口)を探したがなかった。下山後、メルシャンワインに寄って試飲。乾徳山は、まあまあ標高差もあり、森・高原・岩場と三点セットの好きな山です。



[\(無題\)](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2017年 9月 29日(金)08時 08分 23秒

昨日、

映画「ダンケルク」を観た。

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

第2次世界大戦で敢行された兵士救出作戦を題材にした作品。
ドイツ軍によってフランス北端の町に追い詰められた連合軍
兵士たちの運命と、救出に挑んだ者たちの活躍を描く。監督は
『インセプション』などのクリストファー・ノーラン。

『マッドマックス 怒りのデス・ロード』などのトム・ハーディ、
『ブルートで朝食を』などのキリアン・マーフィ、『ヘンリー五世』
などのケネス・ブラナーらが出演。圧倒的なスケールで活写される
戦闘シーンや、極限状況下に置かれた者たちのドラマに引き込まれる。
・・・ネット

リアルな画像だった。とりわけ「音」が凄い。今にも弾が飛んで来そう
だった。音楽も延々と繰り返す低音が耳に残る。戦闘機シーンは、搭乗
していると錯覚した。

戦争の経験はないが、映画から悲惨・残酷・非情・悲哀・矛盾などは
十分伝わる。我々は既に召集されることはないが、子供・孫を戦場
に行かせてはならない。

平和を切望するが、平和ボケはいただけない。しっかり世の中を吟味
していくアンテナが必要ですね。





9月28日(木) 雨・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月28日(木)04時45分53秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日は

9月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、富岳風穴～富士山原始林（樹海）～民宿村～
本栖湖（昼食）～割石峠（静岡・山梨県境）～あさぎり
道の駅。天気は曇り。参加は17名。

前回、最終の富岳風穴から出発。涼しい。樹海を進む。
先日の台風の葉っぱ、小枝が凄い。
快適に歩き、民宿村着。ここでトイレ休憩。

国道を潜り、城山下を歩き、本栖湖着。水が極端に少ない。以前、靴を脱ぎ湖畔を歩いたことが懐かしい。みやげ物店で昼食。看板娘のバアサンは91歳だが元気イッパイ。

ここで会った、ツアー・ツーリズムの富士山ウオークのコースは、割石峠～民宿村だった。いくら東京で往復の時間が掛かると言え、これでは、一周に3年掛かる。

午後は、本栖湖から割石峠を越えて、あさぎり道の駅着。距離16km。歩数約28000でした。





[9月25日\(月\)晴・23度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月25日(月)05時48分22秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

つづき

弥陀ヶ森分岐。ここに例の厄介なモノ＝境界門があった。門の脇には、「登山者にお願ひ」と境界の趣旨が書いてあった。境界については、諸説がある。要するに女性蔑視・女性を不浄なモノと位置つけた考え。しかし、あの高野山でさえ、1906年、明治39年、女人禁制は撤廃された。それが、ここは未だに続けられている。

一番、不可解なのは「世界遺産」でありながら、それが認められたこと。インターナショナルな現在、それが通用するとは・・・。
今回は通行に確信はなかった。ある意味、確信犯だった。そんな奴がいてもイイだろう。結果は、案の定、最悪だった。最初、宿坊とおぼしき所の若い輩に捕まった。

そうこうしているうちに、年配のオヤジが出てきて罵詈雑言の嵐。「死ね馬鹿やろ〜」「日本男子が何を考えてる」「罰が当たるぞ」「祟りが掛かるぞ」等々。結局、押し問答だった。埒が明かないので、強行突破だった。

ワン・ツー・スリーでダッシュした。彼らにもイイ刺激であったと思う。今後は、せめて月1回、女性登山を認めるとかの措置が欲しいものだ。しかし、何故それほど女性を忌み嫌うのか理解できない。自身の出生は、正に女性からだ。それを否定するのは、自己否定ではないだろうか。

・・・結局、女人結界の趣旨を掲げた大きな立て看板はあるが、書いてあることは、伝統・慣習・伝承等で、「何故、女性は駄目なのか」は読み取れない。その理由を明確にしない限り、この問題は永遠に解決しないだろう・・・。



[9月23日\(土\)曇・24度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月23日(土)06時44分4秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

20日(曇時々小雨)

4時起床。朝食は出来て置いてあった。シャケ・納豆もあり、食べきれな
いくらいだった。ヘッドンで出発。朝やって来たオジサンもいた。オジサンは、この辺りは何回も上っていると言った。途中でオジサンが先行。

涼しい風の中進む。次第に岩っぽくなる。大普賢岳のトラバース道になると、朝日窟・笹ノ窟とか岩壁の岩屋が数ヶ所見られた。鉄梯子・鎖場をこなす。さながらミニ黒戸尾根で飽きなかった。天気は高曇りで、涼しい風がゴーゴーと吹いていた。今日は日本海側で悪天候予想だった。

急登をこなして、大普賢岳着。風が冷たかった。小休止し再び出発。辺りはシャクナゲの山だった。皆さんの意見では、葉がやや小さいとのこと。盛期は凄いだろうと思った。明王ヶ岳を過ぎて、阿弥陀ヶ森分岐。ここに例の厄介なモノ＝結界門があった。

つづく





[9月22日\(金\) 晴・23度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月22日(金)02時32分42秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

19日～21日

まで、熊野奥駆道でした。

大峯奥駆道（おおみねおくがけみち）は、吉野と熊野を結ぶ大峯山を縦走する、修験道の修行の道。1000-1900m級の険しい峰々を踏破する「奥駆」という峰入修行を行なう約80kmに渡る古道を指す・・・ネット

今回は、和佐又山から、大普賢岳（1780m）～三上ヶ岳（1719m）～二蔵宿小屋（泊）～青根ヶ峰～大滝の全体の約三分之一を歩いた。なお、山上ヶ岳は女人結界で女性の登山は基本的に出来ないことになっている。

天気は、20日＝曇り時々小雨、21日＝快晴。参加は5名。

19日＝長泉発6時。和佐又ヒュッテ着13：09。翌日の下見をしたり、
午後はノンビリ過ごした。ヒュッテは、古いが食事はマアマア。
風呂も入れてくれた。寝所は三段ベット。別の客はおらず、静かだった。

20日＝満足する朝食を済ませ、5：03発。しばらくヘッ電を点けた。
大普賢岳まで、岩場が続く、ミニ黒戸尾根だった。途中に行者が
修行を行った、岩屋が点在。
山上ヶ岳に向かう。途中、阿弥陀ヶ森分岐に、「女人結界門」が
あった。本来、ここから女人は入れないらしい。大きな看板があり
「女人結界維持に協力をお願いしたい」と書いてあった。

つづく





[9月18日\(月\)晴・23度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月18日(月)06時19分6秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

長泉町で

トリプル選挙があった。県会・町長・町会の三つ。
県会は、女性候補が奮闘したが僅差で敗れた。

町長は、前県議と前副町長の一騎打ち。
結果は、圧倒的な差で前副町長だった。前県議は
知名度はあったが、年齢がネックとなったか。

町は現在、火葬場で紛糾している。長泉町に新築出来ないので
裾野市と合同の火葬場を作るという。前県議は、見直し・反対
だったが、前副町長が当選では、裾野で加速されるだろう。
町民が選んだのでは、文句は言えない。

町会は、定数16に対して23の立候補。7名落選する。
定数が減ったこともあるが、最近では珍しく多かった。
実は町会選挙は、唯一「供託金」が不必要。

何故、町会議員選挙だけ供託金がないのか不思議といえば
不思議。誰でも気軽に選挙に出れるのは、良いといえば良い。
しかし、選挙期間だけ運動をして、日ごろ、何もやらないで
の立候補は如何なものか。最下位の得票は、82票だった。

近年、地方議員の風当たりは厳しい。不要論もある。歳費が20万以上の働きをしているだろうか。ちなみに長泉町の場合は、平議員で、月額26万円。

K党のS君が病で倒れ、K党は3年ほど空席だった。今回、それを補うべく、一人立候補した。結果は最下位当選だった。確かに知名度はなかったが、最下位は意外だった。やっぱり、議席が無かった影響は大きかった。ある意味、議席がなくても回っていた訳だから・・・。

騒がしかった一週間は終わった。選ばれた皆さんには、奮闘を期待したいですね。





[9月16日\(土\)曇・25度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月16日(土)06時22分25秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

またまた

テレビの話で恐縮ですが、先日のデナリ（マッキンリー）スキー滑降は感動的だった。

まず、凄かったのは、スキー・テント装備、約20kgを背負って、カシン・リッジを上ったことだ。カシン・リッジは1日で上れないから、テントを持参する。重荷でここを上ること自体、既にハイレベル。

スキー装備は、登山装備より約10kgプラスになる。そして、当然、滑降時にもその荷物を背負わなければならない。通常、ゲレンデでも、まず、荷物を背負って滑ることはない。荷物を背負って滑るのは、非常に難しく大変。

私も山岳スキーヤーの端くれで、ゲレンデスキーの場合も必ず訓練で荷物をある程度背負って滑る。

以前、火打山から澄川を滑ったが、ここは1日で滑れない。テント・シュラフ・炊事一式を背負った。荷物は、約20kgあったが、スキーにならなかった。

登山と同じで荷物が無いスキーは、体がそれを覚えてしまうと、

荷物スキーが出来なくなってしまう。山岳スキーの場合は、宿泊しなくても何かと荷物が多い。

今年も白馬乗鞍岳から蓮華温泉を滑ったが、ゾンデ・スコップ・ビーコンなど背負い、深雪のスキーは、半端でなかった。およそ華麗なスキーとは、ほど遠かった。



[9月15日\(金\)曇・25度](#)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月15日(金)06時21分13秒

戸田

戸田大川地先に見事な石垣があった。

多分、昔のままかと思います。

最近、都市部ではなかなか見られない石垣。

懐かしく、温かく、なかなかイイ感じですよ。

崩れずに、いつまでも見られることを願いますね。



[9月14日\(木\)晴・25度](#)

[返信・引用](#)

昨日は

9月度・伊豆巡礼でした。コースは舟山～舟山峠（仮称）～戸田～大行寺～へ戸田峠～達磨山レストハウス～北又林道入り口。天気は晴れ高温。参加は26名。

先月は三島で37.5度の猛暑で今月に延期した。理由は、伊豆巡礼で二番目に大変な戸田峠越えだったからだ。海拔0mの戸田・大行寺から戸田峠（標高725m）は、暑さと上り坂の格闘。

次回で2014期の方が結願するが、最後の「生みの苦しみ」だった。しかも、昨日は舟山峠（仮称）越えのおまけ付き。

スタートが8:03で終了が15:20。（途中、昼食が約1H）歩数は約3万歩。暑い中、皆様、よく頑張りました。アッパレ!!!です。





[9月12日\(火\) 雨・25度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月12日(火)06時13分47秒

[返信](#)・[引用](#)
[編集](#)
[済](#)

敬老の日

は、来週ですが、長泉町では、一週間早くお祝いを行う。

区から石舟庵の紅白饅頭、町から現金5000ーが届いた。

有難いような、改めて歳を感じるような・・・。
複雑な心境ですね。





[9月11日\(月\)晴・25度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月11日(月)06時06分39秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

土曜日は

精進湖・パノラマ台でした。コースは、県駐車場～旧中道往還～女坂峠～三方分山～精進峠～パノラマ台。天気は晴れ。

精進湖はオートキャンパーで賑やか。大型犬を連れた家族が丁度、朝餉だった。大人しい犬で朝食をジッと見ていました。

旧中道往還から登山開始。途中の諏訪神社に樹高40mの大杉があり見学。急登を女坂峠（阿難峠）に向かう。まだまだ暑い。

三方分山途中で見事なキノコを発見し頂いた。が、種類がハッキリせず結局廃棄。ちょっと残念。美林が続く、イイ感じの稜線を歩く。

やがて精進峠。湖から沢山の上り。年配者が（私より）が多い。1時間くらいで丁度良い行程かも。パノラマ台着。ちょっと俗っぽくて、スッキリした頂上でない。ここで昼食。

精進峠から下山。周りは美林。紅葉を期待。まだまだ暑い日が続く。この程度のハイクが有難いですね。



[9月23日\(土\)曇・24度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月23日(土)06時44分4秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

20日(曇時々小雨)

4時起床。朝食は出来て置いてあった。シヤケ・納豆もあり、食べきれないくらいだった。ヘッドンで出発。朝やって来たオジサンもいた。オジサンは、この辺りは何回も上っていると言った。途中でオジサンが先行。

涼しい風の中進む。次第に岩っぽくなる。大普賢岳のトラバース道になると、朝日窟・笹ノ窟とか岩壁の岩屋が数ヶ所見られた。鉄梯子・鎖場をこなす。さながらミニ黒戸尾根で飽きなかった。天気は高曇りで、涼しい風がゴーゴーと吹いていた。今日は日本海側で悪天候予想だった。

急登をこなして、大普賢岳着。風が冷たかった。小休止し再び出発。辺りはシヤクナゲの山だった。皆さんの意見では、葉がやや小さいとのこと。盛期は凄いだろうと思った。明王ヶ岳を過ぎて、阿弥陀ヶ森分岐。ここに例の厄介なモノ＝結界門があった。

つづく





[9月22日\(金\) 晴・23度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月22日(金)02時32分42秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

19日～21日

まで、熊野奥駆道でした。

大峯奥駆道（おおみねおくがけみち）は、吉野と熊野を結ぶ大峯山を縦走する、修験道の修行の道。1000-1900m級の険しい峰々を踏破する「奥駆」という峰入修行を行なう約80kmに渡る古道を指す・・・ネット

今回は、和佐又山から、大普賢岳（1780m）～三上ヶ岳（1719m）～二蔵宿小屋（泊）～青根ヶ峰～大滝の全体の約三分之一を歩いた。なお、山上ヶ岳は女人結界で女性の登山は基本的に出来ないことになっている。

天気は、20日＝曇り時々小雨、21日＝快晴。参加は5名。

19日＝長泉発6時。和佐又ヒュッテ着13：09。翌日の下見をしたり、
午後はノンビリ過ごした。ヒュッテは、古いが食事はマアマア。
風呂も入れてくれた。寝所は三段ベット。別の客はおらず、静かだった。

20日＝満足する朝食を済ませ、5：03発。しばらくヘッ電を点けた。
大普賢岳まで、岩場が続く、ミニ黒戸尾根だった。途中に行者が
修行を行った、岩屋が点在。
山上ヶ岳に向かう。途中、阿弥陀ヶ森分岐に、「女人結界門」が
あった。本来、ここから女人は入れないらしい。大きな看板があり
「女人結界維持に協力をお願いしたい」と書いてあった。

つづく





[9月18日\(月\)晴・23度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月18日(月)06時19分6秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

長泉町で

トリプル選挙があった。県会・町長・町会の三つ。
県会は、女性候補が奮闘したが僅差で敗れた。

町長は、前県議と前副町長の一騎打ち。
結果は、圧倒的な差で前副町長だった。前県議は
知名度はあったが、年齢がネックとなったか。

町は現在、火葬場で紛糾している。長泉町に新築出来ないので
裾野市と合同の火葬場を作るという。前県議は、見直し・反対
だったが、前副町長が当選では、裾野で加速されるだろう。
町民が選んだのでは、文句は言えない。

町会は、定数16に対して23の立候補。7名落選する。
定数が減ったこともあるが、最近では珍しく多かった。
実は町会選挙は、唯一「供託金」が不必要。

何故、町会議員選挙だけ供託金がないのか不思議といえば
不思議。誰でも気軽に選挙に出れるのは、良いといえば良い。
しかし、選挙期間だけ運動をして、日ごろ、何もやらないで
の立候補は如何なものか。最下位の得票は、82票だった。

近年、地方議員の風当たりは厳しい。不要論もある。歳費が20万以上の働きをしているだろうか。ちなみに長泉町の場合は、平議員で、月額26万円。

K党のS君が病で倒れ、K党は3年ほど空席だった。今回、それを補うべく、一人立候補した。結果は最下位当選だった。確かに知名度はなかったが、最下位は意外だった。やっぱり、議席が無かった影響は大きかった。ある意味、議席がなくても回っていた訳だから・・・。

騒がしかった一週間は終わった。選ばれた皆さんには、奮闘を期待したいですね。





9月16日(土)曇・25度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月16日(土)06時22分25秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

またまた

テレビの話で恐縮ですが、先日のデナリ（マッキンリー）スキー滑降は感動的だった。

まず、凄かったのは、スキー・テント装備、約20kgを背負って、カシン・リッジを上ったことだ。
カシン・リッジは1日で上れないから、テントを持参する。
重荷でここを上ること自体、既にハイレベル。

スキー装備は、登山装備より約10kgプラスになる。
そして、当然、滑降時にもその荷物を背負わなければならない。
通常、ゲレンデでも、まず、荷物を背負って滑ることはない。
荷物を背負って滑るのは、非常に難しく大変。

私も山岳スキーヤーの端くれで、ゲレンデスキーの場合も必ず訓練で荷物をある程度背負って滑る。
以前、火打山から澄川を滑ったが、ここは1日で滑れない。
テント・シュラフ・炊事一式を背負った。荷物は、約20kgあったが、スキーにならなかった。

登山と同じで荷物が無いスキーは、体がそれを覚えてしまうと、

荷物スキーが出来なくなってしまう。山岳スキーの場合は、宿泊しなくても何かと荷物が多い。

今年も白馬乗鞍岳から蓮華温泉を滑ったが、ゾンデ・スコップ・ビーコンなど背負い、深雪のスキーは、半端でなかった。およそ華麗なスキーとは、ほど遠かった。



[9月15日\(金\)曇・25度](#)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月15日(金)06時21分13秒

戸田

戸田大川地先に見事な石垣があった。

多分、昔のままかと思います。

最近、都市部ではなかなか見られない石垣。

懐かしく、温かく、なかなかイイ感じですよ。

崩れずに、いつまでも見られることを願いますね。



[9月14日\(木\)晴・25度](#)

[返信・引用](#)

昨日は

9月度・伊豆巡礼でした。コースは舟山～舟山峠（仮称）～戸田～大行寺～へ戸田峠～達磨山レストハウス～北又林道入り口。天気は晴れ高温。参加は26名。

先月は三島で37.5度の猛暑で今月に延期した。理由は、伊豆巡礼で二番目に大変な戸田峠越えだったからだ。海拔0mの戸田・大行寺から戸田峠（標高725m）は、暑さと上り坂の格闘。

次回で2014期の方が結願するが、最後の「生みの苦しみ」だった。しかも、昨日は舟山峠（仮称）越えのおまけ付き。

スタートが8:03で終了が15:20。（途中、昼食が約1H）歩数は約3万歩。暑い中、皆様、よく頑張りました。アッパレ!!!です。





9月12日(火) 雨・25度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月12日(火)06時13分47秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

敬老の日

は、来週ですが、長泉町では、一週間早くお祝いを行う。

区から石舟庵の紅白饅頭、町から現金5000ーが届いた。

有難いような、改めて歳を感じるような・・・。
複雑な心境ですね。





[9月11日\(月\)晴・25度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年9月11日(月)06時06分39秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

土曜日は

精進湖・パノラマ台でした。コースは、県駐車場～旧中道往還～女坂峠～三方分山～精進峠～パノラマ台。天気は晴れ。

精進湖はオートキャンパーで賑やか。大型犬を連れた家族が丁度、朝餉だった。大人しい犬で朝食をジッと見ていました。

旧中道往還から登山開始。途中の諏訪神社に樹高40mの大杉があり見学。急登を女坂峠（阿難峠）に向かう。まだまだ暑い。

三方分山途中で見事なキノコを発見し頂いた。が、種類がハッキリせず結局廃棄。ちょっと残念。美林が続く、イイ感じの稜線を歩く。

やがて精進峠。湖から沢山の上って来る。年配者が（私より）が多い。1時間くらいで丁度良い行程かも。パノラマ台着。ちょっと俗っぽくて、スッキリした頂上でない。ここで昼食。

精進峠から下山。周りは美林。紅葉を期待。まだまだ暑い日が続く。この程度のハイクが有難いですね。



9月8日(金)晴・27度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年9月8日(金)08時11分19秒

昨日は

断捨離で倉庫の山装備大掃除でした。
25年前の引っ越しの際、ある程度、処分しましたが、
まだまだ沢山あった。

北鎌の冬で着た IBS 石井のダブルヤッケ上下・日本で初めて
輸入された、アゾロのプラブーツ・M 労山20周年のTシャツ・
ハンゴウ・細野の軽カマボコテント・まだまだ使えるコッフェル
セット・ザイルが数本・他・・・。

処分は辛いけど、残しても皆さんに迷惑が掛かるだけ。
明日は、埋め立てゴミの日だから、思い切るしかないか。





9月7日(木)曇・25度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年9月7日(木)06時16分42秒

昨日

ふらり、サンとムーンの魚屋に寄ったら、何とこぶし大のサザエ9個が880-で売っていた。

一応、静岡産。

パッケージには、「ご奉仕品」とあった。

安さを店員に聞けば、「分からない」だった。

まさか、密漁品でもあるまいし・・・。

とにかく、美味しく頂きました。

たまに、ブラブラ流すとイイこともあるものですね。





9月6日(水)雨・25度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年9月6日(水)06時29分14秒

昨日は

先週、土曜日の山行が台風で中止だったので、代替えて金時山2回でした。コースは、足柄駅7:01～新柴コース～1回目金時山～乙女峠～金時神社～2回目金時山～昼食(約1H)～新柴コース～足柄駅15:40。実時間=約7:30、累計標高差=約1534m。参加は3名。

足柄駅発。ゴルフ場脇から新柴コースに入る。このコースは北側で涼しくて良い。2:30で1回目金時山。過去の

タイムより5分速かった。乙女峠に下り、金時神社上の林道を辿り、登山口から2回目の頂上を目指す。

2回目頂上着 12 : 34。過去も記録とほぼ同じ時間。過去7月2回、8月1回、9月1回上っているが、速かったのは涼しかったからだろうか。

頂上で約1時間休憩。ビアがサイコーだった。新柴コースを下る。やっぱり下りは楽だ。15 : 40足柄駅着。実働時間約7 : 30。過去とほぼ同じ。長い一日が終わった。





9月5日(火)晴・25度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年9月5日(火)04時28分56秒

先日の

富士山ウオーキングで河口湖から鳴沢を歩いた。
この辺りの生け垣は、一位（イチイ）が多い。

長泉周辺では、ほとんど見られないが、原産が
シベリアで寒い場所が合っているようだ。
かつて、この木で位が高い方のシャクを作ったから
この名がついたという。

この時期、赤い実が出来る。
実は食べると甘くて美味しい。果実酒はキレイな
赤色が出る。
ただし、種は毒があるから噛んではいけないです。





9月4日(月)曇・21度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年9月4日(月)06時42分39秒

昨日は

地域の防災訓練でした。
好天で登山日和でしたが・・・。

一つ収穫がありました。
家の向かいに消火栓があります。
この消火栓、火災の際はそのまま使えると思って
いましたが、消防に聞いたら、可搬式ポンプを
経由しないと使えないそうです。

聞けば、この方式の消火栓は、火災の際、消防が
来れない場合、地域の消火活動で使うものとのこと。

これでは緊急の際、意味がないと思った次第。
期待外れでした。



9月1日(金)晴・25度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2017年9月1日(金)06時33分20秒

大分涼しい。ただ、虫は鳴かない。
先日、貰った鈴虫は、何処に行ったかな??
昨夜のサッカーは良かった。
若い衆の台頭は嬉しい。

昨日、落花生を収穫した。
直ぐ茹でて食べた。美味しかった。

種を蒔いたのは4月29日。丁度、4ヶ月。
日光・土壌・水分の恵みに感謝。
同時にこの日、ハクサイの種を蒔いた。

季節は進む・・・。



8月31日(木)晴・30度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月31日(木)06時45分36秒

昨日は

8月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは～河口湖～富士御室浅間神社～鳴沢「道の駅」～バス～船津胎内溶岩樹形見学～「道の駅」昼食～鳴沢氷結～富岳風穴。天気は晴れ・爽やか。参加は18名。

前回最終の河口湖発。天気は良く爽やかな風が吹く。ここは標高850mと高い。富士山ウォークでは、初めて「富士御室浅間神社」に寄る。富士山周辺では、最古の神社。

ちなみに、大昔は甲府から御坂峠を越えて、河口湖に着き、湖でみそぎをして、富士山河口湖口を上った・・・とある。

裏道を辿り、鳴沢「道の駅」着。平日だが大賑わい。ここでバスに乗り、船津胎内溶岩樹形を見学。潜って出て来ると「生まれ変わる」の伝承がある。「生まれ変わり」神が宿る富士山に上ったそうだ。

「道の駅」で昼食を済ませ、鳴沢氷穴に寄り、富岳風穴を見学して終了。今回は見どころが多いウォークで、皆様に喜ばれた。また、モロコシは相変わらずの人気でした。





8月28日(月)晴・27度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月28日(月)06時18分48秒

昨夜から、今朝は涼しくて、有難いですね。
ま、もう一度くらいは、ぶり返しも、あるかもですが・・・。

一昨日は、先週に続き、宝永山2352mでした。
夏休み最後の土日で、何処も人が多い。
遠出は避けて、近場にした訳です。

また、富士山は標高が高いので、涼しい。
近くでアプローチ時間が短い。燃費も掛からない。
標高差が、丁度、1000mもイイ。

と言っても、先週と同じコースでは、面白くないので

今回は須山お胎内コースから入り、赤岩下から伸びる
沢を経由した。

キノコもぼちぼち出てきて、今後が楽しみです。



8月25日(金)晴・30度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月25日(金)06時39分9秒

洗濯機

10年使っていた、乾燥洗濯機が不調だった。
すすぎまで行くが、次の脱水に行かず、何回もすすぎを
やってしまう。その都度、手動でやらないと、先に進まなかった。

一時は、「もはやこれまでか」で、新調を真剣に考えた。
購入すれば、10万は下らない。痛い出費になる。
一応、H社に連絡したら、排水がおかしいので見てくれた。

洗濯機をひっくり返したら、排水口の位置が悪く、ホースが
捻じれていた。そもそも家を作ってから洗濯機を購入した訳で、
排水口の位置まで、よく考えなかった。

裏ブタを外し、ホースを自由にして、短く切ったら、何とか
自然に排水口に届いた。試験運転は上々で、すすぎから排水は
問題なかった。

ちょっとした問題で何でも買えばイイではない。今回は粘って
無駄な購入を免れた。いやはや、浮いた10万で美味しいものを
食べましょう。





8月24日(木)晴・30度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月24日(木)06時42分4秒

昨日は、モーレツな暑さでした。三島であんな高温になるなんて。

TVの話題は、あまり取り上げないが、昨夜の「鳥人間コンテスト」は凄かった。

改めて、人間の能力の可能性を見せつけされた。

しかし、動力なしで、あれほど飛翔出来るなんて・・・。

40Km飛んで、まだまだ余裕があった・・・。

考えられない結果だった。以前、ソーラーヒコークで世界一周があったが、それ以上だろうか。設計者は、ノーベル賞級ではないか??!!

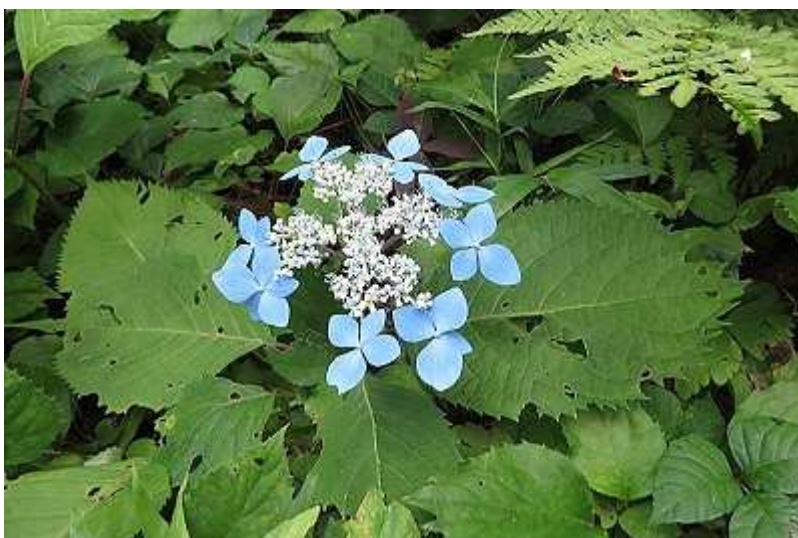
暑寒別岳(1492m)登山(つづき)

暑寒別岳(1492m)登山は、花の百名山にマシケゲンゲがあったからだ。マシケゲンゲは、オヤマノエンドウに似た花。ただ、この花を見るには、今回は時期が遅かった。

北海道は、確かに緯度が高いが、標高が低いので、春花の盛期は7月上旬まで。だから、今回は残念ながら、花は終わり、種になっていた。

また、暑寒別岳は、西の増毛からでなく、東の南暑寒別荘からが

良いそうだ。雨竜沼湿原は、北海道の尾瀬と称される所で、素晴らしいという。ただし、頂上まで8時間掛かるから、入る場合は、相当の覚悟が必要になりますね。



8月21日(月)曇・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月21日(月)06時44分30秒

昨日は

富士山・宝永山2352mでした。天気は、小雨・曇り・晴れと変わり易かった。コースは、幕岩沢（仮称）～幕岩～御殿庭～2352m峰。

天気予報は晴れだったが、霧が深い。
周遊道は、何かの行事で、大勢のランナーが汗だくでっていた。

幕岩沢（仮称）の橋からスタート。快適な岩床をグングン上る。
最後の滝（崖）は左に巻いた。
キノコを探しながら上ったが、アマタケは既に遅く余りなかった。

標高差約1000mを約3Hで上った。
トーキョーからの登山者が3名いた。六合から下山して来た。
二合目分岐で昼食。涼しくて快適。

午後は、幕岩から右岸を下る。フカフカで膝に優しい。
ミニ・グランドキャニオンに着いて終了。花が案外良かった。
北海道以来の山で、イイ汗を掻きました。





8月19日(土)曇・26度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2017年 8月19日(土)06時51分26秒

今日は、山行予定でしたが、起きると雨。

明日に延期です。

雨が多くて困ります。野菜が高いようですが、拙畑は、ピーマン・シシトウ・キュウリ・ナスが豊作で消化に困っています。取りに来てくれれば、上げますが・・・。

近くに保育園が出来た。我が家の子供もお世話になった、あそか保育園が始めたもの。名称は、お寺さんらしく、「あまね保育園」。お経に、・・・あまねく、いっさいにおよぼし・・・、から来ているそうです。

北海道の報告書、希望する方は、下記に連絡下さい。
お送りいたします。

takanori.reihou8888@gmail.com



8月18日(金)曇・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月18日(金)06時24分28秒

暑寒別岳(1492m)登山

暑寒山荘から出発。上り始めは急だった。
尾根に出ると、林道の様な道が五合目まで続く。
ここまで、結構長い。

山荘の標高が約300m。頂上が1492mだから
標高差は、約1192m。一般的に一時間で標高差
約300m上る。だから、頂上まで概ね四時間掛かる計算。

総じて、東北・北海道の山は、登山口の標高が低く、山の
標高は高くないが、標高差が大きい。通常、標高差が1000m
以上の山は登山と呼ぶ。標高差が1000m以下は、ハイキング
と分けられる。

五合目からやっと本格的な上り。ガスが去来し、展望は悪い。
好天時は利尻岳・大雪山が見えるという。また、この山は
山岳スキーでも有名。尾根途中の樹木の相当高い位置に
番号看板が打ち付けてあった。(写真)

ネットでは、冬は素晴らしい斜面が見られる。
海外で山岳スキーも悪くないが、北海道にもっと注目しても
いいだろうね。





8月17日(木)晴・27度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 8月17日(木)08時38分22秒

昨夜も涼しかった

メクラアブ=昆虫綱双翅(そうし)目短角亜目アブ科の昆虫の一種。
キンメアブの旧名。吸血飛来の際、体にまつわりつき、
周りが見えていないかのごとく突進してくるようすから
この名称でよばれてきた。
初夏に発生し、人畜にしつこくつきまとして吸血する。
1981年の国際障害者年の際、不適當な名ということで
ハネモンアブへの改称が提起された。
現在はキンメアブが昆虫学関連学会で認められているが、

ハネモンアブの和名も残っている・・・ネット

とにかく、アブには参りました。今回、カ（蚊）は、テント場にも全くいなかった。

ただ、私が初めて北海道に渡った、1975年8月、石狩岳林道で歩きながら、蚊の大群に襲われた。蚊は場所によって、違う場合があるかも知れない。

つづく





8月16日(水)曇・25日

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月16日(水)05時47分15秒

昨夜は随分、涼しかった。

8月2日(水)晴れ 暑寒別岳登山 標高差=1192m

暑寒別岳は、暑寒荘に泊まりたかった。増毛町もHPで「是非、宿泊して下さい」とPRしている。これだけ立派な、山荘が無料とは、北海道はやっぱり違う。

ところが、夕張岳で林道往復4時間で、すっかり予定が狂ってしまった。4時間は大きく、結局、秩父別PAでテン泊となった。

ところで、北海道の地名は、本土の地名が多く付けられている。秩父別町・北広島市・伊達市・八雲町など、明治となり、多くの武士が開拓民として、北海道に渡った結果である。

秩父別PAから増毛町に入る。暑寒別岳駐車場は誰もいなかった。代わりに、メクラアブの大群が、車に張り付いて来た。アブは温かい所が好きで、ボンネットは真っ黒だった。

つづく



8月15日(火)雨・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月15日(火)11時13分9秒

夕張岳・つづき

金山コース分岐からひと上りで夕張岳着。途中に「イワブクロ」が咲いていた。「イワブクロ」は、北・南アルプスにはない花。やっぱり北海道は違う。

頂上手前に祠があった。金属製の鳥居の上の部分が、ひしゃげていたが、雪の重みだろうか。いずれにしても、独立峰っぽいから、冬は相当厳しい気象だろう。

食事を済ませて下る。天気は快晴ではないが、まあまあ安定していた。爽快な草原を下り、前岳を巻いていくと、下からラジオをつけたオジサンが一人上って来た。奥方と来たようだが、奥方は2時間の林道歩きで疲れ、小屋で待機しているといった。

やっぱり林道歩きは大変だったようだ。再び冷水コースを下る。分岐で先ほどの相方が降りて来た。余り山に慣れていないような感じだった。帰りの林道は長く、来る時より時間が掛かった。疲れているからだろう。

ゲートから車で下ると、キタキツネがウロウロしていた。付近の土産物屋には
キツネに「エサをやらないで下さい」と書いてあった。野生は野生でいなければ
ならない。途中、温泉に入り、明日予定の暑寒別岳の増毛町（アデランスの
ぞうもう、
ではありません。ましけ、です）に向かった。

つづく



8月14日(月)曇・26度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 8月14日(月)04時07分28秒

昨日は

狩野川本流でリバー・ウォークでした。
大川端下から入渓。脇の天城峠に向かうR414は大渋滞。
天気は曇り。気温は暑くもなく寒くもない。

このところ雨が少ないので、水量は多くない。
しかし、川はキレイ。
1時間半で大川端着。キャンプ場だが誰もいない。

R414の陸橋を潜り、ワサビ田を抜けて、更に上流に
上る。傾斜が増し、小さな滝が続く。適当に遊ぶ。
やがて旧道の橋。小雨も降って来たので、ここで終了。

半日でしたが、イイ運動でした。





8月12日(土)雨・25度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月12日(土)08時39分41秒

今朝は大分、涼しい。

熊の糞を意識しつつ、岩山の前岳を大きく回り込む。下刈りがなく、根曲がり竹・クマザサ・ウドなどが茂り、非常に歩きにくい。ミソガワソウ・シナノキンバイが沢山咲いていた。

嫌なトラバースを終えると、前岳湿原が現れた。眼前には見事な湿原が広がり、前方にガマ岩が佇立し、先に夕張岳が見えた。この地形は専門的に「ノッカー地形」と呼ばれるそうだ。辺りはシロウマアサツキの群落が続いた。

ガマ岩北には、ひょうたん池があった。オタマジャクシが沢山泳いでいた。ひと上りで「吹き通し」と呼ばれる、ちょっとしたコルに出た。荒々しい、風が強い場所だった。冬は強烈な北風が吹くところだろう。

そんな厳しい条件下に、ユウバリソウの群落があった。時期は既に遅く、種状態だったが、小型のウルップソウの感じは掴めた。同時に、ユキバヒゴタイも沢山見られた。

左から道が合流する。東側で反対側から来る、金山コースだった。夕張岳は尖った山で、東側は急峻な岩壁で上れず、西側のこちらから上るのがだった。

つづく



8月11日(金)曇・27度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月11日(金)05時34分12秒

8月1日(火)夕張岳(1668m)標高差=1328m

ゲートから歩く。2時間後、夕張ヒュッテ着。人の良さそうなオジサンがお茶を出し迎えてくれた。管理人も林道を歩くそうだ。営林署はなかなか厳しい。林道は通行できない訳ではない。人命に関わる有事が起きたら、どうするか問題がある。

7月6日、ガマ岩付近でクマ目撃情報があったと教えてくれた。管理人は主にヒュッテの大工仕事で入っていると聞いた。コースはここから、途中まで2コースあるが、冷水コースを勧められた。こちらは藪が少なく上り易いとのこと。

ひと上りで、もう一つの馬の背コースに出た。展望の良い望岳台を経て岩山の前岳を大きく巻いて行く。トラバースは、根曲がり竹が茂り非常に歩きにくい。その上、登山道に熊の糞が一定間隔であった。下部は茶色だったが、上部は黒色でそれ程、古くはなかった。

結果的に20数個あったが、何故、登山道上済ますのか不思議だ。しやすいのか、ナワバリ主張か、熊の気持ちは分からない。ちなみに、熊対策は決定的なものはないものの、もし遭遇したら、1. 熊スプレー(高価) 2. 瞬間的に開く傘 3. 出来れば頭を抱えてうづくまる(出来ないと思うが)、そうだ。

ちなみに、熊は「左利き」だそうです。攻撃は左手から来ると頭に入れて置けば、少しは足しになるかもです。

つづく





8月10日(木)晴・30度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月10日(木)08時30分4秒

昨日は、8月度・伊豆巡礼でしたが、猛暑で中止でした。正解だったと思います。

北海道日記

7/31

新幹線で三島駅発7:07、南千歳駅着15:30。小雨の中レンタカーで夕張に向かう。夕張岳林道を偵察後、R38の運動公園第一球技場軒下でテント泊。

8/1

天気は快晴。蚊はいなかった。夕張岳は、西の夕張側と東の富良野側登山コースがある。前者は、4:40、後者は、5:40掛かる。

今回、夕張岳を選んだ理由は、勿論、未登の理由があるが、田中澄江の「花の百名山」でユウバリソウ・ユウバリコザクラが挙げられていて、それを見たいの理由があった。

両者を見るには、両コースOK。ただ、南千歳からアプローチの場合、夕張側が近い。しかし、今回は計画が甘く、両花を見るには既に遅かった。ユウバリソウ・コザクラを見るなら、遅くても7月上旬まで。今回は、残念ながら、終わりで種状態だった。

そして今年、夕張側からの林道が、昨年の大雨で通行止めで、2Hの林道歩きを余儀なくされた。往復4時間。往路より復路のが疲れがあり、時間が掛かった。

つづく





8月9日(水)晴・30度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年8月9日(水)09時08分42秒

久しぶりに

北海道遠征だった。最初に行ったのは、1975年8月9日～21日だった。当時は、青函連絡船で北海道に渡り、札幌駅前で路上宿泊した。そのころは、いわゆる「カニ族」と呼ばれる、若者の旅行者が多く、駅前は溢れかえっていた。

「カニ族」とは、ネットでは、

・・・カニ族（カニぞく）とは、横長の大型リュックサックを負った旅装、およびそのような出で立ちの者たちを指した日本での俗称であり、世界的にはバックパッカーと呼ばれる・・・

その山行では、利尻岳・大雪山・トムラウシ岳・美瑛岳・十勝岳・富良野岳に上った。その後、1990年に羅臼岳・斜里岳・雌阿寒岳・礼文岳に上った。今回は、それ以来の北海道で、幌尻岳・後方羊蹄山・ほかを上るつもりだった。

結果的には、夕張岳・暑寒別岳・後方羊蹄山・幌尻岳（チロロコース＝ニノ沢・標高1000mまで）だった。天気は一週間晴れ。ヒグマは、夕張岳の登山道に

結構新しいものが23山（個というより、山のがふさわしい）が一番で、ほかは殆どなかった。

クマのほかに問題はアブ。メクラアブと呼ばれるもので、大きくはないが、刺

さ

れると2~3日、モーレツに痒い。厚手のズボンでないと、上からも食いつく。蚊はいなかった。昼間の気温は高いが、湿度が低いのでカラッとしている。

花は夏から秋花が良かった。本来、夕張岳=ユウバリソウ（ウルップソウの白いの）、暑寒別岳=マシケゲンゲ（オヤマノエンドウの仲間）を見たかったが、既に時期が遅く、双方とも種状態だった。見るなら、6月下旬から7月上旬。

ほか、食べるものは美味しいものが多かった。ただ、刺身は良くない。テント場は、流石は北海道。一張=1000-以内で清々とした所だった。温泉は、よりどりみどりである。

今回は、全てテント泊で荷物が多かったなので、あえて新幹線で行った。結果は正解だった。新幹線は、移動距離が少なく、重荷は楽だった。短期間なら、ヒコーキがイイだろう。





7月30日(日)晴・29度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月30日(日)09時17分40秒

一昨日・昨日

は、第一夏山合宿で乗鞍岳・焼岳でした。天気は両山曇り。参加は8名。

長泉5時発。松本は雨模様だったが、乗鞍は、何と青空が見えた。三本槍からタクシーで肩の小屋下まで入る。運転手の柳沢忠治さんは、サービス満点だった。

花は素晴らしく良かった。途中、愛知の中学生230名が登山。皆さん元気で賑やか。やっぱりハイキングは楽しい??!!しかし、最終的には全員抜いてしまった。

2時間半で往復。三本槍に戻り昼食にした。下部はヤナギランがキレイだった。安房トンネルを越えて、中尾温泉着。ゆっくり温泉に浸かった。この宿は、以前も泊まったことがある。

昨日は、5:09駐車場発。中尾口は久しぶり。旧峠まで物凄い急登が続く。そしてモーレツに蒸し暑い。頂上着8:35。いいタイムだった。霧で残念ながら穂高は見れなかった。長居はせず峠で食事。

以後も快調に下り、11:53駐車場着。宿で無料の入浴をし、

新穂高で昼食。生ビアと飛騨トンカツが美味かった。雨が心配
だった山でしたが、やっぱり出掛けて正解でした。明日から、
27振りの北海道遠征です。



7月27日(木)曇・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月27日(木)06時09分24秒

昨日は

7月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは、花の都公園～ファナック前～モロコシ・渡辺店～忍野八海～忍野峠（仮称）～桂川～北口本宮・富士浅間神社～富士急ハイランド～河口湖。天気は曇り・涼し。参加は16名。距離＝約18Km。

前回最終の花の都公園手前から出発。天気は良く涼しい。ファナック前通過。通勤の方が行き交う。忍野八海前のモロコシ・渡辺店でモロコシ購入。

昨日は、渡辺店主は葬儀で不在。息子さんが仕切っていた。今年の価格は、一本120円。出来と太さはまあまあ。皆さん、5～20本購入。運搬が大変だ。

八海で遊び、忍野峠（仮称）を越える。自然道は快適で涼しく静か。下れば桂川。再び町中で北口本宮着。杉並木が見事。昨日は宮司が多忙で説明はなし。境内で昼食。富士登山者もチラホラ。

午後は、御師・外川家を外から見学。駐車場が立派になった。富士吉田を通過し、富士急ハイランド前着。先日、事故があったドドンパは動いていた。若人の嬌声が響く。

最後の踏ん張りで河口湖着。直射日光がなく、比較的歩き易い一日でした。帰路、バスでSさんの、世界一周船旅行の興味ある話を聞きました。





7月25日(月)曇り・30度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月25日(火)08時53分54秒

昨日は

お茶の水大学の愛鷹連峰・地域研究で山の神社～越前岳～割石峠～神社でした。天気は霧・霧シヨン。参加は5名。

お茶大の地域研究に協力。天気は良くないが、日程がないので実施。

大汗をかいて山荘着。雨が少ないので、水場は枯れていた。

深い霧の越前岳着。登山者が一名。ブナ植樹地のロープを交換。下刈り予定だったが、過去、露地だったガレ場が、

余りに豊かに自然回復したので、下刈りは中止。

ロープ内とロープ外では、自然環境の差が余りにあり、登山者のストレスがいかに大きいか分かった。呼子岳着。ブナ観察木は元気だった。

鋸から位牌予定だったが、悪天候で中止。割石峠には、イワタバコが咲いていた。峠を下り神社着。昼前なので美人の湯でユックリし、聞き取り調査に協力した。





7月21日(金)晴・30度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月21日(金)05時50分7秒
友人に

バラジャムをいただいた。
イチゴなどとは違い、シャキシャキ感があって美味しい。
色もサイコー。
ヨーグルトに合いますね。

あす、日記休みます。





7月20日(木)晴・29度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月20日(木)06時27分55秒

先日

区、庚申堂の祭典があった。

庚申堂については、諸説ありますが、当区の仏さまは、「青面金剛（しょうめんこんごう）」では、なかったです。

見せて頂きましたが、難しい文字で分かりませんでした。近くの寺住職が来て、お経を唱えました。住職に聞けば分かると思います。

ともあれ、祭典は夏に毎年開催されます。子供たちは、太鼓行列で町内を回ります。ポップコーン・綿菓子をほうばり元気いっぱいでした



7月19日(水)晴・30度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2017年7月19日(水)06時09分7秒

今朝は涼しくて良かった。

丹沢の帰りに、御殿場を通過したら、アルプスのハイジに出て来る犬＝セントバーナードが散歩していた。

セント・バーナードを世界に知らしめたのは英国の画家ランドシーアで、アルプス山中で遭難した旅人を2頭のセント・バーナードが救出する場面を描いている。

1頭が旅人の手首を舐め、他の1頭は僧院に知らせるために吠えている。セント・バーナードの首には、ラム酒が入っているとされる樽が結び付けられている。

1815年に狼と間違えられて遭難者に射殺されたと言われる「バリー」は、生涯に40名の遭難者を救出したと言われている。

バリーは剥製にされて、現在もベルンの博物館に収められている。・・・ネットから

顔は可愛くて性格も温和で人間には可愛がられている。

スイスでは、観光用のバーナードが愛嬌を振りまいていた。

ただ、日本の夏は、御殿場とはいえ、やや可哀そうかと思っただ次第。食費は結構、掛かりそうですね。





7月18日(火)晴・30度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月18日(火)06時21分54秒

昨日は

16時から、三島市民文化会館で、「日経ご愛読者キャンペーン2017・新日本フィルハーモニー交響楽団コンサート in 三島」があった。

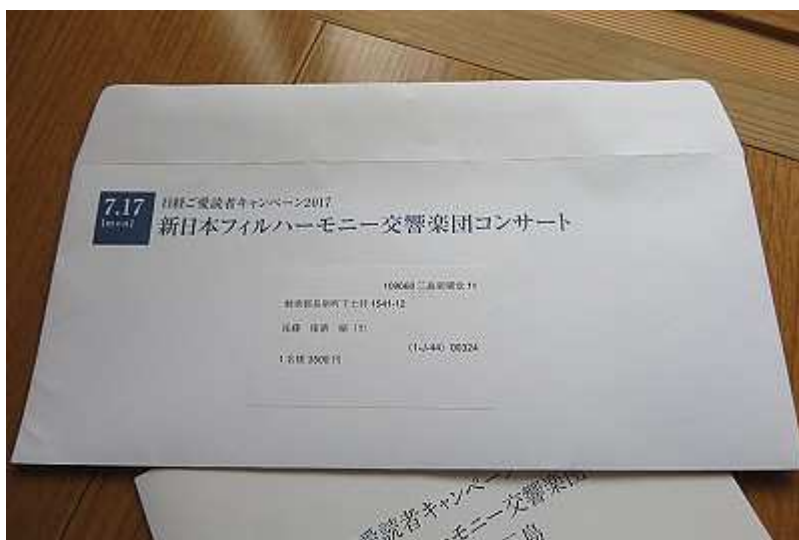
私は日経を購読していないので一般で3500円。ま、本格的交響楽を聞ければ安いもの。大ホールは満席。年配の方が多

かった。

演目は、歌劇ポロネーズ・白鳥の湖・カルメン・ラベルのボレロと皆知っている曲だった。白鳥はキレイな曲。ボレロは、あのメロディーは延々と繰り返す。が、飽きないから不思議。

ネットだと、あのフレーズを338回繰り返すそうです。全体的には2Hで終了。この時間は、年寄には嬉しいですね。

ちなみに新日本フィルは、1972年、小澤征爾が作った楽団ということです。途中で、三島市出身のバイオリニストが紹介された。団員に女性も多かった。コントラバス奏者一人も女性でした。あれは、運搬が難儀ですね。





7月17日(月)晴・30度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月17日(月)06時03分13秒

昨日はモーレツな暑さでした。

昨日は、丹沢・不老山(928m)番ヶ平東尾根～不老山～浅瀬でした。天気は快晴・高温。稜線、やや風あり。参加は、2名。標高差=約600m。

今回は連休なので遠出はなし。なおかつ猛暑なので、午前中のショートコースを選択。結局、不老山の北面は歩いていないので、番ヶ平北尾根に決めた。

浅瀬ゲート手前の駐車場に車を置く。少し戻り、世附川橋を渡る。下流に向かうと、右手に「三菱倉庫の森」「富士通エフ・アイ・ピーの森」の看板があり、そこから取り付く。6:39。

人工林を20分ほど上ると、自然林になった。しかし、モーレツな急登。藪は全くなく、ルートはハッキリしていた。「水源の森林 神奈川県」の杭が続く。

標高650m付近から再び人工林が始まった。ただ、人工林は柔らかい火山砂で、くるぶしまで埋まる。まるで雪上を歩いている様だった。

大汗をかいて稜線に出る。出た所は山市場からの一般道近く。

標高点 867m の西だった。程なく一般道に合流し、不老山西峰着 8 : 51。樹間の富士山の頂稜部が見えた。

山岳ランナーが 1 名来た。オジサンだったが、籠坂峠まで走ると言った。お疲れ様です。下山は世附峠向かう。下りは先ほどの雪上歩きのようで快適。峠には林道が通っていた。

峠に駿河小山町の岩田たに泉さんの例の看板が朽ちて転がっていた。下山後、岩田さんの家の前を通過したら、建屋は取り壊されていた。時代の流れを感じた。

<https://www.fujinsha.co.jp/nishitan/iwatanews.html>

<https://www.fujinsha.co.jp/nishitan/miyakeiwata.html>

つづく





7月14日(金)晴・30度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月14日(金)06時16分9秒
巡礼で

伊豆・土肥を通過したら、随分懐かしい郵便ポストを見た。

勿論、現役で使える。
何か、こんなポストだと、手紙を出したくなるから不思議。

昨今、めっきり手紙を書くことが少なくなった。

50年前、勝手に一方的に送った、ラブレター（??!!）が懐かしいね。

明日、日記は休みます。



7月13日(木)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月13日(木)06時41分44秒

昨日は

7月度・伊豆巡礼でした。コースは、黄金崎クリスタルパーク～恋人岬～最福寺～松原公園～土肥・86番安楽寺～ゴミ焼却場～舟山手前。参加は23名。歩数＝28000、距離＝約19Km。

前回最終のクリスタルパークから出発。天気はどんよりで直射日光はなく助かった。トンネルを数か所潜り、恋人岬着。

駐車場はイイ風が吹き快適。小下田から古の道を辿る。ここは静かな巡礼が出来る。途中、札所ではないが、最福寺に寄る。住職は歓待してくれ、博物館で説明をしてくれた。

土肥に着き海岸線を歩く。どこかの学校が臨海学校(?)を敢行していた。12:00前、安楽寺着。観音堂で昼食を摂らせて貰った。温かい接待に感謝。

午後は、モーレツな暑さの中歩く。西海岸故、日差しが半端でない。予定は、舟山峠(仮称)入り口までだったが、14:30手前で終了し、戸田・道の駅「くるら」で入浴。この温泉は、キレイでサラサラで気持ち良かった。

これで、2014期の方は、9月結願・満願成就の予定です。





7月11日(火)晴・30度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月11日(火)08時51分50秒

昨日のつづき

昼食後、復路でなく幕岩から沢沿いに下り、周遊道を目指す。

このルートは、一般道でないが、下り易い道。
通常は、幕岩から水ヶ塚に下る。
ただ、一般道は歩きにくい。

右靴底がバクバクしていた。ビブラムの先端が剥がれた。
今回は富士山火山礫で靴が傷むので、古い靴を履いて来た。
それでも4～5年だから、そんなに古くはない。

皆の装備を借りて、応急処置。布手袋を先端に被せ、登山靴の紐で縛った。結果は、周遊道までOKだった。

途中に夏椿が咲き、種になった大きなヤマシャクヤクの群落があった。以前、某ハイククラブの富士山でシャクヤク観察会があったが、この辺りだろうか。

無事周遊道着。この時期、寒いくらい、涼しくて快適なハイクでした。

明日、日記は休みます。





7月10日(月)晴・29度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月10日(月)06時07分57秒

一昨日は

富士山宝永山・2352m峰で夏山訓練でした。
コースは、洞門～上塚・下塚コル～宝永山第三火口～
第二火口～2352m峰～御殿庭上（昼食）～幕岩～周遊道

天気は晴れ・霧・低温で快適。標高差＝1072m（ただし長い）
参加＝5名。

車を一台、幕岩沢（仮称）下部の周遊道に置いて、洞門から7：14発。
天気は良い。早くも春蝉が賑やか。直射日光を避けて、樹林帯を上る。
涼しくて快適。ただ、ここでトラブル・1発生。

上・下塚コルから大きくトラバースして、宝永山第三火口に向かう。
雪のない富士山は、ザレて上り難い。路傍のミヤマオトコヨモギ・
タカネツメクサがイイ。
某さんが、「ミヤマオトコヤモメ」と、笑わせる。

第三火口から更に上る。霧が流れ寒いくらい。ランニングの若い衆
が抜いて行く。元気がよろしい。2352m峰最後の上りで、トラブル・2
発生。でも、ことなきを得た。

御殿庭上に下り昼食。スイカが美味しい。ほか、昨夕取りの枝豆、
玉子焼き、キュウリー本糠漬け、トコロテン、などなど。

つづく



7月7日(金)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月7日(金)06時02分17秒

昨日は

畑の枝豆を初収穫した。

畑の枝豆は美味しい。

スーパーのものとは、鮮度が違う。

スーパーのものは、どうしても時間が経っているので、乾燥している。

今年は、四畝作ったので、相当楽しめそうです。

明日、日記は休みます。





[返信・引用](#)

7月6日(木)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月6日(木)06時11分15秒
6月度

伊豆巡礼で訪れた、松崎の宝蔵院。
境内に至る参道に苔むした石像が並んでいる。

寺の標高は、約550m。
下から歩いて約2Hかかる。

昔は道路はないから、歩き背負って、この石仏を上げた。
石仏は悠久の時間を見つめて来た。

ここまで、石仏見学だけでも価値はありますね。





7月5日(水)晴・28度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月5日(水)05時43分55秒

先日

某所で写真の「ホタルブクロ」を見た。
見事な紫だった。
通常、ホタルブクロは、赤紫・白など。

これ程の紫は、あまり見ない。
桔梗がこんな色だ。
ただ、野生っぽいが、園芸種だろう。
アジサイは、土壌で変色と聞くが、ホタルブクロもそうかな。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

7月4日(火)曇・30度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月4日(火)05時04分8秒

先日の

富士山ウオーク時、山中・諏訪神社に寄った。
そのの狛犬は、子供を抱いていた。
子連れの狛犬は、珍しい。ネットでは・・・。

狛犬は、神社の魔除けと考えられ、入り口、または拝殿（神殿）の前に左右一対で置かれます。
また、狛犬は、朝鮮の高麗（こま）を経て日本に伝えられたので、「狛犬（こまいぬ/高麗犬）」と呼ばれるようになったともいわれています。

（日本に伝えられた当時は、「左に獅子、右に狛犬」を一対としていたようですが、
現在では獅子と狛犬の違いはなくなり、両方とも「狛犬」と呼ばれるようになりました。）

日本で最初に狛犬が置かれたのは清涼殿だとされます。
（四方を帳によって囲まれた天皇の御座の南北に置かれ、左が獅子だったという記録が残っています。）

枕草子にも狛犬の記述が残っている事から、平安中期には、すでに狛犬が魔除けとして使われていた事が分かっています。狛犬が一般の神社に置かれるようになったのは、平安時代末期からだそうで、最初は神殿の扉の前、後に拝殿の前、その後に鳥居の前という具合に、時代とともに神社の奥の方から入り口の方へと、狛犬の置かれる場所が移ってきたようです。

狛犬は一般的に、右に口を開いた「阿形（あぎょう）」、左に口を閉じた「吽形（んぎょう）」が配置されます。（例外もあるようですが・・・。）

実は、どちらかが玉を持っていたり、子供を連れているものは、比較的ポピュラーなパターンだったりします。（「子取り」、「玉取り」と呼んだりもします。）

狛犬という呼び方が一般化しているので、「子犬」と呼んでもいい気がしますが、単に「子」、または「子獅子」と呼ぶ事が多いようです。子連れの狛犬（獅子）は、特に中国と日本に多く見られるパターンです。中国に図案としての獅子が入って来たのは、漢代末期・仏教の渡来と同時期とされています。

中国には、野生のライオンは生息していません。ですから、インドなどとは違い、「リアルなライオンとは別系統の、独特の獅子デザイン」が生まれ、定着しました。見開かれた目、広くあぐらをかいた鼻、巻き毛状のヒゲなど、日本の狛犬の形式は、この段階でほぼ作られたとっていいと思います。

実は、中国では比較的早い時期に、「雌は左前足で一頭の赤ちゃん獅子を踏み、雄は右前足で刺繍のあしらわれた玉を踏む」という形が出来上がります。（中華街などで目にする事の出来る中国獅子は、大体がこの体裁です。）

この「子連れ獅子」は、中国で好んで用いられる「吉祥図案」の一つになります。この様な影響を受けて、日本にも「子取り」の狛犬が置かれる様になったのではないのでしょうか？



7月3日(月)晴・28度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 7月 3日(月)05時 44分 31秒

雨で

乗鞍岳が中止になったので、伊豆に巡礼路の再確認に出かけた。

土肥・八木沢に見事なハスが咲いていた。
ハスはキレイな花だ。

他、この時期に、コスモスと知らない花も咲いていた。
梅雨の中、一服の清涼剤でした。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

7月1日(土)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年7月1日(土)06時10分10秒

週末は乗鞍岳

で、最後のスキー予定だったが、悪天候で中止。
今期もたいした成果はなかった。

山中湖で白鳥の親子を観察。
子どもは、まだ産毛で生後間もない感じだった。

母白鳥にピッタリ寄り添い、生活をしている。
観光客の、鯉のエサをしっかりと食べていた。

まだまだ、小さいが逞しさの片りんもあった。

明日、日記は休みます。



6月30日(金)雨・25度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月30日(金)07時47分0秒

昨日のつづき

山中棧橋から連絡を受けたスワン遊覧船は、踵を返し、こちらに向かい、定刻通り10:45分に到着した。

皆さんは、ゾロゾロ乗船。私は何回も乗っているのに、旭日ヶ丘棧橋で待った。11時になり、空腹を覚えたのでバスの中で軽くイッパイ。

スワンは、湖一周約25分掛かる。そして一周後、山中棧橋から旭日ヶ丘棧橋まで、おまけがあるので、到着は11時15分と踏んでいた。

ところが・・・・・・11時前に皆さんバスにやって来た。ありゃ、何だこりゃ・・・・・・であった。引率者の勘違いで、一周せず、旭日ヶ丘で降船してしまったのだ??!!

時すでに遅し。気が付いた時、既にスワンは行ってしまった。(笑い)ま、こういうこともありか。気を取り直し、7イレブンで昼食を済ませた。

午後は、湖畔を歩き、山中浅間神社・山中諏訪神社を経て、花の都公園で終了。温泉は、紅富士の湯でした。しかし、この日は、三島で反省会時、また、大きな「事件」。いろいろあった一日でした。





6月29日(木)晴・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月29日(木)06時19分17秒

昨日は

6月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、須走・東口本宮浅間神社～籠坂峠～山中湖～
花の都公園。天気は、小雨～曇り～晴れ。参加は17名。

8:40、浅間神社発。小雨が降っている。
籠坂峠旧道は、大型車の往来が多い。有料が高いからか。
山苧環（やまおだまき）が咲き、ホップみたいな、熊四手
（くましで）が下がっていた。

1. 5Hで籠坂に上がる。加古坂神社に寄る。下りは、東大

演習林を通過。山法師が見事。村役場でトイレを借りる。立派な建物。暖房が入っていた。

山中湖に出て湖畔を歩く。霧雨の湖が幻想的。
新しい木製の歩道が嬉しい。
生まれたばかりの白鳥の親子が愛らしい。

山中棧橋着。ここからスワン遊覧船に乗る。
ただ、悪天候で乗客が少なく、船は旭日ヶ丘棧橋から動かない。
窓口で交渉してこちらに来て貰った。

以下、つづく





[返信・引用](#)

[編集済](#)

6月27日(火)小雨・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月27日(火)06時21分56秒

本沢

温泉の露天風呂に初めて入った。
場所は、本沢温泉から15分歩いた上部。
硫黄岳北の湯川の荒涼とした所にある。

標高2150mは、日本一高い標高という。
白馬の鑓温泉は、標高約2000m。
鑓温泉のが高いと思っていたが、そうでなかった。

建屋、囲いは一切ない。
しかも、横は急な崖で、いつ落石があってもおかしくない場所。
入浴中、常に落石をチェックしなければならない。

また、崖の上は登山道で、上から伺うことが出来る。
ただ、距離はあるから、問題はない。

湯は乳白色だった。温度は丁度良い。
渡る風が涼しく、サイコーの気分だった。
イイ温泉に入ることが出来て、良かったデス。

明日、日記は休みます。



6月26日(月)曇・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月26日(月)06時00分29秒

先週、金・土は、硫黄岳～横岳登山でした。

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 後藤

山行NO NO. 1743

日時 2017. 06. 23 (金)～24日 (土)

山域 ハッ・硫黄岳 (2742m)・横岳 (2829m)

コース 1日目＝下土狩4:00—須玉IC—清里—本沢温泉・下駐車

場7:09—軽トラック乗車—上の駐車場7:35—

本沢温泉8:45—夏沢峠9:58—硫黄岳10:5

8—硫黄岳山荘—横岳12:00～13:13—硫黄

岳山荘13:35—硫黄岳13:58—夏沢峠—露天

風呂15:27～44—本沢温泉16:00 (泊)

標高差上り 下の駐車場約1600m～横岳2829m＝約1229m

下り

〃

参加者 G、M、K、G

以下、HPにて。





6月22日(木)晴・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月22日(木)06時17分41秒

今年は

各山岳で残雪が多かった。

白馬大雪渓も例外でなく、白馬尻の遥か下から雪があった。

6月でこんなだから、5月連休のころは、凄かったと推察。

5月連休は、雪崩事故が多発。労山の仲間も、岳沢で亡くなった。

静岡の方も、剣岳で雪崩死亡事故。

例年より積雪が異常に多い場合、雪が完全に落ち切っていない。

それ故、不安定で雪崩れる可能性が大きい。

異常気象、異常積雪。

自然は、通常出ない場合は、要注意です。

明日、日記は休みます。



6月21日(水)雨・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月21日(水)05時46分12秒

ひさしぶりの

雨。畑はカラカラだったから、正に恵みの雨。
降り過ぎは困るが、一週間に一回は降って欲しいね。

先日、雨飾山の際、姫川源流と親海（およみ）湿原で遊んだ。
それ程、大規模ではないが、まあまあ。
黄色のカキツバタ（？）は、珍しかった。

姫川源流は、バイカモも咲いていた。ただ、規模は小さい。
直ぐ近くまで、田んぼがあったり興ざめでした。





[返信・引用](#)

Re: 6月20日(火)晴・18度

投稿者: 石田 投稿日: 2017年6月20日(火)09時46分17秒

> [No. 3221 \[元記事へ\]](#)

たかちゃんさんへのお返事です。

おはようございます

早速のお返事ありがとうございます。

毎日的な投稿凄いですね！ 「トンボロ」時間帯はもちろんですが季節も関係あるでしょうね。

加藤様はここに投稿がみれませんがお礼の言葉伝わるでしょうか???

TEL も何も分かっていません。

たかちゃんさん経由でお伝え出来たら嬉しいです!!!

> 石田さま

>

> 投稿、有難うございます。そして、お疲れ様でした。

> 富士山周辺は、多くの良い山があります。また、是非、お越しく下さい。

> 一緒に上りましょう。

>

> 先日、伊豆巡礼時、伊豆・堂ヶ島の「トンボロ」で遊んだ。

> 「トンボロ」とは、イタリア語で・・・

>

> トンボロ現象（トンボロげんしょう）とは普段は海によって隔てられている陸地と島が、

> 干潮時に干上がった海底で繋がる現象である。

- > 陸繋砂州（トンボロ）の成立過程の過渡的な状態に起こる現象と考えられているが、
- > 地形・地質・海流などの要因で陸繋島に移行するかは断定できない。・・・ネットから
- >
- > ただし、潮が相当引かないと、この現象は見られない。
- > トンボロの先に島がある。奥から高島・中ノ島・象島。
- > 象島には、三角点がある。標高＝50.6m。
- >
- > この三角点に、以前、山の会で上った。
- > 勿論、登山道はない。急峻な岩場が続き、なかなか手ごたえがあった。
- > こんな「登山」も一興かと思えますね。
- >

6月20日(火)晴・18度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月20日(火)04時56分17秒

石田さま

投稿、有難うございます。そして、お疲れ様でした。
富士山周辺は、多くの良い山があります。また、是非、お越してください。
一緒に上りましょう。

先日、伊豆巡礼時、伊豆・堂ヶ島の「トンボロ」で遊んだ。
「トンボロ」とは、イタリア語で・・・

トンボロ現象（トンボロげんしょう）とは普段は海によって隔てられている陸地と島が、
干潮時に干上がった海底で繋がる現象である。
陸繋砂州（トンボロ）の成立過程の過渡的な状態に起こる現象と考えられているが、
地形・地質・海流などの要因で陸繋島に移行するかは断定できない。・・・
ネットから

ただし、潮が相当引かないと、この現象は見られない。
トンボロの先に島がある。奥から高島・中ノ島・象島。
象島には、三角点がある。標高＝50.6m。

この三角点に、以前、山の会で上った。
勿論、登山道はない。急峻な岩場が続き、なかなか手ごたえがあった。

こんな「登山」も一興かと思いますね。



お礼

[返信・引用](#)

投稿者:石田 投稿日:2017年6月19日(月)22時39分22秒

5/27 愛鷹でお世話になりました、神戸ナンバーXトレイルの石田賢です

加藤様はじめ4名「裾野麗峰山の会」の皆様とご一緒させて頂き有難うございました！

お礼が大変遅くなり申し訳ございません。

二日間雨で待機明けの愛鷹良かったです！またソーメンと豆御飯？ 又カズケ他

凄く美味しかったです！ご親切が嬉しかったです！

このコメント見られているか不安ですが上手く伝われば幸いです！

長谷さんのレポート拝読しました！

翌日宝永山に行きました。

Eメール：jp3mxf@leto.eonet.ne.jp

6月19日(月)曇・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月19日(月)05時28分40秒

一昨日

御坂・節刀ヶ岳で会った、前橋の方は、素敵な裏出し革の靴を履いていた。

聞けば、東京の店で購入したという。相当、気に入っていて汚れるとイヤだから、晴天時しか使わないという。

先日も何処かの山で褒められたと自慢。

昔、この手の靴は、随分流行ったが、知らないうちに姿を消した。

懐かしいモノを見せて貰った山でした。



6月16日(金)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月16日(金)05時21分17秒

Sさま

投稿、有難うございます。

今回、宝蔵院のご朱印は、白川の梅田氏（写真・中）にお願い致しました。当日、忘れていて慌てましたが・・・。（笑い）

あの坂は、今回、ゆっくり上ったので、案外楽でした。

湿気が少なかったこともあります。

帰一寺は、境内に上がる車道を作ったため、雰囲気は壊れました。

目立たない作りが欲しかったものですね。大きな法事があり庭の見事な梅の木も切られ残念です。嫁様曰く、「残念かどうかはその方の考え方次第です」とのこと。流石は、古刹の嫁様でした。

本堂も痛みが激しいです。いずれ建て直すと思いますが、そうすると、また状況は変わりますね。

二年に一回訪れると、様々な変化が見られます。

最近、74番・永禅寺のお母さんが引退したのも、残念でなりません。諸行無常・諸法無我でしょうか。

明日、日記休みます。





Re: 6月15日(木)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者:鈴木@下田市 投稿日:2017年6月16日(金)01時14分50秒

> [No. 3216\[元記事へ\]](#)

たかちゃんさんへのお返事です。

おお、宝蔵院！ あの巡礼殺しの坂を上られたんですね。
この頃は、稲梓の龍巢院の宮川住職さんが兼務されていると聞きました。

帰一寺の田中住職さんが唱えてくれた般若心経、まるで地に響くような読経の声は忘れられません。

> 昨日は 6月度・伊豆八十八札所巡礼でした。コースは、80番・
> 帰一寺～81番・宝蔵院～82番・慈眼寺～83番・東福寺。

6月15日(木)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月15日(木)06時08分31秒

昨日は

6月度・伊豆八十八札所巡礼でした。コースは、80番・
帰一寺～81番・宝蔵院～82番・慈眼寺～83番・東福寺。
天気は晴れ。参加は25名。

帰一寺から出発。宝蔵院まで標高差約550mを上る。
快晴だったが、空気が乾いていて、案外快適だった。
ゆっくり歩き、思ったより楽に上れた。

宝蔵院は気持ち良い境内が広がる。大きな柏の木があった。
白川のU田さんに、ご朱印を貰い下山。慈眼寺まで同じ
くらい下る。途中、会員が地元の方に「お接待」を受けた。

慈眼寺でお勤め後、昼食。日差しは強いが、カラッとしていて
気持ち良い。午後は、東福寺まで歩いて終了。堂ヶ島でトンボロ
見学をして帰った。





6月13日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月13日(火)05時33分53秒

雨飾山

では、久しぶりに、白根葵（しらねあおい）に会えた。
この花は、日本固有種で、一属一種。
後にも先にも、この花は、この花で、似たような種はない。

色は、薄かったり・濃かったりの青紫。
大柄で美しい花だ。

今回の山は、この花を見に行ったといっても過言でない。
あそこに行かなければ、見れない花。
今年も、会えて良かったね。

明日、日記は休みます。





6月12日(月)晴・19度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月12日(月)05時47分41秒

昨日は

雨飾山でした。コースは、小谷コース往復。天気は快晴無風。
参加は8名。

登山口発5:18。天気は、昨日の雨が嘘のような快晴。
朝は冷え込んで、車のガラスが凍っていた。
新緑のブナ林を上る。今年は雪が多い。

荒菅沢はアイゼンを使い横断。雪は思ったほど多くなかった。
青空に布団菱が映える。
黒沢尾根も雪が多かった。雪に慣れない方は、アイゼンで上る。

歓声が上がった。シラネアオイが開花していた。いつみてもキレイだ。尾根を上り切れば笹平。白山一華が群落を作っていた。

荒菅沢源頭には、足跡があった。雪渓を上り下ったのか。40年前の5月、スキーで下るのを目撃したことはあるが。片栗畑を越えて、10:20頂上着。雪が多い分、時間が掛かった。

360度の大展望。槍が見えた。青空が大きい。北ALPS北部は、まだまだ雪が多い。皆さん、腹を満たす。記念写真で下山。上って来る方が多い。二名の女性が、新潟側から上って来た。途中、行者ニンニクを少し、いただいた。

下山し雨飾荘で入浴し帰静。この時期、長野北部、新潟南部の山は、サイコーですね。





6月9日(金)曇・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月9日(金)06時26分3秒

6日は、

伊豆巡礼の補講でした。

昨年、秋に始めた方が、9月の大雨代替えコースを歩いていなかったための、補講でした。

コースは、83番・東福寺～84番・法眼寺～85番・大聖寺～黄金崎クリスタルパーク。参加は9名。天気は晴れ。

東福寺から出発。途中の民家で、無臭ニンニクをいただいた。このニンニクは巨大だ。

法眼寺でお勤め後、新茶をいただいた。暑い日だったが、熱いお茶が美味しかった。お母さんと住職と会話。住職は、以前と別人のように太ってしまった。修行の反動とか??!!

堂ヶ島を行くと、大潮で「トンボロ」が見事だった。魚船が沢山出ていた。天草採りとのこと。

大聖寺着。現在住職は入院中らしい。近くの龍泉寺に息子さんがいる。お札をお願いしたが、無かった。

R136の多くのトンネルを潜り、クリスタルパーク着。車で田子に戻り昼食。ある店の海が俯瞰できるテラスは

快適だった。

店の裏のビワをいただいたり、地元の方と交流。奥様は調子が悪そうだったが、旦那様は優しい方だった。小人数の巡礼でしたが、会話が弾み、楽しい一日でした。

明日、明後日、日記は休みます。



6月8日(木)雨・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月8日(木)05時13分0秒

梅檀は双葉より芳し

・・・梅檀（センダン）は、白檀の中国名でもある。
白檀は発芽のころから香気を放つとされたことから、
大成する人は幼少のときから優れているというたとえ
（実際にはこの植物が自然に香気を放つわけではない）・・・ネットから

近所の家の庭にビャクダンの大木がある。
先日、この花が咲いていた。

ネットでは、上記だったが、花の香りは良かったデス。





6月8日(水)曇・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月7日(水)05時51分39秒
今年も

ジャガイモを収穫した。
ジャガイモは作り易い。
ジャガイモは、美味しい。

良いことづくめですね。





6月6日(晴)・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月6日(火)04時43分47秒

一昨日

は、富士ロゼシアターで、井上陽水コンサートでした。

17:30開演。

年配者向きに、やや早めで有難い。

演奏は全21曲。入り口の案内板に曲目が掲示されていた。

内2局は、アンコール。わざわざ、アンコールまで表示は面白い。三分の二は知っている曲だった。

陽水も既に68歳。決して若くはないが、全体的に渾身の歌唱が続いた。トークは、面白く声が素晴らしい。ただ、CDに慣れて

いるので、余リアレンジしたのは、イマイチ。

コンサートで、私が一番恐れていたのは、例の席を立ってのノリノリ。
しかし、今回は開演前のアナウンスで、「迷惑になるので立たないように」
のおふれが出た。

そのせいか、18曲目の「氷の世界」までは、皆大人しかった。
しかし、その曲で中央通路前の連中は、立ち上がってしまった。
あれは、前の人が立ち上がると、後ろの方は、見えないので
その気がなくても、立ち上がりざるを得ない。

斜め前のオバサンも、周りは誰も立っていないのに、立ち上がった。
終了後、注意をしたら次の時は、立ち上がらなかった。
あれは、功罪がある。立ってもイイが、他人に迷惑を掛けないことだ。
本来、立って感動を伝えるのは、演奏後である。

ま、そんなこんなでしたが、楽しいコンサートでした。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

6月5日(月)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月5日(月)05時24分27秒

土曜日は、

乾徳山で遊びました。

出発時間が遅かったので、初めて大平牧場から上りました。

牧場は、ワラビが凄かったデス。

埼玉のオッチャんちは、5000円で入場し、沢山収穫し喜んでいました。

天気はサイコーで展望は素晴らしい。

頂上付近には、サクラソウが咲いていました。

頂上岩壁は渋滞で長い列でした。

頂上で昼食後、同じ道を下山。

春セミが賑やかでした。

下山中、伊東市の若い女性に会った。

旦那が徳和から車を回してくれるとのこと。

名刺を渡しましたが、連絡はありません。

会員拡大は、なかなか難しいですね。

桃の里温泉に入り帰りました。



6月2日(金)晴・18度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月2日(金)05時24分40秒

富士山

ウォーキング終了後、キリンシーグラム御殿場工場を見学した。時間は30分。終了後の試飲会が楽しみだ。

ここはウイスキーを蒸留している工場だが、キリンがウイスキーを作っているのを、案外、皆さん知らなかった。ほか、焼酎サワーの「氷結」も、ここで作っていたのも知らなかった。そもそも、サワーがキリン製とは、知らなかった。

30分見学後、いよいよ試飲会。最初一杯は、若いキレイなお嬢さんが、ハイボールを作ってくれた。ハイボールはよかったが、オンザロックは、強かった。

若い頃は、安い「サントリー・レッド」をよく飲んだが、最近は強い酒は飲めなくなった。でも、皆さんに、大いに喜ばれ、楽しい一日でした。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

6月1日(木)雨・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年6月1日(木)06時31分4秒

昨日は

5月度・富士山一周ウォーキングでした。天気は曇り。
コースは、時之栖～駒門田園地帯～神場～保土沢・浅間神社
～川柳・浅間神社～滝ヶ原・桜公園（昼食）～須走・東口浅間神社
～麒麟シーグラム見学～お胎内温泉。距離＝約18km、標高差
＝約465m。参加＝20名。

時之栖7:07発。天気は高曇り。富士山は見えない。
黄瀬川を渡り、御殿場線を越えて、駒門駐屯地から田園帯を
進む。辺りは、大きな田んぼが広がる。渡る風が涼しい。

神場から保土沢・浅間神社着。ここで2名バスに乗る。
永塚南を通過し、今回は新コースで直接、滝ヶ原・桜公園
に向い11時着。公園で昼食をいただいた。高度が上がり、
やや寒かった。

午後は、水土野から須走・東口浅間神社着。今回は、富士山
ウォークで一番長いコース。なかなか手ごたえあり。神社で
宮司の説明を受け、須走・道の駅で買い物。これでウォークは
終了。

帰路は、バスで麒麟・シーグラムに向かい工場見学。終了後
は、お楽しみの試飲会。美女お勧めの、美味しい水割り・

ハイボールをいただいた。温泉は、お胎内温泉で、汗を流し、サッパリに帰着。イイ、ウォーキングでした。



5月30日(火)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月30日(火)06時02分35秒

熊野古道では

多くの外人さんに会った。4日で12・3名。
小辺路の山中では、 $2 + 1 + 1 + 2 + 2 = 7$ 名。
あの山中を考えれば、多いと思う。

山中で会った日本人は、たった1名。如何に古道が
外国人に人気があるか分かる。
最初の方は、写真・中のカップル。伯母子岳で会った。
男子はスペイン・女子はスイス。若い方だった。

写真・上は、彼はイギリス、彼女はフランス国籍。
女性は日本語が上手かった。二人の関係は不明。

写真・下は、果無峠下りで会ったスペイン人。44歳。
テント泊。しきりに、午後・明日の天気を心配していたが、
翌日から明日まで好天で良かった。この方は、3ヶ月
滞在と言った。

他、メキシコから来たハネムーンのカップル。このカップルは
3週間の休みといった。走り去った単独行。悪天候だったが、
展望台に上った数名・・・と、かなりの人数だった。
改めて、世界遺産・熊野古道の人気を知りました。それと、
皆さん、サイコーにハッピーの方達だった。

明日、日記は休みます。





5月29日(月)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月29日(月)06時13分1秒

熊野古道・小辺路報告4

4日目(5月29日・雨)

ホテル「昴」発4:45ー吊橋ー登山口5:05ー果無(はてなし)集落
5:33ー観音堂6:53ー果無峠7:39ー石楠花群落8:26ー八木
尾バス停10:26ー熊野本宮神社12:15ー三島20:00

最終日は小雨だった。吊橋は危険で、昨日渡ったので、林道から行く。
果無集落は、雨に煙っていた。水飲場に白いシャクヤクが一輪添えて
あった。

例によって最初は急登。峠下で上から外人さんがカッパ・傘なしで

短パンで走り下って来た。下向きに上っていたので、突然の闖入に熊かとビックリした。挨拶をして分かれた。

峠着。皆を待つて下る。道にピンクの花片が落ちていた。アズマシャクナゲだった。一帯は標高1000m前後だが、シャクナゲの群落だった。予想外の花に感動。

下から男子外人さんが1名。44歳のスペイン人だった。彼はテントだった。しきりに午後の天気、明日の天気を杞憂。結果は、午後から雨は上がり、好天が続いて良かった。長い下りで、八木尾バス停着。

車道を歩き熊野本宮に向かう。途中で若い男女に追いついた。ハネムーンでメキシコから来たそう。男子34歳、女子32歳。他にも外人さんが数名。今回は外人さんが多かった。山で会った日本人は1名。圧倒的に外人さんが多かった。世界遺産だからだろう。

熊野大社でお参りを済ませ帰静。無事に終わって良かった。秋は、中辺路を予定です。





5月28日(日)晴・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月28日(日)06時52分57秒

小辺路

3日目(5月24日・水=晴れ)

「政所」発6:53ー舟渡橋7:02ー三浦峠8:56ー三浦峠
登山口11:29ー昴の里・ホテル「昴」14:12(泊)

烏骨鶏に起こされ、朝食を済ませ、「政所」に戻る。
ババさまに挨拶をし、ここから出発。天気は良い。
十津川村の巡回バスが来た。運転手さんはフレンドリー
で、わざわざ停車し、世間話をして行った。

五百瀬・舟渡橋から登山開始。途中、「三十丁の水」が湧いて
いた。三浦峠下は、崩れやすい山で一箇所怖い所があった。
しかし、崖に「キンラン」が一輪咲いていた。

上り切れれば三浦峠。立派な東屋・トイレがあった。このトイレ、
後で知ったが、玉賀来内集落の垣野さんが作ったそう。大休止
後、下山。長い長いトラバース道が続く。下り切って、垣野さん
長男宅庭で昼食中、お父さんの垣野さんに会った。

垣野さんは大工とのこと。息子宅も作ったそう。古道の手入れも
年中行っているそう。民宿の弁当は、まあまあだった。近くの河原
では、昨日の若い外人さんも昼食。女性は上着・ズボンを脱いで、
日光浴だった。

午後は、約2時間の車道歩き。長く辛い道だった。途中、地元の草刈りのオジサンと交流。暖かいオジサンだった。やがて、昴の里。今日の宿、ホテル「昴」前を通過。この先が、待望の「果無（はてなし）集落」。

明日、ここに行けない参加者のため、今日上る。翌日は雨だったので、結果的には良かった。「昴」の夕食は、各自、メニューを注文する。14名が、1950-の「十津川御前」を注文したが、最悪の料理だった。



5月27日(土)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月27日(土)05時34分18秒

小辺路

2日目(5月23日・火=快晴)

かわらび荘発6:55-大股橋登山口7:15-伯母子岳9:53
~10:13-伯母子峠-上西家跡(昼食)11:19~12:10
-伯母子岳登山口14:26-五百瀬(いもせ)「政所」14:45(泊)

かわらび荘から出発。今日も天気は良好。大股橋から伯母子岳に向かう。下部は急登。やがて頂と峠分岐。頂を目指す。伯母子岳は快晴で素晴らしい展望だった。ただ、周りの山は分からない。

ヤマツツジが満開。外国の若い男女がやって来た。聞けば、男子はスペイン、女子はスイスの方だった。この方とは、翌日も前後しながら歩いた。一緒に記念写真を撮って峠に下山。途中、シロヤシオが咲いていた。やや小ぶり。

峠から長い下り。上西家跡で昼食。ホウの花が満開。快晴で湿気がなく快適。皆の元気な声がこだまする。ここから長いトラバースで伯母子岳登山口に下る。

左は急峻な崖で要注意。小辺路は、何処も厳しい崖が続く。

午後の下りで、また、外人さんに会った。男性はイギリス、女性はインド系だが、フランス国籍。男性は、長いヒゲだった。女性は日本語が上手かった。高野山まで行くと言っていた。

大汗をかいて伯母子岳登山口着。民宿「政所」までは近い。今回は人数が15名

と多かったので、宿泊は「山本屋」と分かれた。「山本屋」ご主人は9名の村会

議長さんだった。その日も、陳情に出かけたそう。夕方帰って来てすぎ、田んぼ

の見回りに出かけた。働き者でした。

私は「山本屋」でしたが、夕食・朝食とも良かった。「政所」も良かったそうです。

「山本屋」には、烏骨鶏が数羽飼われ、卵は美味しかったが、朝、4時ころから、

コケッココーで参りました。ただ、凄く可愛い。ちなみに「政所」は、県指定有形

文化財で、素晴らしかったそうです。



5月26日(金)雨・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月26日(金)10時25分36秒

月曜日

から4日間、熊野古道・小辺路（こへち）でした。

コースは、

1日目（晴）＝静岡～高野山・金剛三昧院～水ヶ峰～大股（かわらび荘泊）

2日目（晴）＝大股～伯母子岳～五百瀬（いもせ・政所、山本屋泊）

3日目（晴）＝五百瀬～三浦峠～西中～昴の里（ホテル・昴泊）

4日目（雨）＝昴の里～果無（はてなし）～果無峠～八木尾～熊野本宮

静岡発4：00。参加は15名。高野山・金剛三昧院発11：52。天気は良い。

金剛三昧院は昨年宿泊した。北條政子が建立した国宝がある。見学は有料だが、

トイレは無料で貸してくれた。残り石楠花がチラホラ。

薄峠まで林道みたいな所を歩く。峠付近は、高野槇が沢山栽培されていた。御殿川近くでは、ご夫婦が販売する槇を切っていた。一本＝100-

で卸しているそう。槇畑は先祖代々、続いているそう。

御殿川を渡り龍神スカイラインまで上りが続く。更に水ヶ峰も厳しい上り。小辺路は登山だった。しかし、この先は長い林道の下り。

所々、裏道を歩く。

長く厳しい道を下り、今日の宿「かわらび荘」のショートカット道に行く。案内板が全くなく分かり難かった。ここは、まともに林道を下ると長い。かわらび荘着17：11。風呂は近くの温泉に入った。割引で400-。なかなかいい温泉だった。

かわらび荘は、話好きな大ババ様が主役。遠州方面は、昔、よく行ったそう。80歳は越えているが、極めて元気が良かった。夕餉は、猪鍋だったが、イマイチ。1日目は、無事終わった。



5月21日(日)晴・16度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 5月21日(日)05時45分12秒

昨日は

富士山頂でした。コースは富士宮。天気は晴れだが、九合以上は強風。参加は3名。

五合目発6：25。天気は良く暖かい。駐車場は、もの凄いな。福井NOもあった。雪は例年より少ない。グングン上る。

厳しい上りは、毎年変わらない。しかし、今回新しい呼吸法を発見し、楽に上ることが出来た。50年以上登山を続けてきたが、これは初めての経験。

九合以上は強風。山の気象は難しく分からない。九合五勺から、ブル道を上る。トラバースを終え、頂上のコルに出る。風について11：39登頂。5H。70歳の頂上。

風が強いので富士宮頂上に下り昼食。ビアを一本いただいた。気温が低く手が痺れる。12：24早々に下山。まだ、ゾロゾロ上って来る。外人さんも多い。

雪渓をザクザク下り快適。これだからこの時期の富士山はイイ。五合目着14：06。イイ山でした。

明日から、しばらく日記休みます。





5月19日(金)晴・17度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月19日(金)08時15分4秒

昨日

五月豆を初収穫した。
五月豆の美味しい食べ方は、焼くのがいい。

サヤごとコンロに入れて焼く。
少し時間は掛かる。

サヤが焦げてくればOK。
甘くて美味しい五月豆焼が出来上がる。
焼いて食べるのが、美味しい食べ方ですね。

明日、日記休みます。



5月18日(木)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月18日(木)06時39分26秒

5月連休

2日目は、比較的楽な、菱ヶ岳～五頭山。五頭山公園駐車場から出発。天気は今日も快晴。公園は水洗トイレがあり、快適だった。丁度、FMでロリンズをやっていて、朝から絶好調。

沢沿いに上り、すぐ急登りが始まる。锚草、稚児百合・雪椿が迎えてくれた。

快適な道を上る。岩団扇が出て来た。結局、この山は、最初から最後まで岩団扇（いわうちわ）の山だった。兎に角、凄い。

岩団扇は、静岡県に少ない。色も白・淡いピンク・濃いピンクと様々。菱ヶ岳が近づくと、1000m満たない山だが、雪が出て来る。頂上に着いた。展望は素晴らしい。昨日遠かった、二王子山が真近か。2011年5月に上った。

頂上には、大きな基石がゴロゴロしていた。昔は、立派な社があったのか。五頭山に向かう。なだらかな雪尾根が延々と続く。5月の1000m満たない山で、これほどの雪尾根が続くのは、流石に越後である。登山者は、2～3名。逆コースはいない。

つづく





5月17日(水)晴・16度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月17日(水)09時59分7秒

昨日の

夕餉は、畑で初収穫のグリーンピースと赤タマネギを食べた。

グリーンピースは、ビアの友。
タマネギは、何もつけなくても甘い。

春は収穫の季節ですね。



5月16日(火)晴・17度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月16日(火)06時39分33秒

6月

4日(日)富士ロゼシアターの井上陽水(本名は、あきみと読む)のチケットが来た。

最近の公演は、昔の様に、SS・S・A席はないらしい。同じ料金で席はコンピューターで割り振るといふ。

結果、今回は1Fの三分の二くらいの所だった。ロゼは、17列までが通路前。せめてここに食い込みたかったが残念。

ま、一生に一度。行けるだけでヨシとしようね。



5月15日(月)曇・16度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月15日(月)07時55分40秒

昨日は

丹沢・檜洞丸でした。天気は、小雨～曇り～晴れ。
参加は4名。

自然教室から出発。当初、犬越路からだったが、現着時、
小雨がパラパラ。結局、ツツジ新道に変更した。

新緑が眩しい尾根を上る。三つ葉ツツジがチラホラ。

早くも下って来る方がいる。ヤシオを聞けば、今年は駄目とのこと。

標高1300m付近にチラホラ咲いてるだけだった。結論は、「気温が低く、まだ開花には早い」だった。何と北面の谷には、残雪があった。間違いないと思うがこんなことは初めて。

頂上のマメザクラが満開だった。つまり季節は1ヶ月程度遅いのではないか??!!

しかし、新緑・風・清流が気持ち良かったです。
(カメラ忘れ、写真はありません)





5月12日(金)晴・15度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月12日(金)05時43分26秒
連休で

御神楽岳登山の際、里は「ゼンマイ干し」で、
おおわらわだった。

「ゼンマイ」は、山里の貴重な保存食。この時期、
おおくの庭に「ゼンマイ」が広がる。

先日は、某居酒屋でいただきました。店主が客から
貰ったものでしたが、独特の食感が美味でした。





5月11日(木)晴・16度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月11日(木)05時55分45秒

昨日は、

5月度・伊豆札所巡礼でした。コースは、78番・常在寺
～74番・永禅寺～75番・天然寺～76番・浄泉寺～77
番・円通寺～78番・禅海寺～79番・建久寺～80番・帰
一寺。天気は晴れ。参加は28名。

前回最終の常在寺から出発。田園を歩き、永禅寺着。檀家の
Yさんが我々を見て、急遽駆けつけ寺掃除と本堂を開けてくれた。
また、この寺は、参加のGさんのオジイサンの菩提寺で墓がある
といった。子供の頃、来たこともあるという。何たるご縁。

踵を返し、天然寺・浄泉寺と進む。浄泉寺横は伊那下神社があった。立派な神社で、伊那上神社も近くにある。伊那とは、造船技術のあった人たちをさすそうだ。

無住職の円通寺から海禅寺着。今回はここで昼食。感じの良い寺だった。午後は、近くの建久寺から、帰一寺に向かう。帰一寺は、境内を大幅に工事し、昔の面影は無かった。庭の大きな梅の木も切られ残念だった。

今回は、帰一寺で終了。朝は天気が危ぶまれたが、全く降られず、幸運でした。





5月9日(火)曇・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月9日(火)11時04分3秒

御神楽岳で観察した花は、

菊咲一華（きくざきいちげ）・・・白花、青花がある。美しい花。

雪椿（ゆきゆばき）・・・・・・・・小林幸子の歌にある花。木はたくさん茂ってるが、

花は少ない。花弁が完璧でなく、欠けて

るものが多い。

片栗（かたくり）・・・・・・・・室谷集落上部に、広大な花畑があった。雪解けの時間で咲き方に時間差がある。

越後雉蓆（えちごきむしろ）・・・この時期、黄色の花は少なく貴重。

猩々袴（しょうじょうばかま）・・・春一番咲く花。

明日、日記は休みます。





5月8日(月)曇・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月8日(月)04時49分10秒

5月連休は

左足の回復がまだ十分でなく、結局、ALPS縦走は諦め新潟の上っていない山三昧でした。

3日＝御神楽岳（1387m）コース＝セト沢～雨乞峰～御神楽岳
標高差＝約1137m 天気＝晴

室谷集落から常浪川を渡り、セト沢林道を進むが、標高約250mに大きなデブリがあり、ここから歩く。山菜取りの車が1台。天気は良い。

フキが多い林道を30分で登山口着。セト沢沿いを上る。花がイイ。沢を詰めて山腹に取り付き、尾根に出る。ルートは、雪が多く、やや分かり難い。雪は2mくらいだろうか。

雨乞峰まで急登が続く。ブナの森が美しい。途中、アイゼンを履いた。このほうが歩きやすい。雨乞峰から少し下って、御神楽岳に上る。手前に小さな祠があった。頂上は岩峰だった。標高は、越前岳より低い、厳しい山だった。登山者なし。

東北に昨年秋上った、会津磐梯山を遠望。北に大きな飯豊連峰、その後ろは朝日連峰。頂上の方位板が笑ってしまった。何と、「ソウル」「モンゴル地方」「アムール地方」まで表記されていた。ま、確かに日本海の向こうは、それらだが・・・。

「ナガラミ」を食べて元気をつける。下りは楽だった。雪山の下山は楽でイイ。既に上りの足跡は消え要注意。水量が増えたセト沢を下り、フキのトウを採って終了。登山者らしい軽が2台あった。

里は山菜の宝庫。コゴミが取り放題だった。地元はゼンマイでコゴミは見向きもしないようだ。車道の途中に山菜ゲートがあった。入山料は、1000ー。

再び笑ってしまったのが、山菜の看板に「午後からの入山禁止」とあった。山菜のシーズンでは、陽も長いし、この意味が不明だった??!!

温泉は、「みかぐら荘」700ーで素晴らしい温泉だった。花は、キクザキイチゲ、カタクリ、ユキツバキ、エチゴキジムシロ、フキ、など。





5月1日(月)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月1日(月)06時47分27秒

昨日、

剣岳・源次郎沢で雪崩があり、静岡県の方が1名亡くなられた模様です。この時期、源次郎沢に入るのは、ある程度、力がある方と思いますが、残念でした。

今年は、積雪が多く、ここの高温で例年より雪崩が多いです。谷筋の登山は、十分気をつけたいものです。

* 今度は剣岳で雪崩1人死亡 2017年04月30日

北アルプスの剣岳で雪崩が発生し、男性2人が巻き込まれ1人が死亡しました。

4月30日、富山県の剣岳の標高2,700付近の源次郎尾根で雪崩が発生した。

近くの山小屋にいた富山県警の山岳救助隊の隊員が、男性が雪崩に巻き込まれるのを目撃したという。

この雪崩で男性2人が巻き込まれ、1人は自力で脱出したもののもう1人は

救助後に死亡が確認されました。

亡くなられた男性は60代の静岡県在住。無事だった男性は静岡県の子岳会所属とのことです。男性のご冥福をお祈りします。

なお、先日、白馬大雪渓で発生した雪崩で行方不明となった男性は、未だ見つかっておりません。

P S 今朝の朝日新聞によると、遭難者は藤枝市のOさん(63)でした。

明日から、日記、休みます。





4月30日(日)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月30日(日)06時11分25秒
ちょっと

前ですが、春の山菜が揃いました。
フキ・タケノコ・ワラビ。
それぞれ、特徴的な味覚。

一番美味しいのは、決めにくいですね。





4月29日(土)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月29日(土)06時27分29秒

御殿場

時の栖に新しいGKB（御殿場高原ビール）の建屋が出来た。
ウオーク終了後、ここで生ビア（600-）をいただいた。

仲間は、オシャレな「ワイン+ソフトクリーム」（料金不明）
をいただいた。

ワイン+ソフトクリームなんて、素敵ですね。

（先月、スキーで痛めた、左ふくらはぎが完治せず、連休頭の山はおあずけです。後半、様子を見て出発です）



4月28日(金)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月28日(金)06時07分54秒

ウオークは

花盛りだった。

白いフジの花、花桃、洋石楠花。

一番は、

深良で見た、一輪草だった。

一輪草と二輪草の見分け方＝一輪草は、葉柄（ようへい）があるそうだ。

葉柄とは、茎から葉が直接出ていないで、茎と葉を結ぶ小茎を差すという。

また、二輪草は、斑紋があるそうです。

一輪草は、花も大きいので、一見して、それと分かりますね。





4月27日(木)雨・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月27日(木)06時47分45秒

昨日は

2017年度・第一回富士山ウオーキングでした。
コースは、三嶋大社～大場川～上岩崎公園～伊豆佐野～耕月寺
偕楽園～文明寺～大庭源之丞墓～興禅寺（昼食）～農免道路～
深良用水（バス往復）～岩波風穴～時の栖。天気は曇り。参加は
13名。

前日の天気予報が最悪で一時は中止を考えたが、結局、実行を
決断。結果的には雨は降らず正解だった。

三嶋大社で安全祈願をして出発。大場川に沿ってあるく。川は
水量が多く気持ち良い。上岩崎公園から伊豆佐野を通過し、耕
月寺で休憩。寺の庭が美しい。

農免道路を横断し、偕楽園で滝見学。花梅・石楠花が満開。
裏街道を進み、文明寺（もんみょうじ）で休憩。おかみさんが
お菓子で接待してくれた。

再び農免道路を横断し、大庭源之丞墓を見学。大昔の深良
用水掘削に驚く。三度、農免道路を渡り、興禅寺で昼食。
静かな境内は快かった。

午後は、田植えで水を張った田んぼ脇を歩き、農免道路を

北上。途中でバスに乗り、深良用水を見学。何回も来ているが今回は水量が多く、川は豪快に流れていた。田植え用だろうか。

バスで農免道路に戻り、再びウオーキングし、岩波風穴に潜る。狭くて皆さん大変なようだった。ここから時の栖に向かって今回は終了。

新たに出来たGKB（御殿場高原ボール）で生ビア（600-）をいただいた。雨に降られず、楽しいウオーキングでした。



4月25日(火)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月25日(火)05時48分26秒
西丹沢

の花は、案外良かった。
上り始めて、すぐ、三つ葉ツツジが咲いていた。
色が素晴らしい。

途中の藪椿もイイ色だった。花があまり大きくなり、
一見、ワビスケ風で見ごたえがあった。
また、馬酔木も咲いていた。

上り詰めると、ミツマタがあった。
下部は既に遅かったが、上部は、まだ良かった。

中部は、何ととっても、豆サクラだった。
特に畦ヶ丸・南尾根の最低部にあった、巨木は最盛期で
見事だった。
山はまだ春浅いので、樹木の花。これからは草花でしょう。

明日、日記休みます。





4月24日(月)晴・14度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月24日(月)06時22分8秒

一昨日は

西丹沢・権現山（西丹沢には二峰ある）南尾根～畦ヶ丸・南尾根でした。天気は曇り。参加は5名。標高差＝277m＋742m＝1019m

大滝キャンプ場発7:21。キャンプ場バンガローの脇の権現岳・南尾根末端から登山開始。付近には、はやくも三つ葉ツツジが咲いていた。

最初から急登。三角点734。8m手前の細い尾根はイイ感じだった。

ここから上は、岩混じりの物凄い急登。以前、この山は下ったことはあるが、岩が多かった記憶はない。

鹿柵が出ると、権現山頂上。休むことなく1030mの北のコルに下る。

コルから西沢に下る道は、現在通行止めだが、問題なく通行出来る。

コルから畦ヶ丸に向かう。道は私が持っている、山と高原地図・丹沢には、ルートの記述はないが、問題なく通行できる。何故、記述がないか不明。途中に見事な、豆サクラが咲いていた。大きなモノで、見事なサクラだった。

畦ヶ丸は遠かった。先月痛めた左ふくらはぎがまだ痛み、急登は辛い。ニセピークを二つ三つ越えて、11:12頂上着。約4時間だった。なかなか手応えのあるルート。

全員揃い昼食。私は先日取った、ワラビ・フキを持参。皆さんに大いに喜ばれた。下山は快適。私は車を回収するので、一人先行。西丹沢自然教室着13:59。自転車を飛ばして車を回収し戻ると、丁度皆さんが下って来た。

今回はいいルートの挑戦で、大いに満足でした。





4月20日(木)晴・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月20日(木)07時55分16秒

14日は、

越後・浅草岳(1585m)山岳スキーでした。
6:30過ぎ、旧大自然館から厳しい尾根を上り浅草岳着。

頂上から、どうしても滑りたかった、早坂尾根を滑降。
サイコーのスキーでした。

詳細は下記です。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/792.pdf



4月19日(水)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月19日(水)05時51分26秒

新潟

守門岳の登山口に破間川ダムがある。
ここに大きな橋が架かり、ダムを俯瞰すると、この時期、
「雪流れ」と呼ばれる、現象が見られる。

地元でも話題で、多くの方が見学に来る。
昼間も悪くないが、向かいの山に朝日が当たる、
朝がイイようだ。

ただ、ここまで静岡から約300kmある。
これでは、おいそれと行けないですね。

<http://www.iine-uonuma.jp/2017/04/6269>





5月8日(月)曇・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月8日(月)04時49分10秒

5月連休は

左足の回復がまで十分でなく、結局、ALPS縦走は諦め新潟の上っていない山三昧でした。

3日＝御神楽岳(1387m)コース＝セト沢～雨乞峰～御神楽岳
標高差＝約1137m 天気＝晴

室谷集落から常浪川を渡り、セト沢林道を進むが、標高約250mに大きなデブリがあり、ここから歩く。山菜取りの車が1台。天気は良い。

フキが多い林道を30分で登山口着。セト沢沿いを上る。花がイイ。沢を詰めて山腹に取り付き、尾根に出る。ルートは、雪が多く、やや分かり難い。雪は2mくらいだろうか。

雨乞峰まで急登が続く。ブナの森が美しい。途中、アイゼンを履いた。このほうが歩きやすい。雨乞峰から少し下って、御神楽岳に上る。手前に小さな祠があった。頂上は岩峰だった。標高は、越前岳より低いが、厳しい山だった。登山者なし。

東北に昨年秋上った、会津磐梯山を遠望。北に大きな飯豊連峰、その後ろは朝日連峰。頂上の方位板が笑ってしまった。何と、「ソウル」「モンゴル地方」「アムール地方」まで表記されていた。ま、確かに日本海の向こうは、それらだが・・・。

「ナガラミ」を食べて元気をつける。下りは楽だった。雪山の下山は楽でイイ。既に上りの足跡は消え要注意。水量が増えたセト沢を下り、フキのトウを採って終了。登山者らしい軽が2台あった。

里はは山菜の宝庫。コゴミが取り放題だった。地元はゼンマイでコゴミは見向きもしないようだ。車道の途中に山菜ゲートがあった。入山料は、1000ー。

再び笑ってしまったのが、山菜の看板に「午後からの入山禁止」とあった。山菜のシーズンでは、陽も長いし、この意味が不明だった??!!

温泉は、「みかぐら荘」700ーで素晴らしい温泉だった。花は、キクザキイチゲ、カタクリ、ユキツバキ、エチゴキジムシロ、フキ、など。





5月1日(月)晴・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年5月1日(月)06時47分27秒

昨日、

剣岳・源次郎沢で雪崩があり、静岡県の方が1名亡くなられた模様です。この時期、源次郎沢に入るのは、ある程度、力がある方と思いますが、残念でした。

今年は、積雪が多く、ここの高温で例年より雪崩が多いです。谷筋の登山は、十分気をつけたいものです。

* 今度は剣岳で雪崩1人死亡 2017年04月30日

北アルプスの剣岳で雪崩が発生し、男性2人が巻き込まれ1人が死亡しました。

4月30日、富山県の剣岳の標高2,700付近の源次郎尾根で雪崩が発生した。

近くの山小屋にいた富山県警の山岳救助隊の隊員が、男性が雪崩に巻き込まれるのを目撃したという。

この雪崩で男性2人が巻き込まれ、1人は自力で脱出したもののもう1人は

救助後に死亡が確認されました。

亡くなられた男性は60代の静岡県在住。無事だった男性は静岡県の山岳会所属とのこと。男性のご冥福をお祈りします。

なお、先日、白馬大雪渓で発生した雪崩で行方不明となった男性は、未だ見つかっておりません。

PS 今朝の朝日新聞によると、遭難者は藤枝市のOさん（63）でした。

明日から、日記、休みます。



4月30日(日)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月30日(日)06時11分25秒
ちょっと

前ですが、春の山菜が揃いました。
フキ・タケノコ・ワラビ。
それぞれ、特徴的な味覚。

一番美味しいのは、決めにくいですね。





[返信・引用](#)

4月29日(土)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月29日(土)06時27分29秒

御殿場

時の栖に新しいGKB（御殿場高原ビール）の建屋が出来た。
ウオーク終了後、ここで生ビア（600-）をいただいた。

仲間は、オシャレな「ワイン＋ソフトクリーム」（料金不明）
をいただいた。

ワイン＋ソフトクリームなんて、素敵ですね。

（先月、スキーで痛めた、左ふくらはぎが完治せず、連休頭の山はおあずけです。後半、様子を見て出発です）





4月28日(金)晴・14度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月28日(金)06時07分54秒

ウオークは

花盛りだった。
白いフジの花、花桃、洋石楠花。
一番は、
深良で見た、一輪草だった。

一輪草と二輪草の見分け方＝一輪草は、葉柄（ようへい）があるそうだ。
葉柄とは、茎から葉が直接出ていないで、茎と葉を結ぶ小茎を差すという。

また、二輪草は、斑紋があるそうです。
一輪草は、花も大きいので、一見して、それと分かりますね。



4月27日(木)雨・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月27日(木)06時47分45秒

昨日は

2017年度・第一回富士山ウオーキングでした。
コースは、三嶋大社～大場川～上岩崎公園～伊豆佐野～耕月寺
偕楽園～文明寺～大庭源之丞墓～興禅寺（昼食）～農免道路～
深良用水（バス往復）～岩波風穴～時の栖。天気は曇り。参加は
13名。

前日の天気予報が最悪で一時は中止を考えたが、結局、実行を
決断。結果的には雨は降らず正解だった。

三嶋大社で安全祈願をして出発。大場川に沿ってあるく。川は
水量が多く気持ち良い。上岩崎公園から伊豆佐野を通過し、耕
月寺で休憩。寺の庭が美しい。

農免道路を横断し、偕楽園で滝見学。花梅・石楠花が満開。
裏街道を進み、文明寺（もんみょうじ）で休憩。おかみさんが
お菓子で接待してくれた。

再び農免道路を横断し、大庭源之丞墓を見学。大昔の深良
用水掘削に驚く。三度、農免道路を渡り、興禅寺で昼食。
静かな境内は快かった。

午後は、田植えで水を張った田んぼ脇を歩き、農免道路を
北上。途中でバスに乗り、深良用水を見学。何回も来ているが
今回は水量が多く、川は豪快に流れていた。田植え用だろうか。

バスで農免道路に戻り、再びウオーキングし、岩波風穴に潜る。
狭くて皆さん大変なようだった。ここから時の栖に向かって
今回は終了。

新たに出来たGKB（御殿場高原ボール）で生ビア（600-）
をいただいた。雨に降られず、楽しいウオーキングでした。



4月25日(火)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 4月25日(火)05時48分26秒

西丹沢

の花は、案外良かった。
上り始めて、すぐ、三つ葉ツツジが咲いていた。
色が素晴らしい。

途中の藪椿もイイ色だった。花があまり大きくなり、
一見、ワビスケ風で見ごたえがあった。
また、馬酔木も咲いていた。

上り詰めると、ミツマタがあった。
下部は既に遅かったが、上部は、まだ良かった。

中部は、何とんでも、豆サクラだった。
特に畦ヶ丸・南尾根の最低部にあった、巨木は最盛期で
見事だった。
山はまだ春浅いので、樹木の花。これからは草花でしょう。

明日、日記休みます。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

4月24日(月)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月24日(月)06時22分8秒

一昨日は

西丹沢・権現山（西丹沢には二峰ある）南尾根～畦ヶ丸・南尾根でした。天気は曇り。参加は5名。標高差＝277m＋742m＝1019m

大滝キャンプ場発7:21。キャンプ場バンガローの脇の権現岳・南尾根末端から登山開始。付近には、はやくも三つ葉ツツジが咲いていた。

最初から急登。三角点734。8m手前の細い尾根はイイ感じだった。

ここから上は、岩混じりの物凄い急登。以前、この山は下ったことはあるが、岩が多かった記憶はない。

鹿柵が出ると、権現山頂上。休むことなく1030mの北のコルに下る。

コルから西沢に下る道は、現在通行止めだが、問題なく通行出来る。

コルから畦ヶ丸に向かう。道は私が持っている、山と高原地図・丹沢には、ルートの記述はないが、問題なく通行できる。何故、記述がないか不明。途中に見事な、豆サクラが咲いていた。大きなモノで、見事なサクラだった。

畦ヶ丸は遠かった。先月痛めた左ふくらはぎがまだ痛み、急登は辛い。ニセピークを二つ三つ越えて、11:12頂上着。約4時間だった。なかなか手応えのあるルート。

全員揃い昼食。私は先日取った、ワラビ・フキを持参。皆さんに大いに喜ばれた。下山は快適。私は車を回収するので、一人先行。西丹沢自然教室着13:59。自転車を飛ばして車を回収し戻ると、丁度皆さんが下って来た。

今回はいいルートの挑戦で、大いに満足でした。





4月20日(木)晴・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月20日(木)07時55分16秒

14日は、

越後・浅草岳(1585m)山岳スキーでした。
6:30過ぎ、旧大自然館から厳しい尾根を上り浅草岳着。

頂上から、どうしても滑りたかった、早坂尾根を滑降。

サイコーのスキーでした。

詳細は下記です。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/792.pdf





4月19日(水)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年4月19日(水)05時51分26秒

新潟

守門岳の登山口に破間川ダムがある。
ここに大きな橋が架かり、ダムを俯瞰すると、この時期、
「雪流れ」と呼ばれる、現象が見られる。

地元でも話題で、多くの方が見学に来る。
昼間も悪くないが、向かいの山に朝日が当たる、
朝がイイようだ。

ただ、ここまで静岡から約300kmある。
これでは、おいそれと行けないですね。

<http://www.iine-uonuma.jp/2017/04/6269>



[4月18日\(火\) 雨・15度](#)

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年 4月18日(火)06時35分5秒

今朝は、非常に暖かい雨。

先週末は、新潟・群馬遠征でした。

関越トンネルを抜けると、まだまだ雪の世界。

気温も大分違う。

小出で降りる。

郊外の田んぼ、空き地を見ると、写真のような雪像が林立。

もっとも雪像といっても、作ったモノでなく、自然現象。

聞けば、除雪の雪が硬い所・やわらかい所で融け方が違い
このようになるようだ。

さながら中国の兵馬俑（へいばよう）みたく面白かった。

これは観光材料になるのでは??!!





4月13日(木) 晴・10度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月13日(木)06時28分36秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日は

4月度・伊豆巡礼でした。コースは、蛇石下ー伊浜・71番普照寺ー石部・72番禅宗院ー松崎・73番常在寺。天気は無風快晴高温。参加＝27名、歩数＝約30000、距離＝約18km。

蛇石下から9:00発。最初の峠を越え、ワラビを取ったりし、海拔0mの伊浜・普照寺着。住職の話聞いて、再び県道に上り返す。

県道の峠を越え、棚田で有名な石部を通過し、2回目の海拔0mの禅宗院着。寺は、法事だったので外でお勤めを済ませ、またまた3回目の峠を越えて、松崎・常在寺に下る。ここも海拔は数mだった。

結局、昨日は3回の峠越え、3回の海拔0m付近まで下降と厳しい巡礼でした。

日記、しばらく休みます。



[4月11日\(火\) 雨・10度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月11日(火)06時30分23秒

なかなか

[返信・引用](#)

凝った面白いゴミ収集場です。
ここには、芸術家がいらしゃるんでしょうね。

明日、日記休みます。



[4月10日\(月\)曇・15度](#)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月10日(月)06時09分19秒

見事な

モクレン。

これほど大きなものは、珍しいです。

伊豆市・地藏堂にて。



[4月8日\(土\) 雨・16度](#)

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年 4月 8日(土)06時25分14秒

今日の

雨で富士山下部の雪は融けただろう。

スキーは、お終いかもです。

本日、定例ハキングで、山北～大野山でしたが、明日に延期。

明日も微妙です。

昨日、「ゴースト・イン・ザ・シェル」を観た。

物語は漫画が原作という。

ビートたけし、桃井かおり、などが出演。

内容は、まあまあだが、主演のスカーレット・ヨハンソンは、魅力的。

あの目とか唇は神秘的で、マリリン・モンローの再来は分かる。

ビデオで「LUCY」を観たいね。

ここに来て、「ラ・ラ・ランド」「パセンジャー」を観た。

後者の宇宙シーンは、イマイチで、「ゼロ・グラビティ」には、かなわない。

中学時代から、映画は好きですね。

写真は、鍋割山の房桜。





4月7日(金) 雨・15度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月7日(金)05時56分39秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

とうとう

ここまで来たかである。

先般、無届登山で西穂高岳で転落し、救助された2名に岐阜県は、県山岳遭難防止条例違反で、過料5万円を科したという。1名は既に収めたとの報道。

岐阜県の条例を見ると、季節・山域が決まっている。山域は、アルプス・御岳山・白山が対象で、近郊の里山などは含まれていない。また、季節も冬・雪山の時期、そうでない時期と分かれている。

今回の場合は、西穂の雪山で、一番厳しい条件にあたる。

結局、この条約は、「遭難救助の有料化」だろう。

例えば無届でも、事故が無かった場合は、特に過料を請求されることはないと思う。登山口とか山中に監視員がいて、無届登山をうんぬんは少ないと思う。

ただし、救助を受けても、届けてあるば過料はない。その辺は、微妙で、必ずしも「有料化」ともいえない。将来的には、届けても救助有料化は、あるかもしれない。

条約の文面からもそんな感じがする。ただ、難しいのは、例えば焼岳に長野側から上って、岐阜県側で遭難した場合はどうか。これで遭難救助を受けると、やっぱり過料の対象になるかも知れない。

笑い話になるが、落ちるなら、長野側何て話が出て来る。
また、近年外人の遭難も多いが、十分対応が出来るだろうか。
ヨーロッパ・アルプスなどは、会員制度の遭難救助が発達しているので、特に登山届の話は聞いていない。

埼玉県も救助ヘリの有料化が浮上している。増える登山者・増える救助。
地元はその都度振り回され大変である。しかし、登山届で救助が減ることはない。
まずは、登山者自身が、心身を鍛え、山を知り、装備を充実させることが
先決だろう。





4月6日(木)曇・12度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月6日(木)05時38分55秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨日は

富士山・ニッ塚で山岳スキーでした。
左足ふくらはぎをの怪我をしたのは、3月19日。
それ以来、16日振りの山だった。

足はまだ完全でない。
しかし、完璧になるのには、まだまだ時間が掛かる。
山に行けないのは、飛べない鳥で、辛く苦しい。気持ち良い汗を流したい。

富士山は、4月にしては、十何年振りの積雪。
周遊道からシールで歩ける。
洞門の駐車場は、4台しか置けず、既にいっぱい。
中には長野NOがあった。車は少し上に置いた。

急登に行く。ふくらはぎは、何とか耐えた。快調に上る。
空は真っ青。雪は真っ白。陽光は眩しい。イイ汗が流れる。
上塚コルに上る。標高差700m、2H。
ここから幕岩まで一本滑った。ややモナカだった。

上塚に上り返す。足は全く問題なかった。上塚から滑る。ここも新雪はモナカ。
旧雪はイイ。下塚を滑る。ここは更に悪い。左に逃げて旧雪を滑る。快適。
後は下部をガンガン滑る。サイコーだった。

上からボーダーが2名降りて来た。一人は結構オジさんだった。
洞門駐車場で面会。長野NOの方だった。今朝、上田から来たという。
富士山は、時々来るらしい。先日は蓮華温泉でしたと、しばし歓談。

富士山は、しばらく楽しめそうです。





[4月4日\(火\) 晴・5度](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年4月4日(火)12時56分43秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

春

爛漫。庭の花がキレイです。

ハナニラ・カタバミ・ヒメツルニチニチソウなど。

何処にでもある花ですが、なかなかイイですね。





[4月3日（月）晴・8度](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2017年4月3日(月)08時41分48秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

19日

山の神尾根・黒川沢下部で沢に突っ込み左ふくらはぎを痛めた。奇しくも、2004年にも、ほぼ同じ場所で、右ふくらはぎを痛めた。両者とも、肉離れ。

この時は、重傷で即、白馬村の診療所に直行。信州大学出のヒゲ面の老医師は、「こんなものは2～3日で治る」と励ましてくれたが、実際は回復まで3ヶ月以上かかり、13年経過した現在でも「うずく」時がある。

その時は、毛細血管の内出血が酷く、黒い血液の塊が、回復とともに

ふくらはぎから、段々下がって来て、最後に足首の所に来て、消えてしまった。消えると、ほぼ回復だった。

今回はそれ程ではないが、今日は大分イイ。不思議だが、階段の上下、屈伸などは全く問題がない。問題は「平地・もしくはなだらかな上り」が一番厳しい。ふくらはぎを引っ張り、肉離れした状態が一番ダメージしているようだ。

従って、近年では珍しく、4月20日～今日まで、12日、山には行っていない。ま、これも「少し休みなさい」の仏のおぼしめしかも。有難く受けましょう。

8日は、お花見ハイクで15日振りに大野山登山。楽しみですね。





3月31日(金) 雨・10度

投稿者：たかチャン 投稿日：2017年3月31日(金)06時12分20秒

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

昨年、

12月25日、越前岳頂上の「不法伐採」を報告を、26日報告した。

12月26日(月) 雨・5度

いや〜、驚いた。今時、こんなことをする輩がいるだろうか?? 25日上った越前岳。富士見台から上って、頂上まで数メートルのところ。樹高4mほどの三つ葉ツツジ、同じくらいの馬酔木がノコギリでバツサリだった。切り口はまだ新しかった。一体誰が何のために。少なくとも、展望を得るためではなさそう。強いていえば富士見台方面から来た場合、その樹木がちょっと邪魔くらいのもの。しかし、それだけの理由で、長い時間を掛けてここまで成長した貴重な樹木を、いとも簡単に切れるだろうか。これは犯罪である。被疑者未特定で告発したいくらいだ。こんなことを今後も、あちこちでやられたら、本当に検挙(?!?!?)しなければならない。山を愛し好きだったら、こんなことは二度とやらないで欲しい。

で先日、3月15日、越前岳に再訪したら、写真の様に静岡森林管理署が現地を訪れ、警告看板・伐採樹木を確認したようだ。

この不法伐採は、いつ・誰が・何の目的で、どのように、行ったか未だ不明。ただ一つ、ハッキリ言えるのは、「必要でないことを行った」こと。

登山道が崩壊し、少し登山道を広げた・樹木が登山者の丁度、眼の辺りに伸びて危険とか、「必要なことを行った」と違う。

従って、伐採動機が不明な行為だった。近年、展望が悪いの伐採もちらほらある。これは人間のエゴ。それは山の展望がイイのに越したことはない。

しかし、それをエゴったら、駄々っ子と同じになる。展望が良くないのも自然の一部と思う。あくまで山は、「上らせて貰っている」の心を忘れては、いけませんね。



3月29日(水)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月29日(水)06時26分40秒

昨日のつづき

那須雪崩事故で気になったのは、やっぱり気温だった。
通常、快晴時は、大体-10度前後。
この温度なら、雪はまあまあ、締まっている。

事故時の気温は、0.2度のデータだった。
やっぱり、悪天候時は、気温が高いのだ。
積雪も、新雪が33cmだったから、半端でない。

そのような状況で、現地を知らない教師が、果たして、適正な判断が出来ただろうか。

TVで、登山家の野口健も言っていたが、少なくとも、山を知らない教師が引率では、誤った判断をする可能性がある。
現地の山に精通している、現地のガイドが引率するのが一番いい。

しかし、山の映像を見て、改めて驚くが、新・深雪のあんな急峻な沢筋を、本当に大人数で上るだろうか。
引率者は、どれ程、山を知っていたのだろうか。今回の事故・遭難は、「人災」と言われても、返す言葉は、ないかも知れない。





3月28日(火)晴・4度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月28日(火)06時19分55秒

那須の

雪崩事故は、痛ましい結果だった。まずは、若い方々と教師のご冥福と怪我をされた方の早期回復をお祈りいたします。合掌。

私も50年雪山に上っている、登山家の端くれで、雪山登山の際は、常に「雪崩」を意識・警戒している。

雪山に上る以上、どんな条件でも常に「雪崩」のリスクはある。

「雪崩」は、自然現象だが、地震とは違い、「ある程度」予測は出来る。

地形・傾斜・積雪量・積雪条件・気温・天気・入山人数、などなど。今回の事故を見るに、安易な推測を軽々しく語るのは戒めなければならないが、敢えて語れば、上記の諸条件に照らすに、幾つか合致する部分が見えて来る。

まず、地形だが、映像と地図を見ると、事故があったのは第二ゲレンデ上の急斜面。ゲレンデは確かにファミリーゲレンデと呼ばれるくらいで傾斜で緩やか。しかし、ラッセル訓練をしたのは、その上の急斜面。しかも、ここは過去にも雪崩があり、スキー場も、パトロールを出すこともあったという。

次に積雪量と積雪条件だが、前日から当日に掛けて大雪で、事故があった時間まで30cm以上積もった。しかも重い湿った雪が前日冷えて滑りやすい雪面に降った。当然、積雪は非常に不安定だった。

ほか、天気は悪く気温は高め。雪崩発生は、圧倒的に悪天候が多い。気温が高いのとデータが語っている。また、不安定な積雪に多くの人が入ると、積雪にストレスを掛ける。不安定な雪は、ちょっとした振動でも崩れることは明白。

以上を考察すると、今回の雪崩事故は、起こるべくして起きた感が否めない。登山を志し、将来を夢見て、語った若人が逝ったことは、諸行無常・残念・無念、言うより他ならない。





3月27日(月)雨・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月27日(月)06時28分50秒

つづき

天狗原に東邦航空のヘリポートがあった。昨日、ヘリに乗った方は、料金が「14000-」と話していた。歩けば2時間半だが、豪勢である。

天狗原から山の神尾根に向かうが、どうも記憶が曖昧でハッキリしない。

Yと2009年やった以来だから無理もない。前方にスキーヤーが2名いたので、近づき聞いてみた。彼らは親沢を滑るが、「山の神尾根は、向こうの尾根(千国揚尾根)だ」といった。どうも、おかしい。GPSを注視した結果、山の神は、

やっぱり真っ直ぐと判断し進む。

程なく、以前の記憶も甦り、少し安心した。小ピークの
2072mまで歩きが多い。嫌になると、視線は親沢で、
滑りたい衝動にかられる。しかし、よく見ると雪崩の痕跡があった。
2072m峰を越えると、いよいよ滑降が始まる。

後から6～7名来た。連中に女性もいたが、ウサギの様に
ガンガン滑って行った。当方は、荷物が重く、昨日の疲れもあり、
さながら亀だった。

つづく





3月24日(金)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月24日(金)06時17分53秒

22日つづき

振子沢を上る。

2005年、初めて蓮華温泉に来た時、振子沢を滑った。
当時は、まだまだ山スキーの初歩で、ここで十分満足した。

後ろから男子2名、女子1名が上って来た。

男子1名のスキー板は、私と同じモノだった。

これから何処へと聞いたら、柵池に降りるといった。

山の神尾根は如何と問えば、女子が初心者で無理のようだった。

天狗原下で、この日トップでラッセルをしてくれた、6~7名
パーティーに追いついた。ラッセルのお礼を言う。お礼など言わない
若い輩も多いが、これは仁義・礼儀だ。

やはりこれから何処へと聞けば、やっぱり柵池だった。

このように山で、他パーティーと情報交換は、なるべくする。

何か問題が発生した場合、役に立つからだ。

柵池に下るのは、女子が脚を痛めているからだった。

この日、初めてトップで千国揚尾根に乗る。

千国揚尾根は、懐かしい尾根だった。2007年、3名で風吹大池
経由で北野に下ったが、到着がホテルの光の18時だった。

つづく



3月23日(木)晴・6度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月23日(木)09時40分35秒

昨日は

第12回・3月度富士山一周ウォーキングでした。1年続いたウォーキングは今回が最終回。コースは、沼津御用邸記念公園～狩野川堤防・橋巡り～香貫大橋～柿田川公園～三嶋大社。天気は晴れ。参加は22名。

御用邸から出発。天気はイイ。ピリッとした冷気が快い。牛伏山公園から、狩野川河口堤防に乗る。正面に昨日の雪で真っ白な富士山が大きい。

狩野川堤防は、やや風があるが気持ち良い。他の散歩者も多い。途中、沼津東高校・漕艇部の艇庫を見学。なかなか立派なもの。こんなところでボートに乗れるなんてシアワセな高校生だ。当然、我々の税金も使っているだろうけど・・・。

トイレ休憩をはさみ、香貫大橋通過。時間が押しているので、急ぎ柿田川公園に向かう。土産屋でユックリしたい所だったが、トイレのみで三嶋大社に直行。途中、昨年まで様々な講座に参加した、東大場のOさんにバツタリ。エールを交換した。

無事、三嶋大社に到着し、一年の無事・完歩・満願成就を感謝し記念撮影。午後は、三島CC「湯郷」で祝賀会。「湯郷」は、2100円で、食事・温泉・休憩が出来て素晴らしい。料理も決して悪くない。

食事後は、皆さんに一年間の感想・感謝・反省などを語っていただき、一年のウォーキングを締めました。

富士山一周ウォーキングは、引き続き今年度も実施予定です。



3月22日(水)晴・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 3月22日(水)06時06分44秒

朝、

雪が舞っていた。一瞬、ドッキとする。
雪山で天気が悪いと、ホワイト・アウトでどうにもならない。
去年の5月は、八方尾根で、えらい目に遭った。

それでも出発の7時ころには、止んでくれた。
玄関は、ごった返していた。
雪倉岳・朝日岳方面に行く人は、早立ちである。

小屋から林道を進む。
右手の山側は、雪が多く雪崩の危険がある。
雪のブロックも転がっていた。
数年前、ここで雪崩があり、亡くなった方がいた。
林道とて、油断は禁物なのだ。

二つ目の橋から山に上る。
ここは振子沢と呼ばれる所で、比較的なだらかで上り易い。
天気は次第に良くなり、視界は良くなった。

つづく





3月21日(火)雨・13度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月21日(火)06時45分32秒

連休は

山岳スキーで、白馬乗鞍岳～滝見尾根～蓮華温泉～振子沢～天狗原～山の神尾根～白馬乗鞍スキー場でした。1日目＝天気は晴れ。参加＝2名。

栂池自然園駅から出発。登山者は多い。8割はスキー。天狗原に上る。今年は雪が多く樹木が殆ど出ていない。雪が多い原因は雨が少ないからだ。

白馬乗鞍岳に向かう。先頭のルート選択が良く、今回は楽に上れた。ここから白馬大池に向かう。大池は真っ白な雪原で、小屋は全く出ていない。

滝見尾根に出て滑降開始。雨が少ないので、雪が締まっていない。
スキーは難しかった。また、2番手・3番手と後のなるほど、雪面が
荒れて、滑り難いことこのうえない。

それでも下部は、まあまあ良かった。ルートをうまく取り、上り返し
なしで、蓮華温泉玄関にピッタリ到着。小屋は連休で混んでいた。
少し飲んで温泉浴。ここの温泉は、熱からず温からずサイコーだった。
いただいた、ワインも美味しかったデス。

つづく





3月17日(金)晴・5度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月17日(金)06時52分50秒

6月4日(日)富士ロゼ・シアターで井上陽水コンサートがあります。団塊のオジ・オバは、堪らないですね。

昨日から、0570-000-709で先行予約を受け付けています。価格はS・A席などなく、8000-+消費税+チケット郵送料600-。席はコンピューターでランダムに行くそうです。(ホントかな??)

電話予約は結構面倒。アナウンス早すぎて聞き取り難い。3回くらい聞いてしまった。結局、昨日中、郵便局から振込して、ワイフの分と2枚ゲットした。

ま、どんなコンサートになるか楽しみです。ただ、席が後ろの方では・・・ま、仕方がないね。

明日から、日記休みます。



3月16日(木)晴・6度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 3月16日(木)06時33分5秒

昨日は

富士山・山岳スキーでしたが、周遊道に行くと「通行止め」のバリゲート。
かなりの降雪があり、除雪中のようだ。

強行突破も考えたが、周遊道脇に駐車すると、除雪の邪魔だし、邪魔ではないところに置いたとしても、除雪の雪を入りに寄せられると、今度は出れなくなってしまう。

やむなく、越前岳に転戦。越前岳は、まあまあの積雪。新北尾根を上る。先行者が数名。まっさらな雪が、樹木に乗ってキレイ。

頂上で先行者2名に会った。富士市の男性だった。毎日、越前岳に上るそうだ。ブナ植樹地を確認して下山。下部林道の春の淡雪は、すでに融けていた。

軽いハイクでしたが、いい汗をかきました。





3月15日(水)雨・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月15日(水)07時05分51秒

畑にはイイ雨です。

焼岳登山の時、下山して中の湯で「ソバ」をいただくのが楽しみ。

ただし、数に限りがあるので、13:00ころまで下らないと品切れの場合がある。

今回は、ギリギリ間に合った。

登山を済ませ、空腹で、ソバとビアもしくは日本酒は美味しい。

価格は、860ー。まあまあです。

山旅の楽しみは、「温泉・蕎麦・地酒」ですね。



3月14日(火)雨・6度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月14日(火)08時12分48秒

昨日のつづき

縦走路を進む。

縦走路は、樹木の枝や幹が散乱していた。

先日の大風の影響だろうか。

縦走路は幅の広い防火帯の感じだが、そこには草木が全くなく、土壌が露出していた。

普通は、草が生い茂っているはずだが、オカシイ。

これもシカ食害だろうか。兎に角、異様な光景だった。

小さな上り下りが多い。

2003年に来た時より、大変な感じだった。

ま、鹿路庭峠下まで、約3時間がダメージだろうか。

12時前まで歩き、遅い昼食。シイタケと柚子が入った細めのうどんが美味しかった。

午後も頑張った。

しかし、なかなか思うように進まない。

やっぱり、小さな上り下りが多いのだ。

冷川トンネル上を通過し、14:30松川湖に下る分岐に達した。

時間的には下山だが、伊東在住の会員の情報では、松川湖に下ってもバスはないという。

兎に角、冷川峠を目指す。途中に、伊東ALPS最高峰・古城山こじょうやま(541m)に上った。ここから冷川峠は近い。少しルートを間違えたが、15:42無事、峠着。

計画は、峠から旧柏峠を経て、伊東駅だったが断念。

バスは17時台に一本あったが、遅すぎる。

峠から伊東駅まで約10km・2時間ある。

伊東在住の会員が伊東駅に車を置いてあるので、

2名、ヒッチハイクで駅に下り、車を回して貰った。

残念だが、伊豆高原駅～伊東ALPS～伊東駅の

「完全縦走」は、ならなかった。しかし、この時期、歩荷もこなし、イイ山でした。





3月13日(月)曇・6度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月13日(月)05時59分23秒

一昨日は

伊東ALPSでした。コースは、伊豆高原駅（標高約65m）～池～鹿路庭（ろくろば）峠下～間ノ山～古城山（こじょうさん・最高峰標高541m）～冷川峠～冷川峠下（標高約220m）まで。天気は無風晴れ。参加は6名。

ここを歩くのは、拙著「伊豆の里山・50山」発刊時、2003年3月に歩いた以来。ただ、その時は冷川峠まで車で行き、鹿路庭峠下から車で帰った。今回は、伊豆高原駅から歩き、旧柏峠から伊東駅まで下る完全縦走。しかし、時間切れで、実際は冷川峠下、標高約220mまでだった。

伊豆高原駅発 8 : 30。駅前の桜並木には、大寒桜が咲いていた。桜ロードを上り、別荘地から池に向かう。ここで昼食用のシイタケと柚子をゲット。池の向こうに、矢筈山が大きかった。池のどんずまりの公園で休憩。ここに来たのも、実に久しぶり。15年前、初山行で、矢筈山に上った。

林道を進む。完璧な林道は、両脇にあるワサビ田のため。ワサビ田は、今、開花時で清楚な白い花が咲いている。農家の方が、ワサビの苗を植えていた。

林道は標高約350mで終わり。ここから鹿路庭峠下まで地図上は点線があるが、実際の道はない。沢を少し上り左手の尾根を上る。急だが藪はなく、ひと上りで鹿路庭峠下の車道に出る。そこは丁度、伊東ALPSの入り口だった。時間は11:16。ここまで随分掛かった。

縦走路入り口から、本来は三角点・池峠(545.5m)を經由するが、森林整備事業の道があったので、その道を辿ると縦走路に出た。

つづく





3月9日(木)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月9日(木)09時45分0秒

昨日は

3月度・伊豆巡礼でした。コースは、下田・下小野＝67番安楽寺～68番・東林寺～61番・法泉寺～妻良(めら)60番・善福寺～70番・金泉寺～蛇石・69番・常石寺。天気は快晴強風。歩行数＝27000、距離＝約16km。参加は、28名。

前回最終の安楽寺手前から出発。天気はイイが、昨日同様風が強かった。ご朱印係りからTELで、安楽寺が開いていないの連絡。ここも無住職で早朝は開いていない。裏から入って、なんとかあった。

東林寺はすぐ近い。この寺も無住職だが、檀家さんが軽トラックで来て開けてくれた。ここから一山越えて、一色の法泉寺に入る。ここも

無住職。ご朱印は、檀家のFさんがやってくれた。境内に上る長い階段の脇に、フキノトウが沢山出ていた。

次は、妻良トンネルを越えて、妻良の善福寺に降りる。寺は昔、勝海舟が風待ちで宿泊した記録がある。住職は、伊豆八十八で二人いる女性住職。お勤め後、庭で昼食。ここは風がなく暖かかった。帰りに住職から、貴重な手製のお守りと干支の方に祝い紙いただいた。

午後は、近くの子浦・金泉寺に向かう。ここも無住職。檀家のOさんからご朱印をいただく。この日の最後は、蛇石峠下の69番・常石寺。ただ、標高約150mの峠越えがある。疲れている方は、バスの人となる。峠越えは、標高はたいしたことはないが、午後の疲れもあって、なかなか厳しかった。

峠を越え、市ノ瀬に降りて蛇石に向かう。ここもダラダラ上っている。寺には、
予定の15時ギリギリに着いた。外でお勤めを済ます。86歳になった鈴木住職は
元気で、一緒に本堂に下がる鐘を打ってくれた。帰路、バスに乗ると住職は、
道路まで見送りに来てくれた。次回、2年後にも元気でと手を振って分かれた。

伊豆巡礼は、今回3月で10年を終了した。2007年に始めて10年経った。
来月から11年目に入る。まだまだ、頑張るつもりです。

明日・明後日、日記休みます。





3月7日(火)曇・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月7日(火)06時11分45秒

昨日のつづき

標高2150mで登行を終了し、滑降に移る。
このころになると、下から何人かの登山者がやって来た。
スキーヤーが一人、登山が数名だった。

上部の雪は良かった。
下の硬い雪面に、新雪が積もっているので、滑り易かった。
滑降は速い。アッという間に、下掘沢入り口に着く。

ここで、沢を滑るか、尾根に行くか判断される。
下掘沢はベツタリ雪が詰まり快適そう。尾根は、今年の少雪を象徴し、やや藪が出ている。

迷ったが、結局、下掘沢に入る。
沢はややモナカで雪は重かった。ただ、急なので勢いで持っていける。

ここを滑るのは、2回目だが、豪快な景観に痺れる。
ガンガン落ちていく。所々、デブリ（雪崩）跡がありその雪がカチカチなので滑りにくい。

まあ、ここは我慢の滑りだ。下掘沢には、堰堤が四つある。
最初の堰堤と他二つは埋まっていた分が分からなかった。出ていたのは、一番大きい堰堤だけだった。ここは右を巻いて越えた。

堰堤下は、穏やかな傾斜が続く。ここで大休止。天気は相変わらず良く、陽光は春そのものだった。右岸に小屋が見えたが、何の小屋か分からなかった。焼岳の観測小屋かも知れない。

ここから快適に飛ばして梓川に出る。下掘沢で最大の課題はこの梓川。これを如何に渡るかである。過去、落ちて足が凍った方もいた。しかし、よく観察して、今回は何とか無事渡れた。むしろ、渡った後の林道の壁が厳しかった。

他の記録を読んだら、この上の橋を渡っていた。距離は1 km以上長くなるが、橋が安全といえれば安全確実。林道に上り、釜トンネルに向かう。トンネルは真っ暗で、1300mは長い。

ただ、昔みたいに、下が凍っていないので有難い。旧トンネルは最悪だった。トンネルから中の湯の車にピックアップして貰い中の湯着。ここのソバは美味しかった。今回は、今期最初の本格的な山岳スキーだったが、課題も判明し、まあまあ成果だったと思いました。

明日、日記休みます。



3月6日(月)曇・11度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月6日(月)06時22分49秒

4日は、

焼岳山岳スキーでした。コースは、中の湯～りんどう平～下掘沢上（約2150m）～滑降～下掘沢～梓川～釜トンネル。天気は無風快晴。

中の湯発6：06。しばらく林道を歩き、夏道に取り付く。雪は多かった。夏道の取り付きは、物凄い急登。この上りに約1時間掛かった。

タンネの森を上る。小さな下りがあるが、なるべく下らないようにコースを選ぶ。森を抜けると、りんどう平。急に展望が広がり、焼岳が遠望出来た。水蒸気の噴出が激しい。

下掘沢上に出た。上りが急になる。雪質はやや不安定だった。しばらく降雪がなく、硬い雪面に一昨日降雪があった。それが不安定だった。スキーを蹴り込むと、表面40cmが流れる。雪崩のリスクはあった。

時間は11時。既に5時間上っていた。今シーズン、山岳スキーを本格的に再開した。その最初の山だったが、今日は、ここまでとした。

つづく





3月2日(木)曇・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月2日(木)06時56分29秒

昨日は

久しぶりに富士山・ニッ塚山岳スキーでした。
今年は兎に角、雪がない。雨が少ないからだ。
それでも、何とか滑れそうなので出掛けた。

洞門には車が3台。やっぱり好きな方がいらっしゃる。
駐車場からシールで上れた。ただ、やっぱり雪は少ない。
帰りはここまで滑れそうもない。

雪質は良かった。滑降は期待出来た。
イイ感じでニッ塚頂上に上る。明日悪天候で早くもガスが
湧いて来た。富士山のホワイトアウトは最悪なので、すぐ

滑降に移る。

上部はモナカだが、中部以下はサイコーの雪だった。スキーは面白いように回る。アッという間に下部着。綺麗なシュプールが描けた。

ここから駐車場まで、時々、ガジガジ砂礫を噛みながら滑降。でも、気持ち良かった。やっぱり、スキーはサイコーだ。

滑降は、駐車場で終了。これ以上は、板が可愛そう。板をかついて下山。洞門に着くと雪が降って来た。今後に期待デスね。

明日から、2～3日、日記休みます。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

3月1日(水)晴・4度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年3月1日(水)05時54分20秒

う～ん、3月か～！！

昨日のつづき

梅園入園料で揉めた。当時、朝日新聞「声」投稿原稿を見ると、料金は200-だった。200-は、微々たる金額だが、これは金額の問題ではない。どう、考えても筋が通らない。

女性は執拗に食い下がる。同行したSAさんは、「いいからお金を払って行きましょう」といった。が、私は、納得しない。町女性に、「では、上司（責任者）に会わせてくれ」と交渉。女性は「分かりました」といい、私を公園事務所に連れていった。

そこで、まだ私より若い責任者に会って経緯を説明したら、その方は開口一番、「払わなくても、イイです」だった。女性はあくまで、仕事に忠実だったと思うが、誰が考えても、「おかしいことは、おかしい」それを、しっかり言える世の中でありたいものだ。それに似たようなことは、沢山ある。

駅までのブラブラは楽しい。ミカン販売を冷やかしたり、和菓子屋でお菓子を買ったりした。湯河原駅まで上りに行く。久し振りに参加のSちゃんは厳しかったが、頑張った。このくらい歩けば、熊野古道は大丈夫だ。駅で解散。時間がある人は、三島で反省会を行った。

今回は低山だったが、案外、上りがいがあり、イイ訓練だった。ハイクも工夫次第で、イイ山になりますね。



2月28日(火)晴・4度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月28日(火)06時03分47秒

昨日のつづき

右手に幕岩を見て梅園を下る。そういえば、大昔、幕岩で岩トレを思い出した。若い頃は、私も一応「クライマー」だった。冬の岩壁も上った。

冬は以前、書いた「甲斐駒摩利支天中央壁」「ハッ・大同心壁」「阿弥陀北西稜フランケ」「北岳バットレス」など。夏の壁は、日本アルプスの主な所は、ほとんど上っている。

滝谷（ドーム、第四尾根）・前穂高東壁右岩稜・谷川岳（各ルート）・ハッ（全ルート）・剣岳（チンネ、ハッ峰、本峰南壁）・屏風岩、北岳バットレス（全ルート）など。当時の山岳会は、いわゆるピークハント登山は、馬鹿にされ、登山は全てクライミングだった。ま、若かった訳です。

梅園の梅は、全体的に早かった。下部は満開だったが、中部から上部は、5分咲きだった。駐車場付近は、人でゴッタ返していた。トイレから出て来ると、仲間は「ソフトクリーム」を舐めていた。まあまあ。

梅園から駅までブラブラ歩く。14時を回ったが、まだ下から沢山車が上って来る。湯河原町もイイ稼ぎをやっている。数年前、ここで「梅園入園料」で揉めたことがある。当日、私達は、幕山の隣の城山登山に来た。幕山もそうだが、梅園公園から上るには、梅園を通過しなければ上れない。そこが登山道だからだ。

ところが、梅見学でなく登山に来た我々に「入園料を払え」と町係りの女性が迫って来た。我々は「梅見学でないから払うのはおかしい」と応対。そこで「払え・払わない」で紛糾した。

つづく



2月27日(月)晴・4度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 2月27日(月)05時22分18秒

一昨日は、

湯河原・幕山ハイキングでした。コースは、湯河原駅～五郎神社～南郷山～幕山～梅園～湯河原駅。天気は無風快晴。参加は12名。

電車で行く山。湯河原駅で自己紹介。新入会員のH君が初参加。ほか、自称「出戻り会員」、元会員などが顔を揃えた。駅前には、バスで幕山に向かう人が沢山。歩けばイイのに。

五郎神社の途中で、何処かで見た後姿の美女がいた。街頭販売のミカンを買っていた。声を掛けると、やっぱりA山の会のM嬢だった。師匠のS氏と幕岩クライミングに来たようだ。しばし、歓談後、健闘を約し分かれた。

五郎神社から本格的な上り。600m余の山だが、侮れない。大汗をかいて南郷山着。ここから大下りで林道に降りる。スツキリしたルートではない。自鑑水は林道から再登しなければならず、寄らなかった。昔は、林道がなく、自然に寄れた記憶だが。

ひと上りで幕山着。頂上は人で溢れ、立錐の余地が無かった。ざっと数えて100人はいるだろう。一つの山にこれほどの人がいるのは珍しい。「梅力」だろうか。昼食は、カヤトの中でいただく。余りに食物が多く、食べるのが大変だった。

美味しいお神酒もいただき下山。12時を回ったが、まだ下からゾロゾロ上って来る。中にはスカートのお嬢様もいた。右手に幕岩が見えた。多くのクライマーが取り付いていた。S氏は16時ころまでいたそうだ。

つづく



2月24日(金)晴・8度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 2月24日(金)05時40分21秒

富士山ウオーク

で、年1回の楽しみは、沼津魚市場の昼食。
通常、昼食はお弁当。神社・寺・湖・公園などで
頂くことが多い。

昼食外食は、12回の機会でも本栖湖と魚市場だけ。
他でも出来ないことはないが、30名が一堂で摂れる
場所は、あまりない。

そもそも昼食外食をすると、とても楽。いちいち用意
する必要がないからだ。日ごろ多忙な主婦の方も、外食
は喜ばれる。

今回は、以前から行きたかった「京丸」で「ウナギ」を
食べた。ここのメニューは多い。食べたのは、1300
円のうな丼。中ジョッキ2杯いただいたので、この程度で
丁度良い。一緒に食べた方は、飲まないのので、1800円
のうな重だった。

11:00~15:00は、ランチメニューで安価になって
いる。店は平日だが、満席で5~6名待っていた。ウナギは
人気がありますね。

明日、明後日、日記は休みます。





2月23日(木)雨・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月23日(木)06時57分9秒

暖かい雨です。畑を耕す時期です。

昨日は、2月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは、原地先～松陰寺～沼川堤防～千本公園～沼津魚市場（昼食）～御用邸記念公園。天気は無風・晴。参加は25名。歩数＝26000、距離＝約16km。

先月最終の原地先から出発。東海道旧道を進み、松陰寺に入る。ここには有名な「スリバチ松」がある。いわれは、長いので省略。

松陰寺を辞し、いままで通らなかった沼川堤防を歩く。堤防には、600本もソメイヨシノがあるが、まだ咲いていない。ただ、部分的に河津桜があり楽しませてくれた。沼川はゴミが多く汚い。

しかし、カモ達は元気に活動していた。

沼川から千本松原～駿河湾堤防を歩き、沼津魚市場着。今回はここで昼食。時間は1時間半。各々、昼食を楽しんだ。午後は、狩野川河口から牛伏山下を進んだ。今回は潮が上がり、海岸を歩けず残念。

最後は、御用邸記念公園で記念写真を撮って終了。駿河の湯で汗を流しました。来月、「結願」「完歩」を迎えます。





2月21日(火)晴・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 2月21日(火)06時08分31秒

昨日のつづき

アイスキャンデーの方々を見送り、北沢を下る。雪は相変わらず、猛烈に降っている。雪は粉雪でなく、春のボタン雪だった。それが眼に入って煩い。

いつもそうだが、この時期、下りは雪が多く歩き易い。膝に優しい。だから、春になって雪が消えると、実に歩き辛い。

下から背負子で大きな荷物の若者が数名やって来た。聞けば、赤岳鉱泉の方だった。天気が良ければヘリで荷揚げだが、天気が悪いので、週末の生鮮食料品を揚げているとのこと。

重量は30kgくらいと答えた。半ばにある林道の終点まで車で来るようだ。美濃戸に到着。雪は雨に替わっていた。八ヶ岳山荘で休憩。大きな薪ストーブが温かい。

この山荘、かなり太っ腹だった。食堂があるが、持ち込み飲食OK。ビアも売っているが、持ち込み飲んでもOK。山荘は、美濃戸山荘や展望荘も経営している。経営に余裕があるのかな。申し訳ないので、ラーメンを食べた。味噌味だったが、美味しかった。

愛知から来た御婦人と話した。私と同年で先日古希になったばかりだった。腰痛で歩行が大変で、赤岳鉱泉まで2日掛かるという。それでも「山が好き」で電車・バスで来るという。

以前、赤岳鉱泉の下りで、超ユックリ登山の方に会って、小屋に到着するか心配したが、どうやらこの方だったようだ。小淵沢まで送りましようだったが、茅野まで行くというので、エールを送り、そこで分かれた。

明日、日記休みます。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

2月20日(月)曇・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月20日(月)06時14分58秒

17日は、

赤岳の予定で出掛けた。赤岳は毎年、誕生月に上る慣習。ただ、天気予報は良くなく、午後から荒天だった。午前中が勝負とみて、やや早めに出発。

ところが、甲府に着くと早くも甲斐駒に怪しげな雲が飛来してきた。美濃戸に駐車して出発。雪は少なく赤岳山荘まで綺麗な道が続いた。

南沢に入りしばらく上ると、早くも雪が降って来た。荒天は予定より早かった。登山を断念して下山する登山者が数名。雪は段々、激しくなった。行者小屋に着くころは猛吹雪。小屋は無人で閑散としている。

赤岳は断念して、中山峠から中山展望台（標高約2400m）に上る。当然だが何も見えない。この展望台、知らなかったが、2万5千圓の山名表示峰「美濃戸中山（標高2387m）」より高かった。荒天でも、まあ、ワンピークに上げて良かった。

赤岳鉱泉に下り昼食。人工氷壁「アイスクャンデー」に上る方々がいた。利用料金は、1日=1000ーといった。ここから北沢を下った。

つづく



2月16日(木)晴・1度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月16日(木)06時42分32秒

昨日は、

第8回・箱根丹沢一周ウォーキングでした。熱海～大磯～厚木～宮ヶ瀬湖～相模湖～上野原～大月～都留～富士吉田市をめぐる、約200kmのウォーキング最終回。

コースは、富士急行大月線・田野倉駅～都留駅～三ッ峠駅～富士吉田市～北口本宮・浅間神社。天気は無風快晴。参加は8名。歩数＝約40000。距離＝約24Km。

車を浅間神社に置いて、富士急・大月線、富士山駅から田野倉駅に向かう。富士山駅は、駅入り口に巨大で真っ赤な鳥居があり笑ってしまった。この駅は神社なのだ。

大月線に乗るのは初めて。通学の学生さんが多い。ただ、駅間が短く兎に角遅い。田野倉駅まで約25kmを40分掛かる。料金は960円。

R139田野倉駅東の7イレブン発8:00。しばらくR139を進み、裏道の中央道わき道を歩く。こちらは静かな田舎道で気持ち良い。常に正面に富士山を仰ぎながらウォーキング。右手に三ッ峠が大きい。

つづく

明日、日記休みます。



2月14日(火)晴 -3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 2月14日(火)05時30分13秒
週末は

再び青野川「みなみの桜」でした。
まだ、満開ではありません。今週末が見ごろでしょうか。
足湯も健在でした。

明日、日記休みます。





2月13日(月)晴--3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月13日(月)06時58分4秒
一昨日

の夜、雪が降ったらしく、庭のベンチが白かった。
このところ、厳しい寒さが続きます。





2月11日(土)晴・-3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月11日(土)06時43分7秒

昨日は、

モーレツな寒波。-4度は、今期最低で、駐車場の屋根の縁が氷状態だった。各地の雪も凄い。エルニーニョが終息し、北極の状態が変わり、寒気が南下し易いのが原因とか。ま、冬らしくてイイが、ほどほどにですね・・・。

青野川「みなみの桜」道の駅、駐車場奥に「足湯」があった。下賀茂は、温泉の地で、ハウスメロン栽培があったり、いたるところで、湯気がモウモウと出ている。

青野川沿いの田んぼでは、温泉が太いパイプから、ガンガン垂れ流し状態。羨ましい限りだ。「足湯」は、簡単に楽しめて

イイ。足を熱するだけで、全身が温まる。

行ったら、是非、入ってみて下さい。



2月11日(土)晴・-2度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月11日(土)06時39分13秒

昨日は、

モーレツな寒波。-4度は、今期最低で、駐車場の屋根の縁が氷状態だった。各地の雪も凄い。エルニーニョが終息し、北極の状態が変わり、寒気が南下し易いのが原因とか。ま、冬らしくてイイが、ほどほどにですね・・・。

青野川「みなみの桜」道の駅、駐車場奥に「足湯」があった。下賀茂は、温泉の地で、ハウスメロン栽培があったり、いたる

ところで、湯気がモウモウと出ている。

青野川沿いの田んぼでは、温泉が太いパイプから、ガンガン垂れ流し



2月10日(金)晴・-4度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月10日(金)06時31分30秒

今、

下田「みなみの桜」が見頃です。

「みなみの桜」は、下賀茂・青野川堤防に咲く、河津桜です。

河津桜は、勿論、河津町のものが有名ですが、青野川の桜は、樹が大きい・青野川が雄大・延々と続く、で河津より、見ごたえがあります。

水曜日、7分咲きだったので、今週末は素晴らしいと思います。楽しんで下さい。



2月9日(木)雨・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月9日(木)06時52分53秒

昨日は

2月度・伊豆八十八札所巡礼でした。コースは、64番・慈雲寺～56番・正善寺～51番・龍雲寺～50番・玄通寺～65番・最福寺～66番・岩殿寺～67番・安楽寺。天気は晴れ。参加は29名。距離＝約18km。

前回最終の慈雲寺から正善寺に向かう。青野川堤防に行く。河津桜は、5分咲きだった。正善寺は、無住職。ここから山に向かい、龍雲寺～玄通寺～最福寺を巡る。

最福寺で11:30。昼食は青野川で「お花見」をしながらいただく。青野川は静かな流れ。青空に桜が映えていた。午後は、最福寺に戻り、岩殿寺着。まだ、時間があったので、67番・安楽寺まで頑張った。

今回の巡礼は、6ヶ寺巡った。しかし、改めて驚いたが、6ヶ寺全て「無住職」だった。次回も前半、2ヶ寺は無住職。つまり、8ヶ寺無住職が続く。無住職寺は、楽しみに訪ねた家に誰も居なかった、みたいな感じで淋しいものだ。

高齢化・人口減・過疎は、今後、ますます拡大する。南伊豆は特に顕著。これだけはどうにもならないだろうか。行く末を杞憂しますね。





2月7日(火)晴・0度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月7日(火)07時01分49秒

昨日のつづき

登山で路線バスを利用するのは、久しぶりだった。バスは甲府駅行き。時間表を見ると、本数は多い。こんな田舎でバス本数が多いのは意外だった。

7番札を貰い乗車。バスは土曜日の早朝のためか女子中学生が2名だけだった。バスは昔のバスと違い静かで速い。ハイブリットだろうか。

御坂トンネルの坂道をスムーズに上って行く。降車チャイムを押さなかったが、運転手は三ツ峠登山口で止まってくれた。我々が降りないので、運転手は

「何処まで行きますか」と聞いた。「新田です」と答えた。

長い御坂トンネルを潜る。ここを路線バス通過は初めて。やがて新田着。時間は約30分、料金は560円だった。女子学生は降りない。一体、何処まで行くのだろうか??大変ですね。

バス停の上に、県営林道蕪入沢上芦川線があり、そこが登山口だった。この林道は、黒岳と釈迦ヶ岳のコルの日向坂峠を経て、スズラン名所の芦川集落に抜けている。

林道をしばらく上り、右手の唐沢川に架かる最初の橋手前で北尾根に取り付く。

つづく 明日、日記休みます。





2月6日(月)曇・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月6日(月)05時44分5秒

一昨日は、

御坂・黒岳北尾根～南尾根でした。天気は無風快晴。
参加は3名。

当初、計画はハッだったが、雪が少なく面白くない。
以前から気になっていた、御坂・黒岳北尾根～南尾根
を目指す。

今回は、御坂トンネル北側の新田から河口湖まで「御
坂越え」の縦走なので、新田まで路線バスを利用する。
バス時間が、河口郵便局前7:30なので車を飛ばす。

東富士五湖道路から河口湖町に下って行くと、いやがお
うでも、正面に堂々たる黒岳南尾根が目飛び込んでくる。
これが以前から気になっていた理由だ。

山好きなら、あそこを上ってみたい、下ったらどうかと
思うのは自然な事だった。よく見ると山腹に一条の切り
開きが見えた。う～ん、なかなか期待が出来る。

車を飛ばしたので、河口湖美術館7:10だった。
車はここに駐車し、歩いて河口郵便局に向かう。
郵便局の北に浅間神社の立派な駐車場があった。

キレイなトイレも併設されていた。知っていれば、ここに置くのが正解だった。バスは7：30、ピッタリに来た。

つづく





2月3日(金)晴・0度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月3日(金)05時55分32秒
旧聞で

恐縮ですが、先日、県連交流ハイク時、久しぶりにJRに乗った。

乗った車両が先頭ではないが、先頭車両に使う運転席つきのものであった。途中で切り離すので、途中で先頭車両をセットしてあるようだ。

運転席を見たら、スピードメーターがあった。電車って一体どの位のスピードで走っているのか??遅れた時はかなり飛ばすと聞くんが、メーターを注視した。

スピードは、概ね、90~95kmだった。結構、飛ばしている感じだった。いずれにしても、安全第一をお願いしたいものである。

明日、日記は休みます。



2月2日(木)晴・0度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年2月2日(木)09時22分4秒

昨日の富士山の笠雲は、感動的でした。
今日、悪天候とおもいきや、そうでなかったデス。

10代の頃、スケートといえば、人工リンクでなく、天然リンクだった。人工リンクは当時、箱根・駒ヶ岳、須走・富士高原にあるにはあった。

ただ、山中湖・平野地区は毎冬凍ってスケートが出来たのでカネのかからない、天然リンクに足が向いた訳。最近では温暖化で凍っても人間が乗れるほどの厚みにならない。

仲間の話では、人間が乗れる強度は、7cmだそうだが、ネットでは、「明確な回答はない」ようだ。つまり、一概に氷についても千差万別で、強度には、様々な条件があるようだ。

当時（つまり50年以上前＝笑い）は、相当沖に行かない限り、氷が割れて落ちるようなことはなく、安心して滑れた。ただ、午後気温が上がった場合、氷は岸から融けていく。

従って、帰る15時ころ岸にたどり着けない場合があった。その時は、猛スピードで飛ばして来て、ジャンプ一番で岸に上がった。勿論、失敗すれば「沈」で、冷たい思いをした。

いつごろから、滑れなくなったか定かではありませんが、何回か行った記憶はありますね。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

1月31日(火)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月31日(火)06時45分35秒

昨日のつづき

鉄塔で昼食を済ませ、午後の部に入る。午後は、石割山から御正体山分岐を経て、山伏峠に降りる予定。

鉄塔から少し上り返して、とりあえず日向峰に向かう。しかし、石割山からこちらに来る、ご同輩はいない。ほぼ100%、石割から下ってしまう。

やや藪っぽい道に行く。トレースはギリギリあった。左手に以前上った、杓子・高座が見えた。あの時も積雪時だったが、低山にもかかわらず、苦労した。

日向峰に到着。尾根はこの先で大きく二つに分かれる。東に行けば御正体分岐。南は登山道のない未知の尾根。しかし、地図上は綺麗な尾根が伸びている。

ハイキングは一般道だけでは、冒険的要素がなく、刺激がない。以前見た新聞のキャッチコピーに「年齢は捨て、冒険を捨てる」があった。人生、こんな感じがイイ。

東か南か、皆にも聞いた。H嬢が強く南を希望し、冒険コースを選択。勿論、GPSがあるから全く心配はない。少し下ると岩場。左に巻いて問題なし。このような悪場

をどのようにこなすか、学習になるところ。

岩場下は笹藪が続く。しかし下りだから問題はない。やがて笹も終わり、綺麗な尾根になった。ガンガン下れば別荘地になり、R413に出た。あとは、石割の湯まで、ブラブラ下った。

石割山は、ごく普通の山だが、ちょっとしたスパイスで手ごたえのある、山となりました。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月30日(月)雨・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月30日(月)06時25分33秒

一昨日は

山中湖・石割山でした。コースは、交流センター「きらら」～湖北～大平山～平尾山～石割山（昼食）～日向峰～日向峰南尾根～石割の湯。天気は無風快晴高温。参加は6名。

「きらら」出発。天気は素晴らしい。平野付近の山中湖は、凍結していた。10代の頃、ここで滑ったことを思い出した。当時は、天然リンク全盛だった。

真っ白で大きな大きな富士山を眺め、湖北から登山開始。気温が高く暑い暑い。大平山に上る。富士山が見事！！ここには東屋があった。南ALPSが近い。

平尾山に上る。階段が参った。再び下り石割山に到着。久しぶりの石割山だったが、印象が違った。少し下の送電線鉄塔で昼食。仲間が焼いてくれた、イワシ・シシャモが美味しかった。

時々、「ゴ～ン、ガ～ン」の音。鉄塔内が狭く、仲間が梁に頭をぶつける音だった。う～ん、痛そう。（笑い）

つづく



1月27日(金)曇・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 1月27日(金)06時39分41秒
潤井川

を歩いたら、カワセミがいた。
綺麗な鳥だった。やっと、2枚「撮らせて貰った」
高級野鳥だから、やたら撮らせてくれないようだ。

水面には、カモが沢山いた。やや小さい、真っ黒いカモ（??）
もいた。多分、エサも豊富なのだろう。先日は双眼鏡のオジサン
がいた。聞けば、カモが死んでいたら、すぐ鳥インフルエンザを
調べるそうだ。

吉原の毘沙門天で昼食だった。終わったら、一羽の野鳥が来た。
食べかすをついばんでいた。随分、人間に慣れている。芦安の
野鳥カレンダーのS君に聞いたら、「ジョウビタキ」の雄だった。
ネットでは、手にとまったりするそうだ。野鳥はイイものです。

明日、日記休みます。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月26日(木)晴--3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月26日(木)06時58分53秒

昨日は

1月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは、実相寺～潤井川堤防～田子の浦港～富士塚～毘沙門天～駿河湾堤防～原駅手前。天気は無風快晴。参加は、27名。歩数=30000歩、距離=約18km。

前回最終の実相寺から出発。天気は無風快晴。富士山が大きい。R176を歩き、代信寺から潤井川堤防に乗る。この辺りは、河津桜がキレイな所だが、まだまだツボミだった。

潤井川堤防は、大きな空間が広がり、サイコーに気持ち良い。散歩をする方も多し。挨拶をしながら進む。川には、多くのカモが遊んでいた。桜は一本だけ、ちょっと咲いていた。小さい変種だった。

突然、Oさんが「カワセミ！！」と叫んだ。一本の枝先に綺麗なカワセミがとまっていた。「逃げるな逃げるな」と言いながらシャッターを切る。二枚撮ったら、何処かに行ってしまった。イイものを見せて貰った。

中央公園で休憩。ここから東海道線・新幹線・バイパスを潜り田子の浦港に入る。潤井川堤防は約7kmだった。

つづく



1月24日(火)晴・-1度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 1月 24日(火)06時 43分 42秒

昨日のつづき
モンベルから追伸があった。

ご検討いただきまして、誠にありがとうございます。
代替品が用意出来次第、発送いたします。
確かに引っかかり以外にも擦れが生じた場合に、破れることがございます。
いずれにしましても、代替品に関しましては以後の破損のご対応ができない為、
ご注意くださいようお願いいたします。宜しく願いいたします。
株式会社 モンベル
カスタマー・サービス 担当 : 吉見

それに対する、私の尾その返信
了解です。
有難うございます。
ただ、
今回も、アンダーで使用して、「擦り切れる」なら、
製品として、欠陥・不良品です。
そして、それを承知で販売は、モンベルの理念に関わる問題です。
有料で販売する以上、確実に性能試験行い、販売して頂きたい。
また、
どうしても、そのまま販売なら、製品に「擦り切れる場合があります」の
表示をすべきです。
余りに酷い場合は、消費者協会等にお話ししなければなりません。
よろしく、お願い致します。

ごとう

明日、日記休みます。



1月23日(月)晴・4度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月23日(月)06時00分37秒

モンベルのタイトの太ももの部分が擦り切れたので、
モンベルに連絡したら、返信が来た。

ご迷惑をおかけしている中で、お送りいただきましてありがとうございます。

お預かり品のスーパーメリノウール L.W. タイツ Men's の検品を行ない
ましたので、
ご報告いたします。

スーパーメリノウール素材については、薄手ながら高い保温性機能を重視
して、登山
時や旅行時のご使用を想定した製品です。極細の繊維をニット（編み物）
構造にして

いますので、強度が高い製品ではございません。お預かり品の状態から引
っかかって
傷や破れが生じていると判断いたしました。また、ニット商品のためご修
理は破けた
部分を糸でかがることしかできず、元の状態へ戻すことはできません。

今回、ご購入から早々に破れてしまったとの事ですので、代替品をご用意
して発送し
たいと考えております。ご検討いただきますようお願いいたします。ただ
し、代替品
に関しましても引っ張ってもなかなか破れませんが、爪やベルクロ等で引
っかかると
破れる場合がございますのでご了承ください。もし、破れ場合は縫い合わ
せますと破
れが広がらなくなりますので、ご参考ください。

ご連絡をお待ちしております。
株式会社 モンベル
カスタマー・サービス 担当 : 吉見

なかなかの対応で感謝しているが、返信の「何かに引っ掛けて
破れが生じた」は、イマイチ納得できない。
何故なら、アンダーウェアで外履きすることはないから、何かに
引っ掛けることはない。

私見では、あくまでズボンとの摩擦で「擦り切れた」と思っている。
しかし、いくらメリノが強くないといっても、摩擦で擦り切れたら
製品として不良品である。今度のモノを使ってみて、結果を見てみたい。

写真下は、モンベル製＝メリノのアンダーシャツ



1月22日(日)晴・6度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月22日(日)07時12分58秒

1月5日のつづき

四回目の冬仙丈は、1975. 12. 28～1. 1、飯豊連峰で遭難死した、
M労山M氏と二人で地蔵尾根から上り、北沢から甲斐駒もやり、黒戸尾根を下った。

地蔵尾根は、一昨年も上ったが、市野瀬・柏木から松峰・地蔵岳を経て西に延び、
頂上に至る長大な尾根。途中に汚いが、無人の松峰小屋があり利用出来る。
先日、小屋で会った方は、地蔵尾根を知らなかった。鳳凰の地蔵と混同していた。

現在は規制されているが、当時は、田城高原から標高1750m付近まで車で入れた。

28日、そこまで、やはり病で倒れたS氏に車で送って貰った。夜は二人ともノンベエで、
おおいにやった。翌日は最悪の天気の中、仙丈ヶ岳を極め、北沢峠に下った。

朝から天気は悪かった。生暖かい風が吹き、
山々はガスで覆われていた。二人でダルマ一本近くヤッテしまい、少し二日酔い気味だった。
兎に角、当時はよく飲んだ。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月20日(金)雨・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月20日(金)06時04分43秒

昨日のつづき

新コースを歩いて、猿橋に入る。
猿橋は、平日とあって誰もいなく、閑散としていた。
先日降った雪がカチカチで、怖くて下には降りれない。

再びR20に戻り大月に向かう。時間は14:00。
今日は既に3万歩を越えた。次回で終了予定なので、
ここはもう少し頑張る。

ただ、私は車の回収があるので、猿橋駅から電車で
上野原に戻る。電車は14:19。電車は6時間
掛けて歩いた所を、たったの15分で走った。ここの
電車も御殿場線と同じで、山間部で寒いのだろうか、
ドアは手動で開閉だった。

車を回収して大月に向かう。走ってみて改めてR20
は、「酷道」を再認識。狭くカーブが多く路面が荒れて
いた。大月からR139に入り富士吉田に向かう。皆さん
は、富士急行大月線・田野倉駅近くのセブン前にいた。

ここまで来れば、来月は終了できる。無事終了出来そうで
良かった。一旦始めた、志は途中で投げることなく、最後
まで完遂したいものと思った。

今回は、歩数＝42000歩・時間＝7時間半。一步60cmで約25km。地図上測定でも丁度その位だった。時間は7時間半。昼食が30分だから、時速約3.5km。

まあ、そんなものでしょう。それにしても今回は皆さん頑張った。と同時に、当初に比べ相当、力が備わったと感じた次第です。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

1月19日(木)曇・3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月19日(木)06時30分14秒

昨日は

第7回・箱根丹沢一周ウォーキングでした。コースは、上野原・名倉～四方津～梁川～烏沢～猿橋～大月～都留。天気は無風快晴。参加は7名。距離＝約25km。歩数＝42000歩。

前回最終の上野原・名倉から出発。天気は無風・快晴。気温は低い。境川橋を渡って左岸に渡る。甲州街道を歩き四方津着。ここには大きな団地がある。駅からエレベーターで上る。エレベーターは住民でなくても乗れるとのこと。

四方津から右岸の旧甲州街道に行く。静かで長閑。梁川で再び左岸に移り甲州街道を進む。道は狭く車の騒音・排気ガス・振動が辛い。ほどなく、再び右岸に渡る。

この辺りは、昨年歩かなかった新コース。とても静かで気持ち良い道だった。地元の方も何人が散歩していた。畑仕事のオジサンと会話。タマネギの育ちがなかなか良かった。

つづく





[返信・引用](#)

1月17日(火)晴・-1度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月17日(火)05時41分17秒
交流会で

久しぶりに、「トン汁」を作った。
ただ今回、具は外注で運搬して温めるだけ。

ショウガをガッチリ入れたら、何と香りがイイこと
イイこと。隣のあさぎり山の会が、その刺激臭に魅せられ
「欲しい」というので、分けてあげた。

「シイタケ」も美味しいが、ショウガは知りませんでした。
味噌も市販品でなく、手作り味噌。舌の肥えてる方は、それが
分かったようで、「一味(味噌)違った」と感心していた。

東部ブロック、6団体が腕を競い作りましたが、果たして
一番美味しかったのは、何処だったのでしょうか??!!

明日、日記休みます。



1月16日(月)晴 -4度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月16日(月)07時23分59秒

今朝は、マイナス4度でした。

メダカ池が凍り、可愛そうです。（笑い）

昨日は、2017・県連交流登山で、蒲原・大丸山、大平山でした。天気は、無風快晴。参加は105名。

蒲原駅より登山開始。天気はサイコーで無風。かなり寒かったが、上り出せば、すぐ暖かくなる。途中で、安倍っ子数名を抜かす。

大丸山から大平山着。僅差であさぎりが先着。すぐ豚汁製作。お湯を持参し、下ごしらえをしてあるので直ぐ出来た。ショウガを入れたので、刺激的な匂いがプンプン。あさぎりが、ショウガを希望したので上げた。

12:30から交流会。今回は「フォークダンス」。だが、ステップがなかなか難しい。場所も斜めでおどり難い。酔っているのも、なお難しい。

13:30終了。新蒲原駅に降りた。帰路、あさぎり・山楽歩と富士で新年会。楽しい一日でした。





1月14日(土)晴・0度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月14日(土)06時37分11秒

昨日のつづき

12月31日、本谷山手前でテン泊した。元旦は、快晴・
-7度。3:00起床して5:00出発。三伏峠には、
6:45着。

三伏峠をアイゼンを履いて下る。重荷で疲れているから、それが
正解。下って行き、ふっと前を見ると、5~6名男子が下っていた。
彼らはアイゼンを履いていなかったなので、滑ったり・ブレーキを
掛けたりで遅い。

追い抜いて、塩川小屋の谷川で顔を洗っていると、彼らも下って
来た。ザックを見上げたら、M市のM労山と書いてあった。実は

M労山パーティーの中の一人の方の姪が、私が勤めていた会社において、その姪にM労山が塩見に入るは聞いていた。

だから驚きはしなかった。塩川小屋が9：00、樺沢小屋が9：55。そして鹿塩のバスが14：04。バス停着が12：00ころで、バスの待ちの時間は十分あった。バス停は酒屋だった。自然の流れで、初対面だったが、M労山と酒盛りが始まった。

中でもM氏は、酒は大好きの上、フレンドリーで大いに盛り上がった。ちょっとO脚で歩き方が、印象的だった。その後、3月21日、富士山で再会し、私はM労山に入会した。

明日、日記は休みます。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

1月13日(金)晴・4度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月13日(金)06時35分10秒

10日のつづき

数年前夏、塩見に上った時、頂上下の岩場が案外悪かった。冬、仙塩尾根縦走時、ここはどうだったか、思い返したが全く記憶がない。

縦走も最終コーナーで体は疲れていたと思う。往復登山なら、上りで岩場を確認出来るから、下りは担保されるが、縦走登山では、それが出来ない。これが、縦走登山の難しさだ。

いずれにしろ、記録では、12月31日(水)起床1:50
一熊の平(発??)4:30-新蛇抜山6:28-塩見岳11:35
一塩見小屋12:50-本谷山手前のピーク(泊)14:36
行動時間=10時間06分

とあった。本当は三伏峠まで行きたかった。が、行けなかった。多分、疲れていたのだろう。翌日は、三伏まで1H15で行ってるが、14:36で1H15は、遅すぎるの判断だった、と思う。

翌日、三伏峠で意外な展開があった。



1月12日(木)晴・0度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 1月12日(木)06時53分46秒

昨日は

1月度・伊豆巡礼でした。コースは、石廊崎・58番正眼寺～あいあい岬～59番・海蔵寺～62番・法伝寺～63番・保春寺～64番・慈雲寺。天気は快晴・強風・低温。参加は31名。距離は約16km。

正眼寺から出発。真冬らしく、気温が低く強風。特にあいあい岬は凄い。海蔵寺に下る。ここは西が山なので風は弱い。ニール号遭難碑を見学。

寺は2年前に比べ境内・本堂の屋根・本堂内が随分綺麗になっていた。そして、名物だった奥様は、昨年亡くなったそう。住職は元々、腰が悪かったが、更に体調を崩し、見られなかった。今は、埼玉から娘さんが来て、寺を仕切っていた。娘さんは中々シッカリした方で安心した。ここで昼食。

午後は、再び県道に戻り、法伝寺着。ここは無住職。外でお勤め。保春寺に向かう。住職・奥様はお元気でした。寺は毎度、あたたかい。作って待っていてくれた、美味しい「甘酒」をいただいた。御馳走様でした。

最後は慈雲寺に寄って終了。傍らの青野川は、河津桜が今にも咲きそうな状況でした。





1月10日(火)晴・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月10日(火)06時48分41秒

仙塩尾根のつづき

記録文があったので再現

仙丈岳より大仙丈をへて、下り気味のトラバースが少し悪い。
大仙丈の岩稜はさほどでもない。
仙丈岳から三峰岳間は、ラッセルがしっかりあって、苦しくは
なかった。ラッセルの楽しみはあったが。

三峰への第一ギャップは、夏ルート通りだと悪いので、5m
上り、右手の灌木帯に逃げた。最後のトラバースが悪く、ザイル
を出した。

三峰岳の下りは、太平洋上のLの為、物凄い風だった。
熊の平小屋の冬期小屋はまあまあで、気温はマイナス5度だった。

塩見の途中で、駿河湾に浮かぶ沼津の淡島が見えた。塩見の上りは、雪が多くなくマズマズ。下りは岩場があるが、南面で暖かく楽だった。
とありました。

明日、日記休みます。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月9日(月)曇・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月9日(月)07時12分59秒

昨日は、大雪・大風で荒れた一日でした。山梨・長野は相当な雪で、ここで一息でしょうか。

6日つづき

高望池を出発し、標高約2300mの野呂川越まで下る。ここから三峰岳(みぶだけ・2999m)まで700mの厳しい上りが待っていた。しかも、天気は風雪。気温はマイナス14度。

夏なら700mの上りは、2時間ちょっとだが、実際は5時間掛かった。風雪の中、最後の上りはザイルを出して上った。

三峰岳から再び井川越(約2600m)に下り、熊ノ平に14時過ぎ着。ここでテン泊した。行動時間は、9時間5分だった。天気は次第に良くなって来た。



1月8日(日)曇・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月8日(日)07時23分34秒

一昨日は

ハッ・横岳(2829m) 杣添尾根でした。コースは海ノ口登山口から往復。天気は無風快晴。

ハヶ岳は雪が少なく黒い。昨年、苦勞した駐車場は一発で到着。登山道は、雪も氷もなく、しばらく、アイゼンなしで上る。兎に角、降雪が少ないようだ。

それに気温が高く無風で暑く、上下のヤッケ、ジャンパーも脱いだ。後ろから男性が一人来た。聞けば、埼玉の方で房総・大泉に別荘があるという。今日は大泉から来たという。なんとも羨ましい方だ。

昔、緑山岳会にて谷川の岩壁など上ったという。古い登攀家をよく知っていた。

森林限界を抜けたが、3月に比べると圧倒的に雪は少なくブッシュをぬって上った。三叉峰の上りは、氷でガジガジでやや難しかった。総じて雪山は雪が多い方が上り易い。氷の急斜面は難しくなる。慣れない方は、ザイルが欲しいところ。

頂上着。男性は先着し休んでいた。写真を撮ってくれた。先に下る。それでも、三叉峰は前向きで下れた。男性は後から来たが、後ろ向きで下っていた。ストックとピッケルを使っていたが、ストックがあると、下り難いのではないか。

途中からガジガジの氷道をこなし登山口着。男性がなかなか来ないので心配した。今後、たくさん降雪があることを期待したい。





1月6日(金)晴・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月6日(金)04時18分1秒

昨日のつづき

昨日の第三回は、仙丈・地藏尾根でなく、仙丈ヶ岳～塩見岳の誤りだった。

第三回は、いわゆる仙塩尾根（せんしお・昔はせんえん、と呼んでいたが・・・）と言われる、仙丈～三峰岳～塩見岳だった。

ここは現在でも冬は、それほど多くの人が歩いている訳ではない。数年前、夏歩いたが、改めてその長大な尾根を確認出来た。仙丈までは、四人だったが、そこから先は二名だった。

仙丈から先は誰もいない。勿論、トレースもない。仙丈で他の登山者にも見送られ、いよいよ長い試練が始まった。今でも、よくこんな所に行ったと思う。何故か分からない・・・。

仙塩尾根の最初の宿泊地は、高望池だった。夏は小さな池というより沼みたいながある。天気は下り坂で、翌日の三峰岳（2999m）が懸念された。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月4日(水)晴・2度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月4日(水)06時35分42秒

昨日のつづき

まだ、当時の山行は、全て電車・バス移動だった。
私の場合、御殿場線・下土狩駅からJR（当時は国鉄）沼津駅
に出て富士駅まで行く。そこから身延線で甲府駅に移動。今度は、
甲府駅から中央線で伊那北駅下車。そして国鉄バスで戸台着だった。
（現在、冬は行っていない）

現在は戸台まで車で約4h。物凄いエネルギーで、それだけで疲れて
しまいそう。その場合、前夜発で行くが、寝不足でフラフラだった。
伊那北駅着が早朝。バス待ちは寒かったが、国鉄職員が「熱いお茶」
を出してくれたことが、今も忘れられない。

2回目の仙丈ヶ岳は1970年12月30日～31日。単独だった。
記録では、伊那北5：00ー戸台7：00ー北沢峠11：05。
勿論、テン泊だが、当時23歳、相当のスピードだった。
翌日、6：30発。仙丈ヶ岳10：30ー北沢13：05で、そのまま
下り、戸台着16：10だった。

当時の天気・景観・人々など、全く記憶がない。50年近く前では
無理もないが・・・。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月3日(火)晴・2度

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月3日(火)09時19分0秒

追憶の山々

初めての冬山は、1968年12月30日～1月5日、
甲斐駒・摩利支天独標ルート～甲斐駒、摩利支天・水晶沢、
仙丈ヶ岳だった。

重いガチャ類（登攀具）を背負って、八丁坂の上りは苦しかった。
北沢テン場着は、17時近かった。

摩利支天・独標ルートは、初めての冬山が初めての本チャン
岩登りだった。北沢BC発3:00。仙水峠から岩場に取り付
いたのが10:00。登攀終了が16:30。嵐の中、BC着
は、22:00だった。

当時の装備は、ビニロンが多く、テント・ヤッケ・オーバー
シューズなど、全てカチカチに凍ってしまった。当時は雪も
多く、気温も低かった。



1月2日(月)晴・1度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年 1月 2日(月)05時 38分 51秒
年末に

挑んだ仙丈ヶ岳（3033m＝昔は仙丈岳、いつごろからか不明だが、変わった）は、冬何回か上っている山。また、私が初めて上った冬山でもある。過去の記録を調べた。

1. 1968. 12. 30～1. 5＝甲斐駒（摩利支天・独標ルート・水晶沢）、仙丈ヶ岳
2. 1970. 12. 30～1. 1＝仙丈ヶ岳（単独）
3. 1975. 12. 28～1. 1＝仙丈ヶ岳～塩見岳（いわゆる仙塩尾根・2名）
4. 1979. 12. 30～1. 1＝仙丈ヶ岳・地藏尾根～甲斐駒・黒戸尾根（2名）
5. 1998. 12. 29～12. 31＝仙丈ヶ岳・甲斐駒
6. 2011. 01. 02～1. 04＝甲斐駒・仙丈ヶ岳（森林限界まで）
7. 2014. 12. 27～12. 29＝仙丈ヶ岳・地藏尾根（4名）
8. 2016. 12. 29～12. 30＝仙丈ヶ岳（森林限界まで）

記録は以上だった。

50年の登山人生で8回挑んだ。上れなかったのは2回。

テント泊で行ったのは、1998年が最後だった。





1月1日(日)晴・1度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2017年1月1日(日)06時26分55秒

2017・元旦

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



